BARCO

BARCO PROJECTION SYSTEMS

BARCO SLM G5

R9001890
R9001899

オーナーズマニュアル

Date:
26042001

Rev.:
01

Art No.:
R5976229J

本マニュアルに記載されている事柄は、改良のた
め予告なしに変更することがあります。

BARCO NV 2001 年 4 月製作
版権所有

商標の権利はその各々の所有者にあります。

BARCO n.v./Projection Systems
Noordlaan 5
B-8520 Kuurne
Belgium
Visit Barco at the web : http://www.barco.com

目次

1. 安全上のご注意 1

警告 1

けがや事故の防止 1
本機損傷の防止 1
電池爆発の防止 1

米国連邦通信委員会 1

FCCの声明文 1

2. 梱包と寸法 3

梱包 3

梱包方法 3
フライトケース 3
ダンボール箱 3
ご注意 3
内容物 3

レンズの梱包 4

梱包 4

プロジェクターのケース 4

寸法 4

3. 設置ガイド 7

設置ガイド 7

設置場所の温度 7
湿度 7
設置場所の環境 7
設置環境の確認 7
レーザービーム取扱時のご注意 7
スクリーンのタイプ 7
画像のサイズー最大のサイズ 8

設置 8

設置方法 8
プロジェクターの設置位置 8
本機の安全領域 10
ランプユニット内のランプ位置の再調整 10

レンズ 11

レンズタイプの選択 11
レンズの種類 11
投射距離の計算式 11
投射レンズの取り付け 12
レンズのクリーニング 13

リモコンへの電池の入れ方 13

出荷時のリモコン 13
電池の入れ方 13

プロジェクターのスタッキング 14

リギング･ポイントとアクセサリー 15

クランプ 15
クランプの取付け方法 16
オーバーロッカーをトラスに取付ける方法 16

目次

4. 接続 17

電源の接続 17

電源コードの接続 17
ヒューズ 17
電源の入れ方 17
ランプのランタイムの表示 18
ランプ·ランタイムに関する警告 18
ランプの出力表示 18
スタンバイモードへの戻り方 18
電源の切り方 18

入力ソースの接続 19

入力機能 19
入力機能、RCVDS05あるいはVS05の接続 19
入力モジュールの装着 20
本体部スロット（スロット１と２） 21
入力スロット設定の変更 22

シリアル·デジタル入力（スロット3と4） 23

入力接続 23
接続 23
デジタル入力選択 23

HD SDIデジタル入力(スロット3と4) 24

入力接続 24
接続 24
デジタル入力選択 24

通信接続 25

使用可能通信接続 25
1. RS232接続 25
RS232IN/RS232OUT 25
2. 周辺機器の接続 25
RCVDS05の接続 25
VS05の接続 25
赤外線リモートレシーバの接続 25
3. トリガー出力 26

5. 起動 27

リモートコントローラーと本体上のキー 27

機能 27
各キーの名称と機能 28

操作 29

電源の入れ方 29
ランプのランタイムの表示 29
ランプのランタイムに関する警告 29
ランプの光出力表示 30
スタンバイモードへの戻り方 30
電源の切り方 30
DMD温度エラー 30

セットアップ調整 31

言語の変更 31
レンズの調整 31
オンスクリーン表示色の変更 32

リモコンの使用方法 32

スクリーンの反射利用 32
結線したリモート入力 33
XLR入力に結線したリモコン 33
赤外線センサーの利用 34

プロジェクターのアドレス 34
プロジェクターのアドレス 34
個々のアドレスの設定 34
プロジェクターの制御方法 34
リモコンの使用 35
アドレスの表示方法 35
リモコンへのアドレスの設定方法 35
プロジェクターの制御 35
入力選択 35
画像の直接制御 35
Pause（停止）キー 36
Stand-by（スタンバイ）キー 36

6. 調整モードのスタートアップ 37
調整モード 37
スタートアップ 37
選択メニュー 37
パスワードでの保護 37
パスワードの入力 38
独自のパスワードの設定 38
ローカルのLCDディスプレイのメニュー 38

7. ランダムアクセス調整モード 39
ランダムアクセス調整モード 39
スタートアップ 39
フローチャート 39
画像サービス 40
新しいソースの接続 40
ファイルサービス 40
可能なファイル操作 40
ファイル名の構成 40
LOAD FILE（ファイルのロード） 41
スタートアップ 41
ファイルのロード 41
画像が完全でない場合 41
EDIT FILE（ファイルの編集） 42
EDIT FILEのメニュー 42
スタートアップ 42
編集可能項目 42
設定の変更方法 42
表示された項目の正しい設定値を見つける方法 43
RENAME（ファイル名の変更） 44
スタートアップ 44
文字を変更する方法 45
COPY FILE（ファイルのコピー） 45
スタートアップ 45
文字を変更する方法 45
DELETE FILE（ファイルの削除） 46
スタートアップ 46
FILE OPTIONS（ファイルオプション） 46
スタートアップ 46
FILE SORT（ファイルのソート） 46
FILE LOAD（ファイルのロード） 46
PICTURE TUNING（画像のチューニング） 47
スタートアップ 47
選択項目 47

CTI ON/OFF（CTIオン／オフ） **47**
CTI 47
CTI設定の変更方法 47
COLOR TEMPERATURE（色温度） **48**
スタートアップ 48
色温度 48
色温度の調整 48
カスタム·バランス 48
GAMMA（ガンマ） **49**
調整 49
ガンマ値の変更方法 49
DECODING EBU/IRE（デコーディングEBU/IRE） **49**
注記 49
選択方法 49
DYNAMIC COLOR DEPTH（ダイナミック·カラー·ディプス） **49**
調整内容 49
ダイナミック·カラー·ディプスの変更方法 49
NOISE REDUCTION（ノイズリダクション） **50**
調整内容 50
ノイズリダクションの変更 50
INPUT BALANCE（入力バランス） **50**
入力バランスの調整 50
調整方法 50
GEOMETRY（ジオメトリー） **51**
スタートアップ 51
調整可能なジオメトリー 51
調整方法 51
SHIFT（移動） **51**
調整内容 51
スタートアップ 51
SIZE（サイズ） **52**
調整内容 52
スタートアップ 52
BLANKING （ブランキング） **53**
調整内容 53
ブランキング補正 53
調整方法 53
ASPECT RATIO（アスペクト比の切換） **54**
調整内容 54
スタートアップ 54

8. 設置モード **55**
設置モードのスタートアップ **55**
スタートアップ 55
INPUT SLOTS（入力スロット） **55**
調整内容 55
入力設定の表示、および変更 55
入力スロットの表示内容 56
スイッチャーが本機に接続されている場合 56
800周辺機器 **56**
取付けられる機器 56
RCVDS05の出力モジュールの定義 56
通信プロトコル 57

CONFIGURATION（設置形態） 57
調整内容 57
正しい設置方法の設定 57
OSD Color（オンスクリーン表示色） 58
調整内容 58
色の設定変更 58
NO SIGNAL（無信号時の背景色） 58
現象 58
背景色の変更 58
シャットダウン設定の変更 59
シャットダウン時間の変更 59
INTERNAL PATTERNS（内蔵テストパターン） 59
内蔵パターン 59
注記 60
LENS ADJUSTMENTS（レンズ調整） 60
調整内容 60
ZOOM/FOCUS/SHIFT（ズーム／フォーカス／シフト） 60
ZOOM/FOCUS（ズームとフォーカス） 61
SHIFT（シフト） 61
OPTIONS（オプション） 62
QUICK ACCESS KEYS(クイック･アクセスキー) 62
何ができるのか？ 62
概要を表示させる方法 62
注記 62
MENU POSITION(メニューの位置) 63
何ができるのか？ 63
設定方法 63

9. サービスモード 65
サービスモード 65
スタートアップ 65
サービスモードのメニュー構成 65
IDENTIFICATION（本機概要） 66
本機概要の表示 66
表示項目 66
概要 66
CHANGE PASSWORD（パスワードの変更） 67
パスワード機能の設定と解除方法 67
パスワードについて 67
パスワードの変更方法 68
ACCESS CONTROL LIST（アクセス･コントロール･リスト） 68
CHANGE LANGUAGE（言語の変更） 69
スタートアップ 69
CHANGE PROJ. ADDRESS（プロジェクターのアドレスの変更） 69
アドレスの変更方法 69
新しいアドレスの入力 69
SERIAL COMMUNICATION（シリアル通信） 69
スタートアップ 69
ボーレートの設定 70
インターフェイス標準の取付 70
RS422ターミネーション 70

LAMP（ランプ） **70**
ランプの情報 70
ランプ情報の表示方法 71
表示される情報 71
CONSTANT LIGHT OUTPUT（一定の光出力） 71
BARCO LOGO（バルコのロゴ） **71**
ロゴの表示 71
設定の追加、または変更 71
設定項目 72
ADD-INS（アドイン機能） **72**
アドイン機能を組み込む方法 72
PRESET INPUT BALANCE（入力バランスの設定） **72**
警告 72
スタートアップ 72
IDIAGNOSIS（診断） **73**
表示内容 73
診断のスタートアップ 73
I^2C DIAGNOSIS（I^2C診断）の選択方法 73
FORMATTER(フォーマッター)の状況の選択方法 73

A. プログラム可能な機能キー **75**
プログラム可能な機能キー **75**
機能キーで何ができるのか？ 75
機能キーのプログラム方法 75

B. 標準ソース　セットアップ·ファイル **77**

1 安全上のご注意

警告

けがや事故の防止

絶対にお客様御自身でランプのケーシングを分解、あるいは処理したりしないで、当社に返却するようにして下さい。

けがや事故を未然に防ぐため、常にこのマニュアルとシステムに貼られているラベルすべてを読んでから、ランプユニットを差し込んだり、コンセントに接続したり、本機を調整したりするようにしてください。

けがを防止するため、本機の重量は常に把握しておいてください。また、本機の運搬は必ず2名以上で行ってください。

絶対にレンズを覗かないでください。高輝度のため目に傷害を負う恐れがあります。

本機のいずれのフタも取り外そうとする前には、必ず本機の電源を切って、コンセントから電源を抜いてください。

天吊り設置を行う場合、本機あるいは他の物体の落下による事故を防止するため、他の人の立ち入りを制限してください。

本機損傷の防止

エアフィルターが適切に取り付けられていない場合には、本機内部での空気の流れが中断され、オーバーヒートの原因となります。動作中にオーバーヒートになると本機はシャットダウンされることがあります。

他の機器へ電磁気的な妨害を起こさないように、そして更に本機が電磁場適合性の規準に準拠し、正常な空気の流れを維持するために、常にすべてのフタを所定の場所に取付けた状態で運用してください。

絶対に本機内部に液体をこぼしたり、物体を落としたりしないよう気を付けてください。そのような状況になった場合には、即座に電源を切り、プラグを抜いてください。本機を再度操作するのは、当社認定のサービスマンの点検が終わってからにしてください。

本機を設置する場合、常に吸気口に空気が入るよう、また冷却システムから排出される温風の排気が妨げられないように留意してください。熱に弱い物質は排出される空気に触れないように置いてください。

電池爆発の防止

- 電池の入れ方を誤ると、爆発の危険があります。
- 製造元が推奨する電池、あるいは同等品と交換してください。
- 使用済みの電池の処理に関しては、ご使用の電池の使用説明に従ってください。

米国連邦通信委員会

FCCの声明文

本プロジェクターは、FCC規格のパート15によるクラスAディジタル装置の規格に準拠していることを検査し確認されています。この規格は、機器を商用環境下で操作したときに、他に悪影響を与えないように合理的な防護策を施すように規定したものです。この装置は高周波エネルギーを発生および使用し、それを放射することがあります。設置説明書に従って設置、使用されない場合は、無線通信に有害な影響を与えることがあります。この装置を住宅地域で使用するときは、有害な妨害が発生することがあります。その場合は、使用者の負担でその妨害を防止することが求められます。

注記：
同封の安全上のご注意も合わせてお読み下さい。（注文番号R5976125）

2 梱包と寸法

梱包

梱包方法

本機は以下の2通りの方法で梱包されています。

- フライトケース
- ダンボール箱

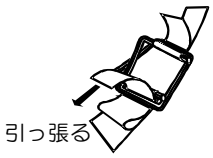
フライトケース

本機はフライトケースに入れられ、ランプユニットとレンズは同梱されていません。

ダンボール箱

輸送中の衝撃保護のため、本機はフォームに包まれ輸送用の固定板に取付けられ、頑丈なファイバーボードのダンボール箱に入れられています。

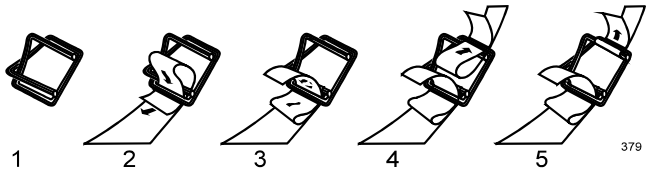
下図に示してあるように、まずは2つのクリップを引っ張り、梱包用のバンドを取り外します。



本機は輸送用の固定版に８つのボルトで取付けられていますので、これらのボルトを13mmのレンチで取り外してください。

本機のキャリーハンドルを持って輸送用のダンボール箱から取り出し、床かテーブルの上に置いてください。

警告：本機の重量(46.5kg)を考え、キャリーハンドルの両側を各1名ずつ持ち計2名で本機を持ち上げて下さい。本機を持ち上げる際、背中を痛めることのないように適切な機具をご使用なさるようお願いいたします。



ご注意

出荷用のダンボール箱と梱包用資材を保管しておいてください。将来輸送などの時に必要になるでしょう。本機を保護するため、工場出荷時と同様に梱包してください。

内容物

BARCO SLM G5（重量 約46.5kg）
リモコン(RCU)＋電池
電源ケーブル
オーナーズマニュアル（本書）
安全マニュアル

レンズの梱包

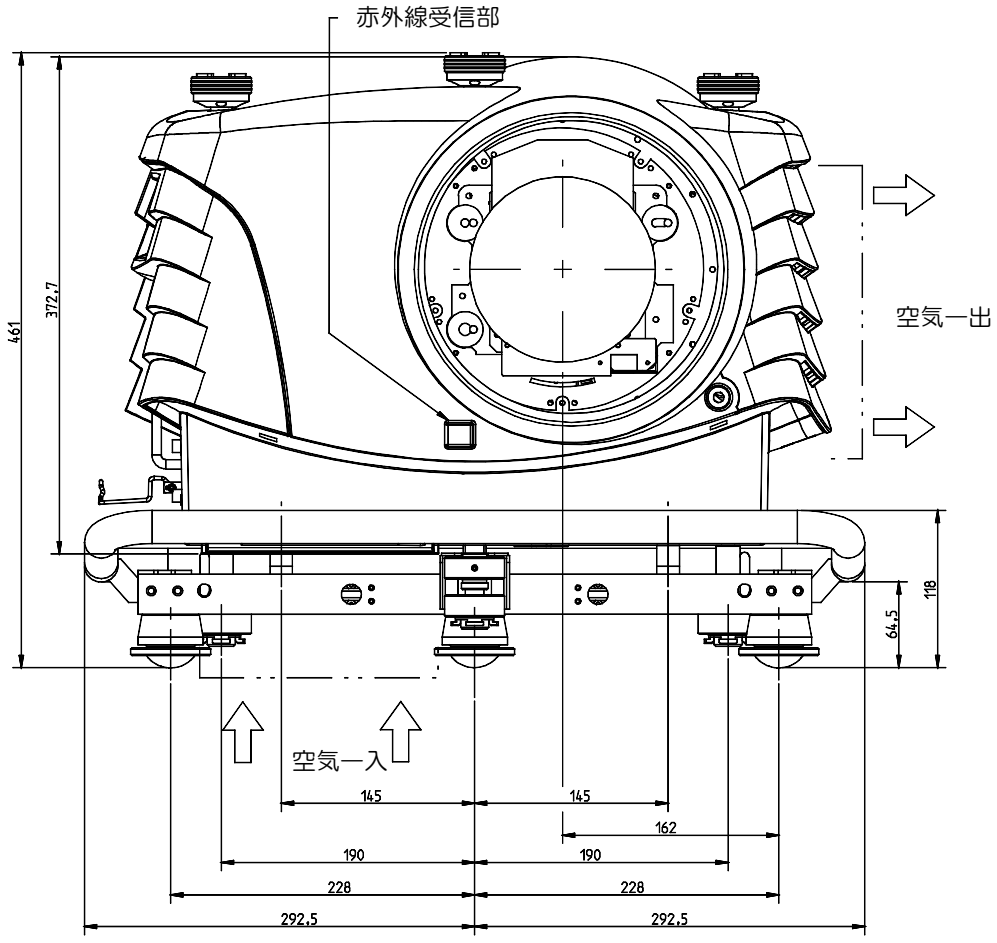
梱包

レンズは個別にダンボール箱で梱包されています。

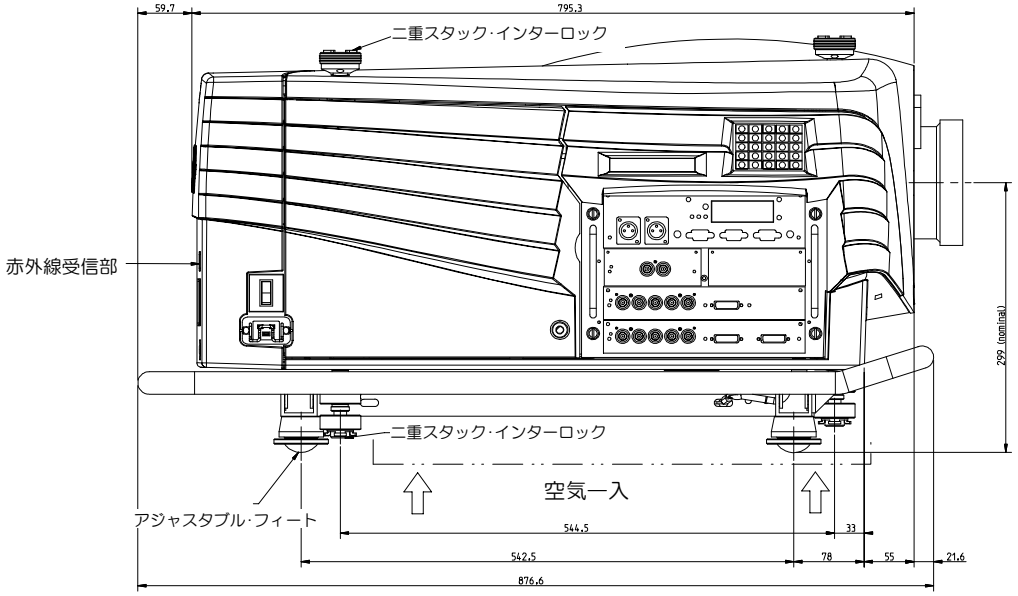
プロジェクターのケース

寸法(mm)

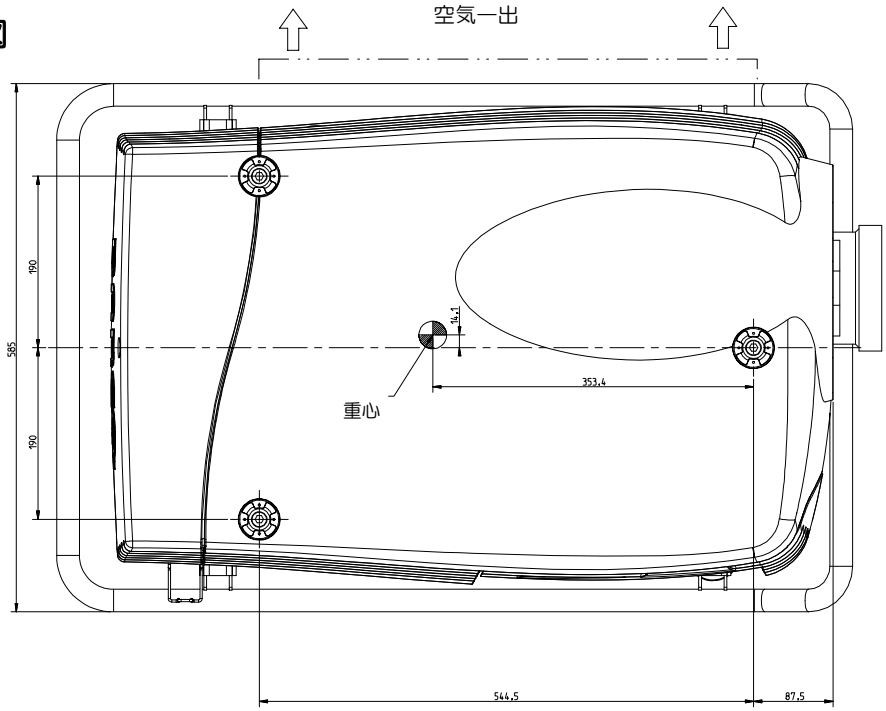
前面図



側面図


59.7
795.3
二重スタック·インターロック
赤外線受信部
299 (nominal)
二重スタック·インターロック
空気一入
アジャスタブル·フィート
544.5
33
542.5
78
55
21.6
876.6

平面図


空気一出
190
585
190
14.1
353.4
重心
544.5
87.5

3 設置ガイド

設置ガイド

設置場所の温度

プロジェクター·システムを最も有効に使用するためには、画像のサイズ、周囲の照明、プロジェクターの設置場所、スクリーンのタイプに十分な注意を払うことが大切です。また、周囲の温度は最高でも40° Cにしてください。

操作時の温度

最高周囲温度：40℃

最低周囲温度：0℃

本機は周囲温度がこの範囲（0℃～40℃）外になると操作ができなくなります。

保管時の温度：-35° C ～ +65° C

湿度

保管時：0 ～ 98% RH 結露しない状態

操作時：0 ～ 95% RH 結露しない状態

設置場所の環境

本機は、放熱器やエアーダクトなどの熱源の近く、直射日光の当たる場所、埃の多い場所、湿度の高い場所には設置しないでください。室温は上方では高くなるので、本機の設置場所での温度が過度にならないように注意してください。

設置環境の確認

警告：有害な環境汚染に対する予防措置が必要です。

清浄な空気が常に本機の通風孔に流れ込むような状態で設置してください。空気汚染をこうむりやすい環境での設置については、（本機の内部光学部、画像処理電子面に剰余脂の薄い層が沈積して、性能を下げる）、本機の空気清浄装置に達する前に取り除くことを強くお勧めします。汚染された空気から本機を保護するための機器または構造が必要条件ですが、これが不可能な場合には、清浄な空気環境に本機を再設置する基準を考慮すべきです。

製造者が推薦する光学部品のクリーニング·キットのみをご使用になり、決して産業用の強いクリーナーをご使用にならないでください。これら産業用のクリーナーは光学コーティングを低下させ、繊細な光電子工学コンポーネントを傷つけます。本機を長時間空気汚染のある環境で使用し、清浄な空気環境を用意することを怠ると、広範囲に、取り返しのつかない光学的損傷が起こります。この段階では内部光学部のクリーニングは無効で実行不可能になります。この自然損傷に関しては製造者の保証の対象とはならず、保証は無効であると判断されるでしょう。このような場合、お客様は修理に発生するすべての費用に対して責任を負うことになります。そして、お客様には常に設置環境での空気汚染の影響から本機を保護する責任があります。このような責任に対して怠慢、放棄され、または不適切に使用された場合には、製造者は修理を拒否する権利を有します。

レーザービーム取扱時のご注意

DLPプロジェクターをレーザー機器と同じ部屋で使用する場合には、特別の注意が必要になります。レンズへ直接、または間接にレーザービームを当てると、デジタル·ミラー·ディバイス(DMD)を破損する恐れがありますが、このケースは保証の範囲外になります。

スクリーンのタイプ

プロジェクター用のスクリーンは、大きく分けて２種類あります。前面からの投射用と、背面からの投射用です。

スクリーンは、その表面に投射される光をどれだけ反射（背面投射の場合はどれだけ放射）するかによってクラス分けされます。ここで、スクリーンの「ゲイン」という用語が使用されます。前面および背面投射用のスクリーンは、ゲインによって分類されます。スクリーンのゲインには、ゲイン1(X1)の白色マットスクリーンから、ゲイン10(X10)か、それ以上のアルミスクリーンがあります。高ゲインか低ゲインかのスクリーンを選択するのは、主に好みによりますが、それ以外の要素としては、視角があります。

3. 設置ガイド

どのようなスクリーンを選択するかは、視聴者の位置と可能な限り高ゲインのスクリーンを使用することによります。高ゲインのスクリーンでは、画像は明るくなりますが、視角が狭くなります。

使用するスクリーンの種類にかかわらず、そのスクリーンの高さが、使用するアスペクト比で画像を表示するのに十分であることが重要です。高さが十分でない場合には、全画像をスクリーンに表示するため画像全体の大きさを縮小する必要があります。

スクリーンについては、お近くのスクリーンの販売代理店にお問い合わせください。

画像のサイズ－最大のサイズ

本機の投射画像サイズ －アスペクト比4:3の画像で、最小1.00mから最大15mのサイズ（周囲の照明によって異なります。）

設置

設置方法

本機の設置には4つの方法があります。

- － フロント／テーブル
- － リア／テーブル
- － フロント／天吊り
- － リア／天吊り

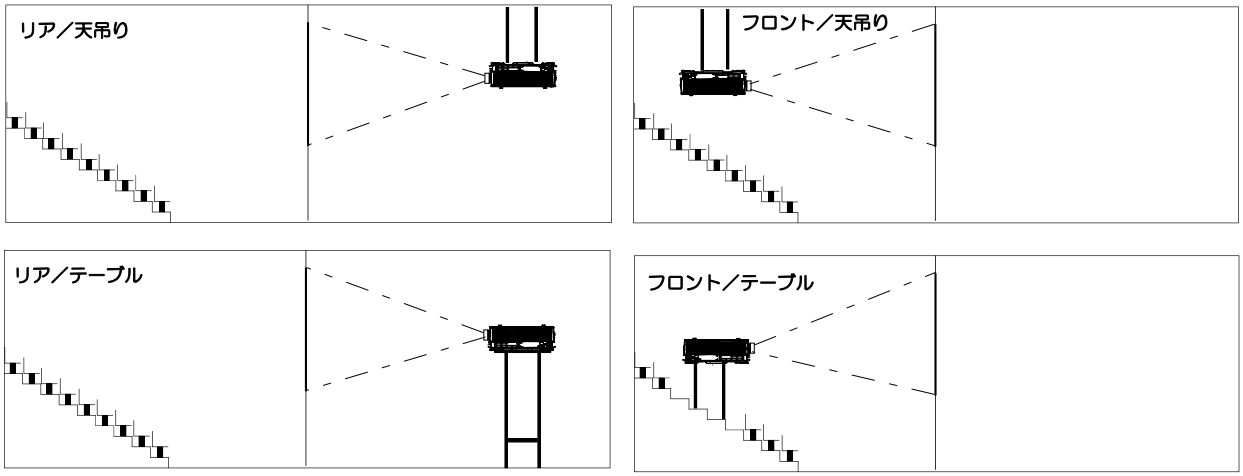


図1

プロジェクターの設置位置

本機はスクリーンに垂直にPD値をあけて水平に設置します。
本機は4通りの方法で設置が可能です。

本機の重量にご注意ください。約46.5kg（レンズ含まず）
キャリーハンドルを持って持ち運びを行って下さい。必要人数は2名

上図は標準のレンズでの設置位置を示しています。
3本の調整可能な脚の上に本機を置いた場合、これらの脚を回し入れたり出したりして本機を水平にします。

図中の記号の意味は下記のとおりです。

B＝天井とスクリーンの上端、もしくは床とスクリーンの下端。

A＝299mm、プロジェクターの底部とレンズの中央部の距離。1.8mm上下移動、6.2mmの左右移動は可能。

CD＝プロジェクターと天井、またはプロジェクターと床の距離。

SW＝スクリーンの幅。

SH＝スクリーンの高さ（画像の高さ）。

PD＝スクリーンとプロジェクターの距離。

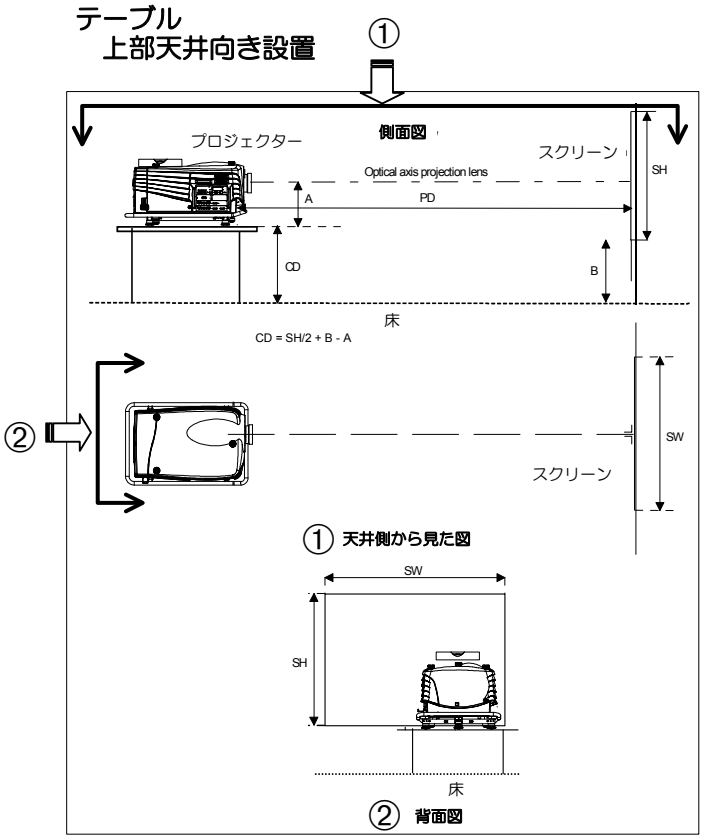

テーブル
上部天井向き設置
①
側面図
プロジェクター
スクリーン
Optical axis projection lens
SH
A
PD
CD
B
床
CD = SH/2 + B - A
②
SW
スクリーン
① 天井側から見た図
SW
SH
床
② 背面図

図2

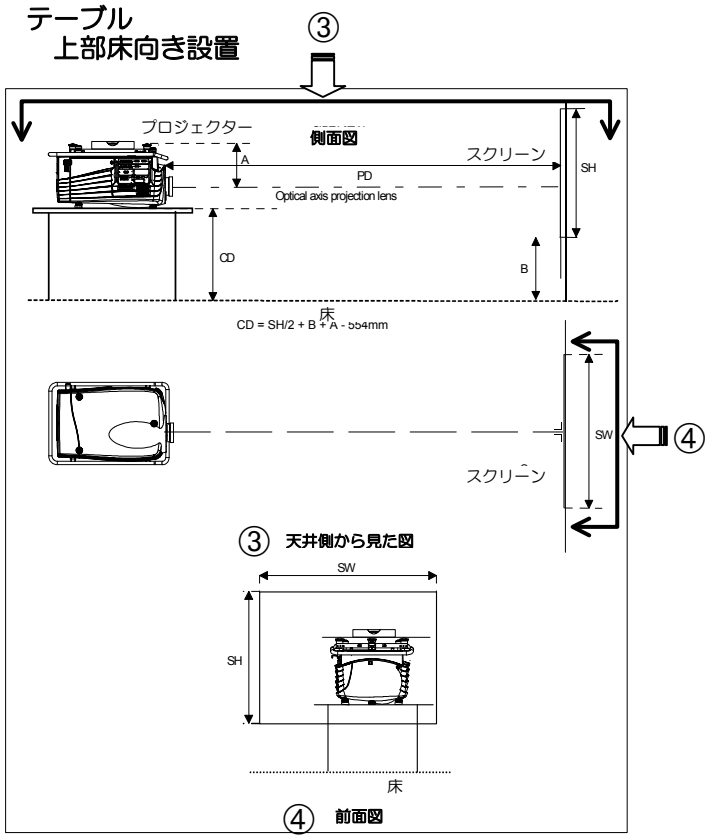

テーブル
上部床向き設置
③
側面図
プロジェクター
スクリーン
A
PD
Optical axis projection lens
SH
CD
B
床
CD = SH/2 + B + A - 554mm
SW
④
スクリーン
③ 天井側から見た図
SW
SH
床
④ 前面図

図3

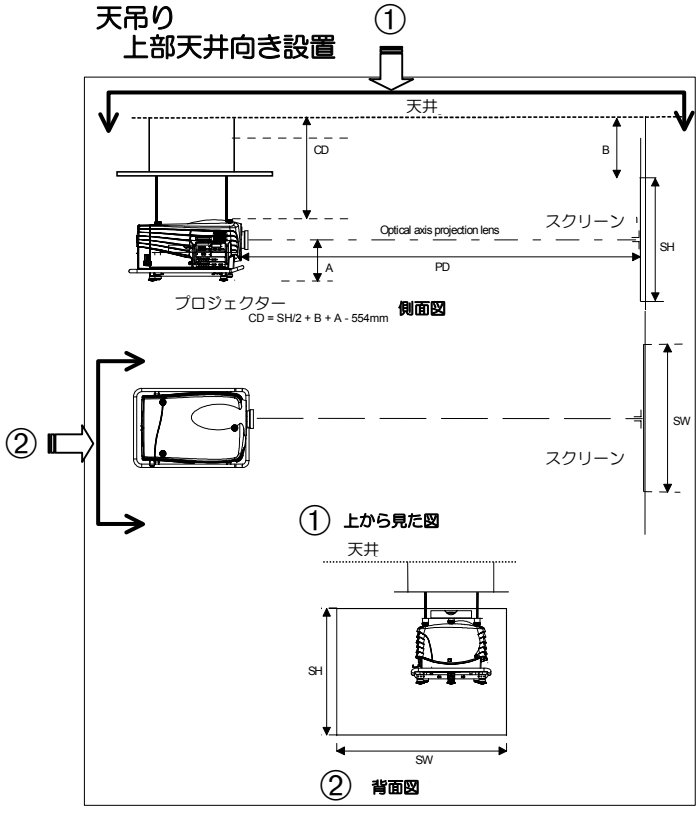

天吊り
上部天井向き設置
①
天井
CD
B
Optical axis projection lens
スクリーン
SH
A
PD
プロジェクター
CD = SH/2 + B + A - 554mm
側面図
②
SW
スクリーン
① 上から見た図
天井
SH
SW
② 背面図

図4

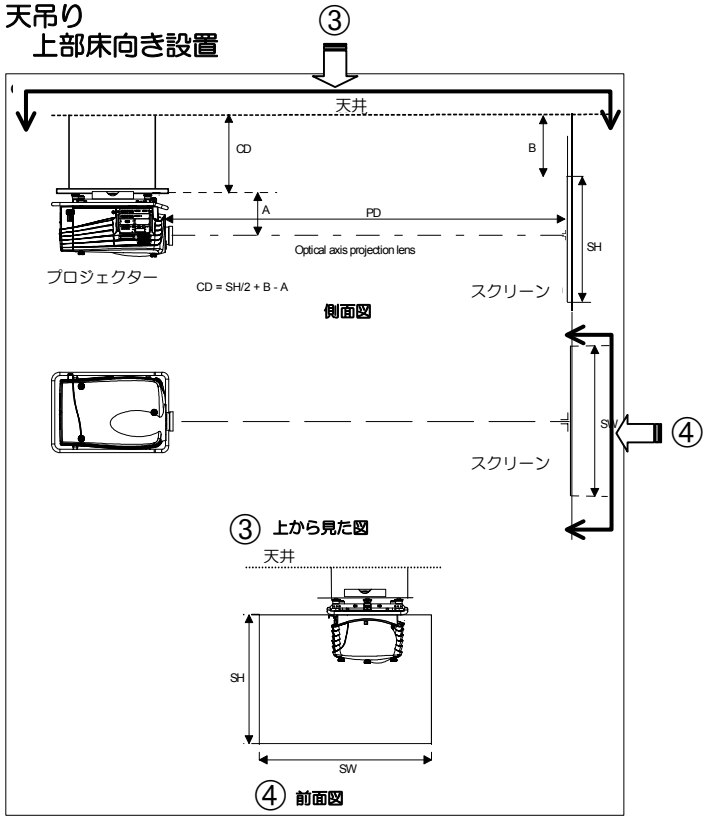

天吊り
上部床向き設置
③
天井
CD
B
A
PD
Optical axis projection lens
SH
プロジェクター
CD = SH/2 + B - A
スクリーン
側面図
SW
④
スクリーン
③ 上から見た図
天井
SH
SW
④ 前面図

図5

3. 設置ガイド

本機の安全領域

本機を設置する場合、冷却システムの空気の入口と出口を塞がないように注意してください。
本機左右1メートルの安全領域をあけるようにしてください。

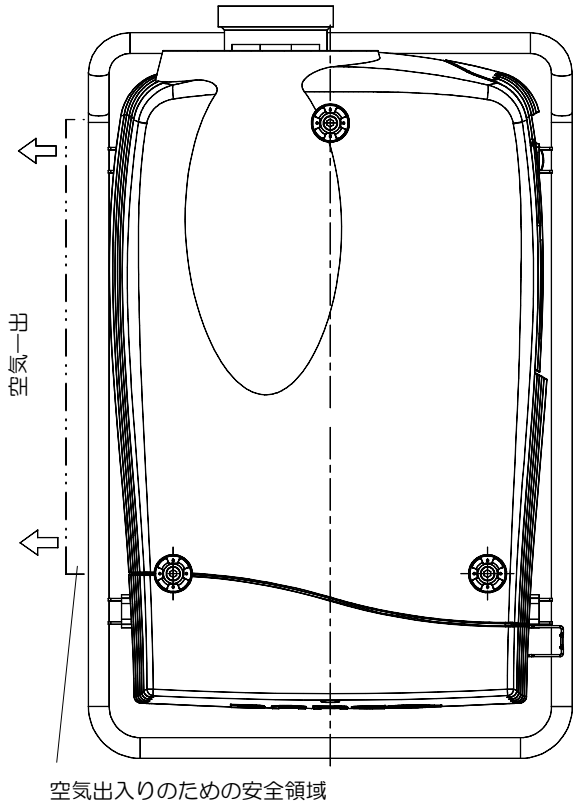


図6

ランプユニット内のランプ位置の再調整

ランタイムが長くなるにつれ、ランプの光出力は減ります。これによってスクリーンでの光出力が低くなります。この光出力の減少はランプの位置を再調整することで改善されます。

本機を開ける必要があるので、この作業は当社認定のサービスマンが行ってください。
手順は次の通りです。

1. 本機入力側で、止めネジを反時計方向へ90°回す。
2. カバーを左側に開いて、取り外す。
3. 調整モードを起動して、サービスを選択する。
4. ランプを選択する。ネジBを回すとき、Z軸表示（サービスモードのランプ·メニュー）が助けになります。(写真1)
5. ランプユニット後部のネジA（写真1）を緩める。（ナットドライバー10）
6. ネジB（写真1）を時計方向に少し回して、光出力を最大にする。（ランプ·メニューのZ-AXIS表示の最大値）
7. ランプユニット後部のネジを締めて、この位置を固定します。（ナットドライバー10）

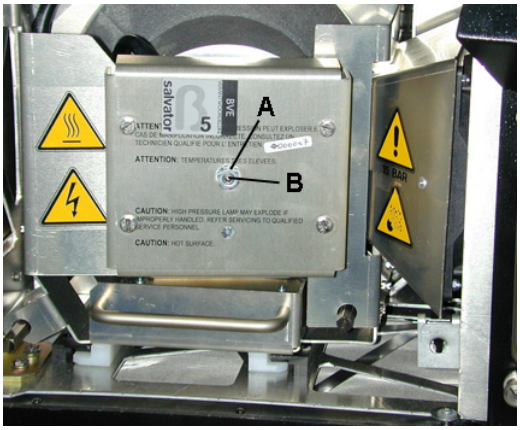


写真 1

レンズ

レンズタイプの選択

1. 使用するスクリーンの幅を決める。
2. 本機を設置するおおよその位置を決め、本機とスクリーンの距離を測る（PD）。
3. レンズの計算式を使って、スクリーン幅とスクリーンまでの距離に従い、そのPDに最適なレンズを見つけます。注文番号は以下の表をご参照ください。

レンズの種類

TLDレンズ

レンズ名	注文番号
TLD(1.6-2.0:1)	R9840670
TLD(2.0-2.8:1)	R9840680
TLD(2.8-5.0:1)	R9840690
TLD(1.2:1)	R9840770

投射距離の計算式

TLDレンズ（単位m）

TLD(1.6-2.0:1)	最小：	PD = 1.64 x SW – 0.09
	最大：	PD = 2.06 x SW – 0.12
TLD(2.0-2.8:1)	最小：	PD = 2.06 x SW – 0.16
	最大：	PD = 2.92 x SW – 0.23
TLD(2.8-5.0:1)	最小：	PD = 2.88 x SW – 0.15
	最大：	PD = 5.26 x SW – 0.36
TLD(1.2:1)		PD = 1.24 x SW – 0.08

注記

投射距離を算出するレンズのプログラムはバルコのウェブサイトでダウンロードできます。

http://www.barco.com/projection_systems/customer_services/lens_program.asp

レンズのプログラムは、フロッピーあるいはCDでもご注文できます。

3. 設置ガイド

投射レンズの取付け

本機にレンズは付属していません。

TLDレンズの取付方法

レンズホルダー内の梱包資材を取り外します。

1. 新しいレンズを箱から取り出し、前後のレンズ･キャップを取り外す。
2. レンズのモーターを上にして、レンズ･ブロックに入れる。
3. レンズのモーター･コネクタをレンズ･ブロックのコネクタ(B)に合わせ、レンズを押して、レンズ･アンカー･システムのハンドル(A)を右に動かし、レンズ･アンカー･システムにカチッとはめこむ。(写真2)

注記：テーブル設置の場合、レンズをレンズ･ブロックに押し込む時、本機を支えてテーブルから滑り落ちないようにしてください。

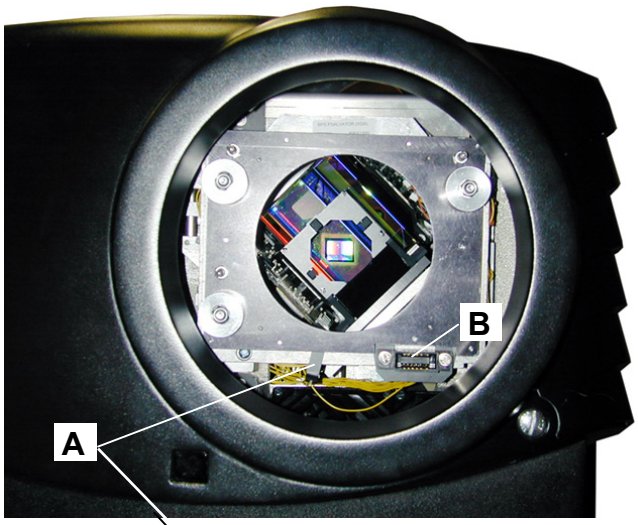


写真 2

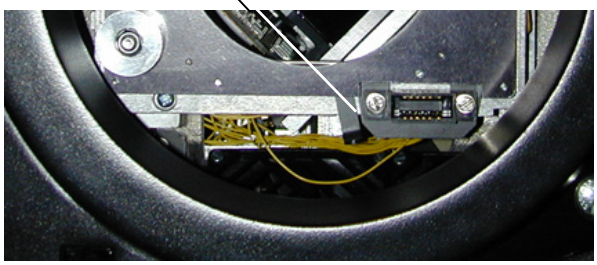


写真 3

写真 4

レンズのクリーニング

レンズの光学的な表面コーティングに傷をつけたり、むき出しのレンズの表面に引っ掻き傷をつけたりしないようにするために、レンズをクリーニングする場合は下記の手順を守ってください。

レンズ·キットにクリーニング用のトレシー™クロスが入っています。

レンズのクリーニングは次の手順に従ってください。

1. レンズ表面の埃や異物を乾燥したきれいな空気で吹き飛ばすようにして取り除いてください。レンズのクリーニングに**液体は使用しないでください。**
2. レンズは必ずきれいなクリーニング用トレシー™クロスで拭いてください。
3. レンズは必ず一方向に拭いてください。レンズの表面を往復するように拭くと、コーティングに汚れがこすりつけられることになりますから、気をつけてください。
4. クリーニング用クロスが汚れますから、部屋に放置または白衣のポケットなどには入れないでください。
5. レンズをクリーニングしていて、べとつくようなら、クロスを取り替えてください。べとつきは、クロスが汚れているという目安になります。
6. クリーニング用クロスの洗濯には柔軟剤を使用せず、また乾燥機で乾燥させるときには、柔軟剤シートを入れないでください。
7. クロスに液体クリーナーを使用するとクロスが汚れますから、使用しないでください。

新しいクリーニング用トレシー™クロス　　注文番号：R379058

リモコンへの電池の入れ方

出荷時のリモコン

電池と電源ケーブルは、ビニールバッグに入っています。電池の寿命を短くしないために、出荷時は、リモコン（RCU）には入れていません。RCUを使用する前に、次の手順で電池を入れてください。

電池の入れ方

リモコンの裏側にある矢印マークの先端を下方向に押してから持ち上げ、電池カバーを取り外します。（図7）

新しい9Vの電池（Eブロックタイプか、同等品）をコネクタに接続します。電池を電池ボックスに入れ、カバーを取り付けます。

注意：リモコンを使用する前に、リモコンにプロジェクターのアドレスを設定しなければなりません。（制御を参照）

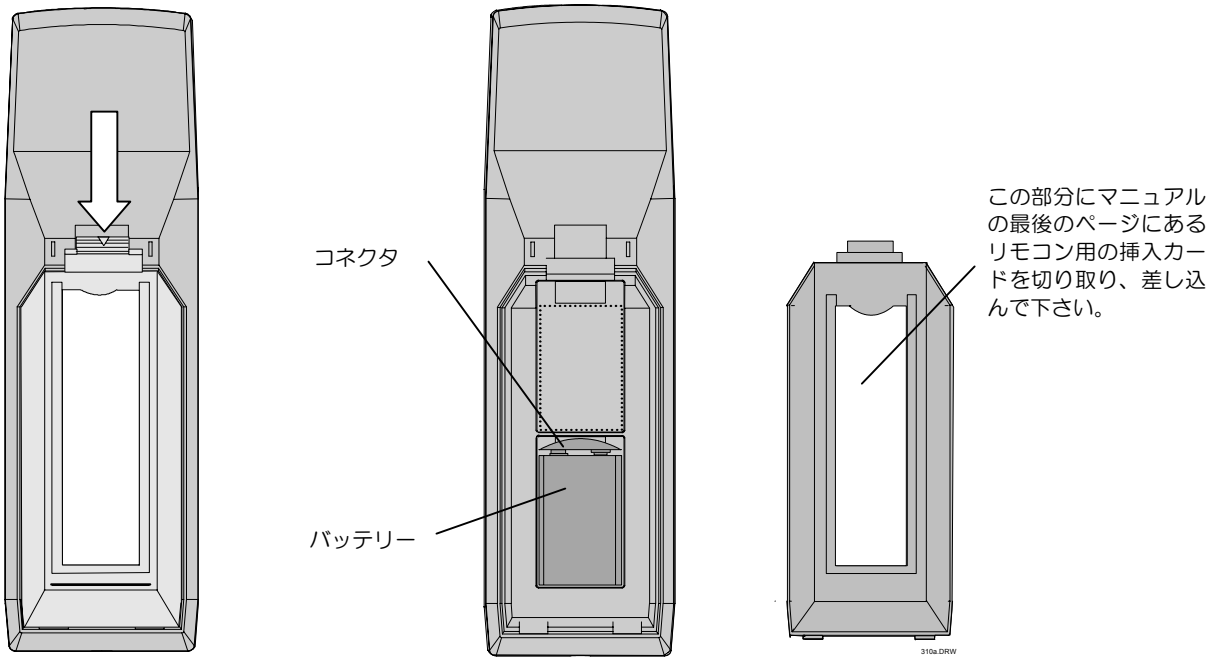


図7

3. 設置ガイド

プロジェクターのスタッキング

プロジェクター最高3台まで、他の道具やアクセサリーを使用しないで積み重ねることができます。

手順は次の通りです。

1. 2台目のプロジェクターを１台目のプロジェクターの上に乗せて、２台目のプロジェクターのベースプレートが１台目のプロジェクターのリギングソケットに合うようにします。(図8)
2. リギングソケットを回して、2台のプロジェクターを互いに固定します。
3. 天吊りの場合、一番下のプロジェクターの安全ケーブル(図9)でフック(A)を引っ張ります。
4. フックと安全ケーブルをキャリー･ハンドル（図10）に回し込み、さらに上のプロジェクターのキャリー･ハンドル(図11)に回し込みます。
5. 上のプロジェクターのベースプレートの穴Bにその安全ケーブルを引っ掛けます。
6. 反対側の安全ケーブルでも上述の手順を繰り返します。

警告：天吊りでプロジェクターを積み重ねる場合、常に安全ケーブルを取り付けてください。

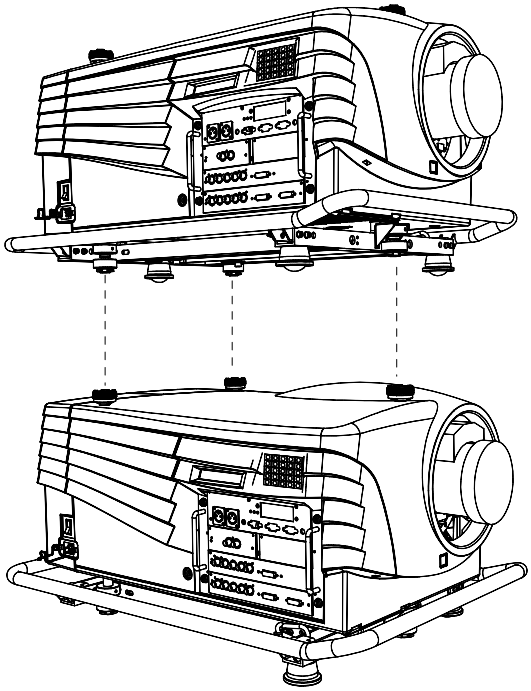


図8

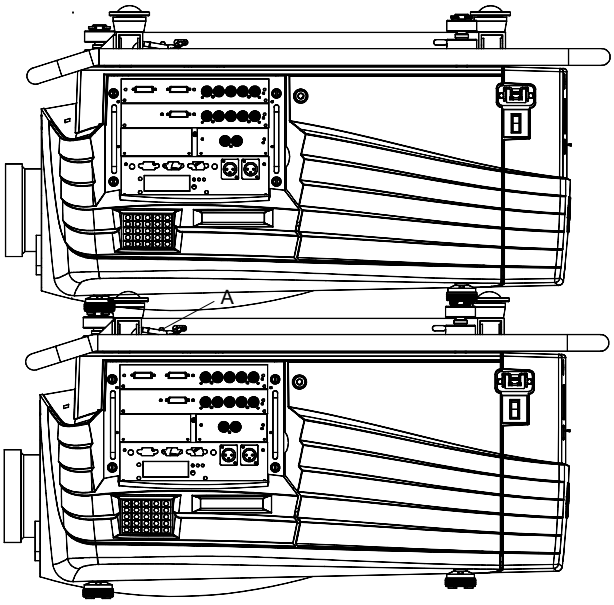


図9

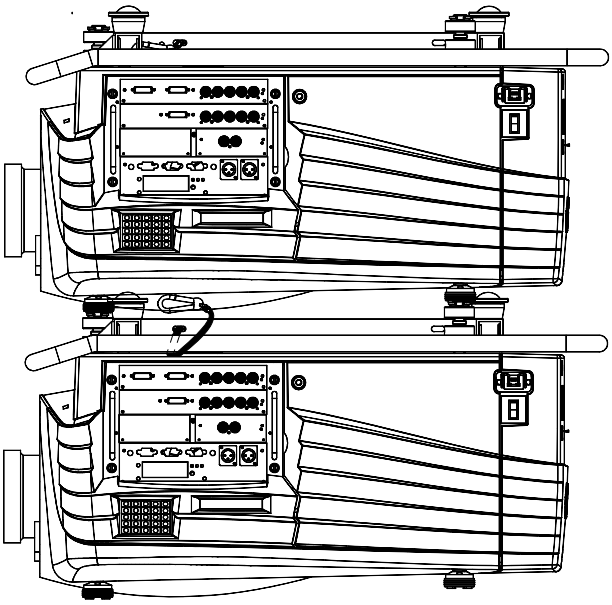


図10

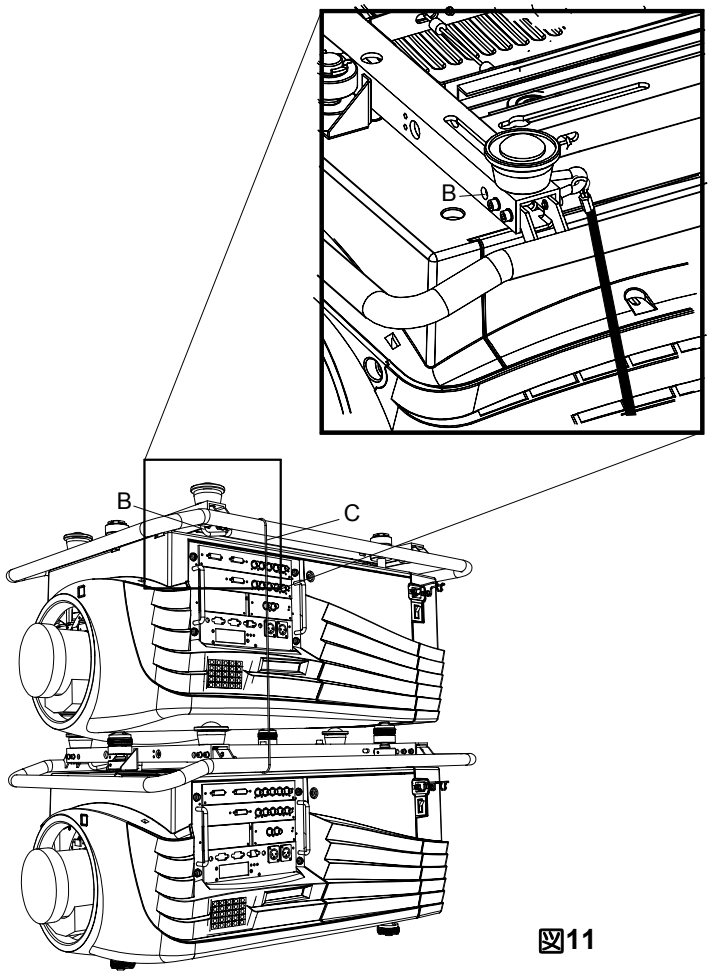


図11

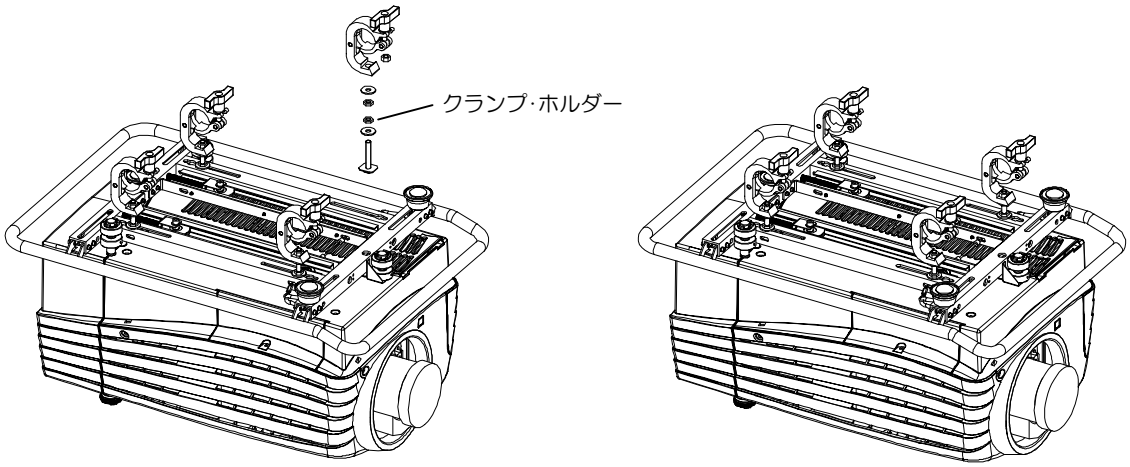
リギング·ポイントとアクセサリー

クランプ

オーバーロッカーを挿入して、クランプ位置をリギング·ポイントに合わせるために、キャリーハンドルのフレームには溝があるので、簡単にクランプ位置を調整することができます。

天吊用でない構造物に設置する場合には、シーリング·マウント設置前に、建築技師などの専門家にご相談ください。シーリング·マウントを吊り下げる構造物の強度は常に把握しておいてください。

本機を天井、またはリギング·システムに取り付ける場合は、必ず安全チェーンをご使用ください。



3. 設置ガイド

クランプの取付け方法

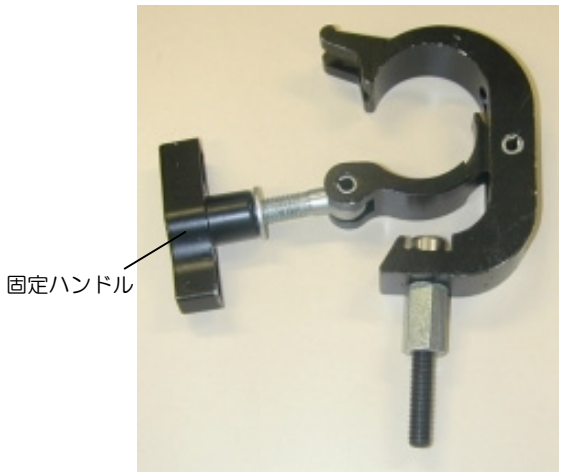
クランプを固定するためには、次の手順に従ってください。

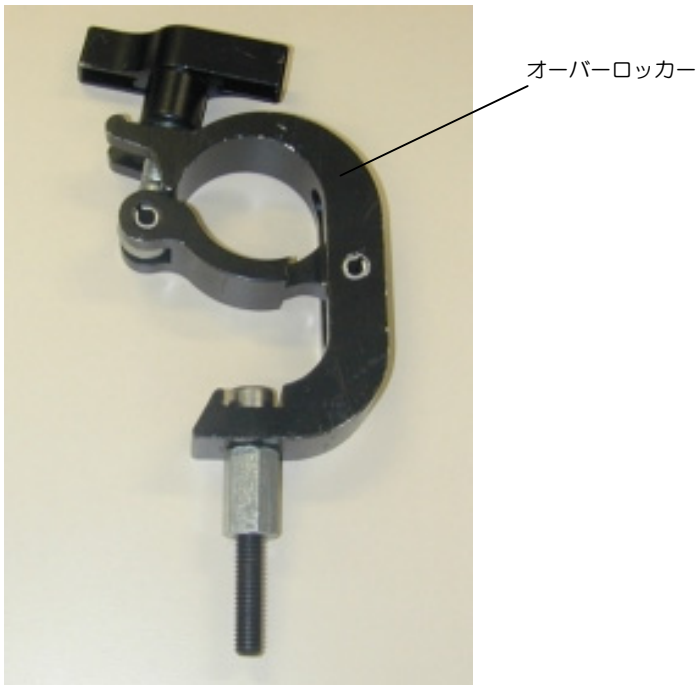
1. 取付用の２本のサポートバーの距離を測る。
2. クランプホルダーを測定した2本のサポートバー間の距離に従ってフレームの溝に固定する。
3. オーバーロッカーをクランプホルダーの穴に回し入れる。
   オーバーロッカーは回すことができます。

オーバーロッカーをトラスに取付ける方法

オーバーロッカーをトラスに取付けるには次の手順に従ってください。

1. 固定ハンドルを開く
2. クランプをチューブに引っ掛ける。
3. 固定ハンドルを閉じて、ハンドスクリューを回して固定する。





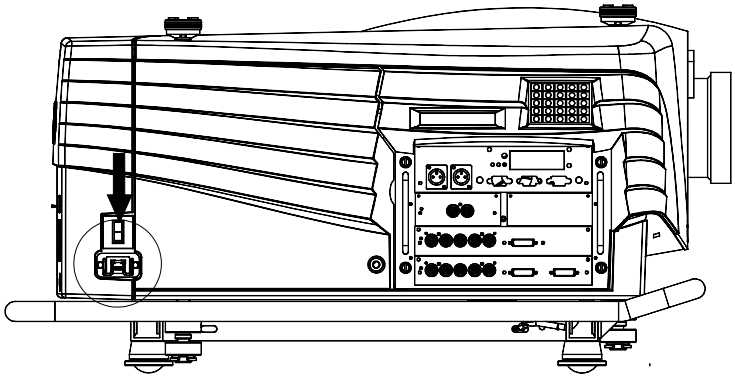
4 接続

電源の接続

電源コードの接続

付属の電源コードを、電源コンセントに接続します。プロジェクターの前面にあるコネクタ(オス)に電源コードを接続します。

必要電源は180V～253Vです。



ヒューズ

警告

発火の危険性を防止するために、次のことを守ってください。

- ヒューズを交換する場合は、当社認定のサービスマンにご相談ください。
- ヒューズは同種類のものと交換してください。

電源の入れ方

電源スイッチで電源を入れます。

「｜」側を押すと電源が入ります。

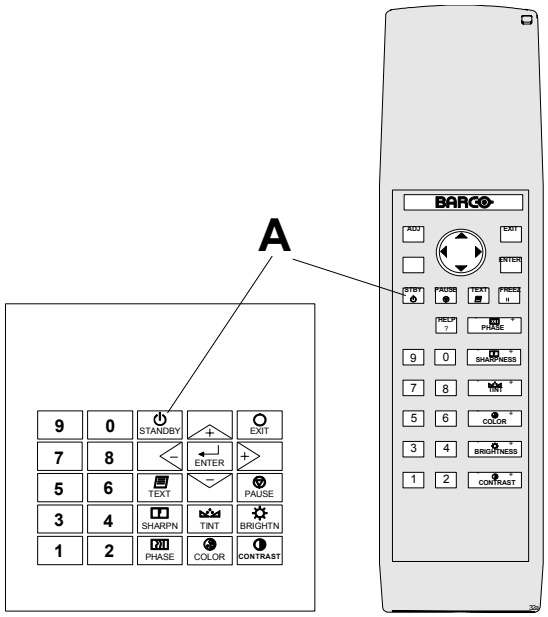
「○」側を押すと電源は切れます。

電源をオンにすると、プロジェクターはスタンバイモードになります。モード表示LEDが赤色になります。

画像の投影

a) 本体上のキーまたはリモコンのSTANDBYキー(A)を押します。プロジェクターのモード表示LEDが緑になります。

b) 数字キーを押して、入力ソースを選択します。プロジェクターのモード表示LEDが緑になります。



ランプのランタイムの表示

ランプの合計発光時間(ランタイム)が1470時間を超えると、次のメッセージが1分間表示されます。このメッセージは30分ごとに繰り返し表示されます。表示中にEXITキーを押すと、このメッセージは消えます。

REMAINING LAMP RUN TIME 30 HOURS

ランプのランタイムが1500時間を超えている場合は、次のメッセージが実際のランタイムと共に表示されます。(通常のランプのランタイムは1000時間ですが、最大のランタイムは1500時間になります。)

Lamp run time is 1500 hours. Operating the lamp longer than 1500 hours may damage the projector. Please replace the lamp.

（ランプの使用時間が1500時間になりました。1500時間以上ランプを使用すると、プロジェクターの故障の原因となります。ランプを交換してください。）

操作を継続するためにENTERキーを押しても、警告が30分ごとに繰り返し表示されます。

WARNING

Lamp run time is 1500 hours.
Operating the lamp longer than 1500 hours may damage the projector.
Please replace the lamp.

<ENTER> to continue

ランプは最長1500時間のご使用で初期の輝度に比べておおよそ半減します。安全上1500時間を超えてランプを使用しないでください。交換する場合は、必ず同じタイプのランプをご使用ください。ランプを交換する場合は、当社認定のサービスマンにご連絡ください。なお、ランプは消耗部品です。

ランプ·ランタイムに関する警告

1500時間を超えてランプを使用するのは危険であり、ランプが爆発する可能性があります。

ランプの光出力表示

本機を起動して、センタールーメンの測定値が初期値の50%より低い場合には、ランプの光出力についての警告が1分間表示されます。ENTERキーを押して操作を続けるとメッセージは繰り返し表示されません。

WARNING

Lamp run time is 1400 hours.
The light output of the lamp is less than 50% of its initial value.
It is advisable to replace the lamp before damage occurs.

<ENTER> to continue

「一定の光出力」がインストールされている場合、光出力が初期値より33%低減したとき、光出力についてのメッセージがスクリーンに表示されます。

このメッセージは1時間毎に繰り返し表示されます。

スタンバイモードへの戻り方

スタンバイモードに戻る場合、STANDBYキーを押してください。

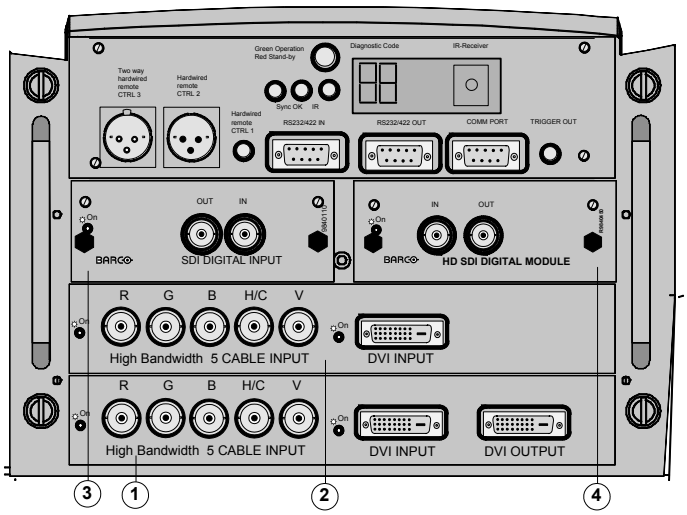
電源の切り方

電源をオフにするには、

- まずは、STANDBYキーを押してスタンバイモードにしてから、ファンが止まるか、あるいは少なくとも15分間待って本機を冷却してください。
- 次に電源スイッチを押して電源を切ります。

入力ソースの接続

入力機能



固定入力1と2

5ケーブル入力、またはDVI入力

可変入力3と4 ーオプション（2つのアナログ入力）

2デジタル入力

次から選択

SDI入力	注文番号 R9840110
HD SDIデジタル入力	注文番号 R9840450

入力機能、RCVDS05あるいはVS05の接続

注記：RCVDS05、あるいはVS05を使用したとき、本機の入力構成は次の通りです。

スロット1　：　RGB/コンポーネント
スロット2　：　ビデオ
スロット3　：　未使用
スロット4　：　未使用

RCVDS05を使用した場合、RCVDSに5ーケーブル出力モジュールを使用することをお勧めします。このモジュールの出力は本機スロット1に接続する必要があります。

本機を5ーケーブルモードに切り換えるには「設置モード」の章を参照してください。

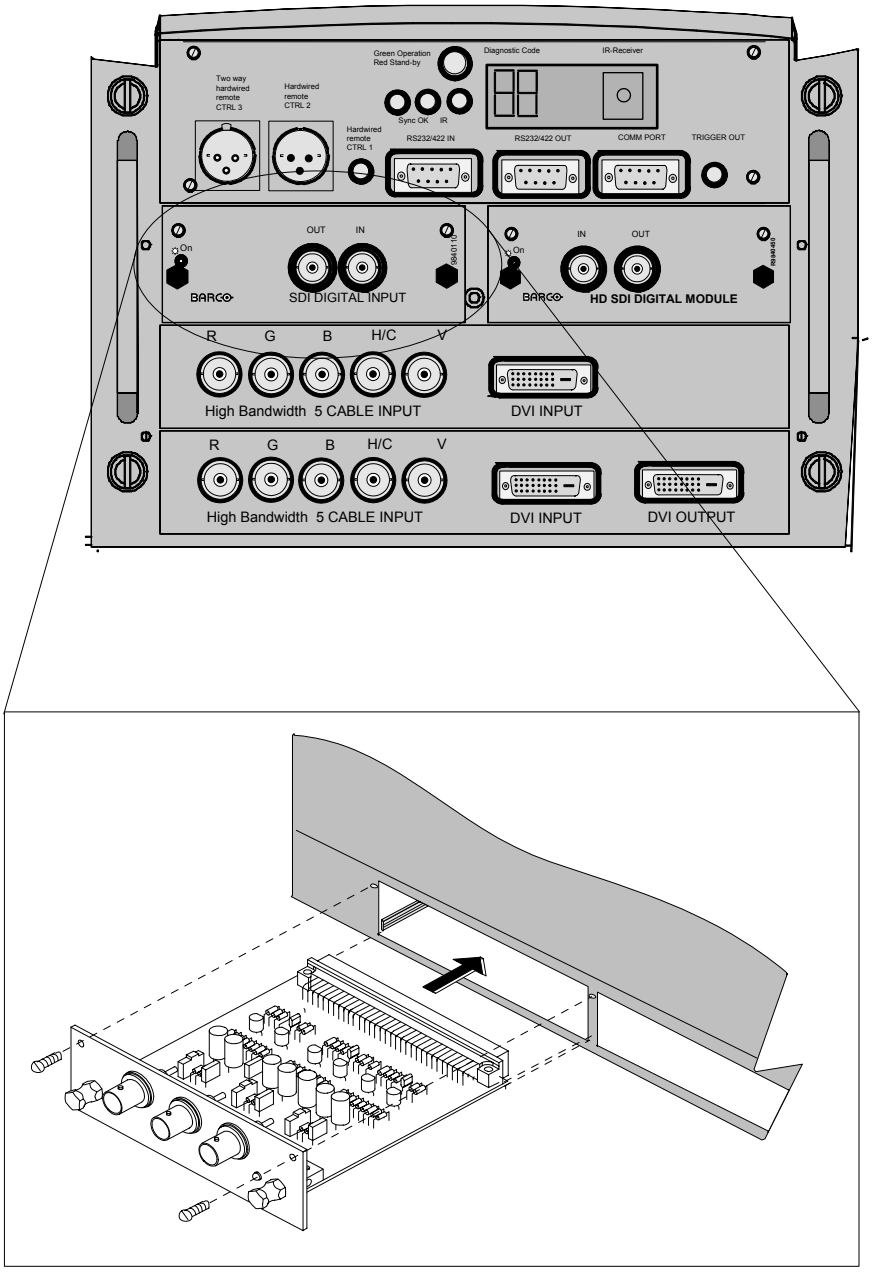
4. 接続

入力モジュールの装着

空きスロットの1つにモジュールを差込むには以下の手順に従ってください。

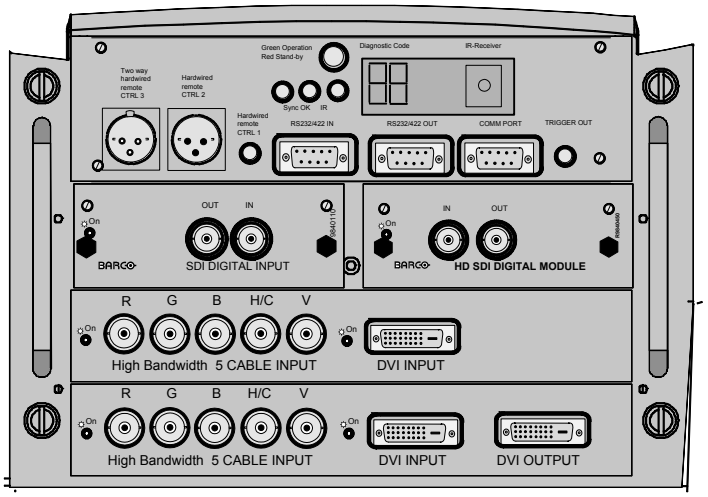
1. 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
2. 図にある両方のネジを外し、入力スロットをカバーしているダミープレートを取り外す。
3. 入力モジュールをスロットに差し込み、モジュールをガイド用のミゾに正しくはめ込むようにする。
4. モジュールのプラグが本機のコネクタに確実に挿入できるまで、モジュールの両方の突起部を押す。
5. 両方のネジを締めて、入力モジュールを固定する。
6. 電源コードを壁のコンセントに接続し、電源スイッチを入れる。

新しく組み込まれたモジュールは、リモコンかプロジェクター本体の数字キーで選択できます。



本体部スロット（スロット１と２）

スロット1と２は５ケーブル入力用の５つのBNC入力端子とDVI入力用のDVIプラグがあります。また、スロット１は2番目のプロジェクターへのループスルー用のDVI出力があります。設置モード内で、５ケーブル、あるいはDVI用の入力を設定することができます。（パネルリンク）



スロット１と２に接続する信号

次の信号をBNCコネクタに接続することができます。（5ケーブル入力）

コネクタ名 / 入力信号	R	G	B	H	V
RGBHV	R	G	B	H	V
RGBS	R	G	B	S	-
RGsB	R	Gs	B	-	-
コンポジット･ビデオ	-	VIDEO	-	-	-
S-ビデオ	-	Y	-	-	C
コンポーネント･ビデオ-SS	R-Y	Y	B-Y	S	-
コンポーネント･ビデオ-SOY	R-Y	Ys	B-Y	-	-

DVI信号(パネルリンク)はDVI入力コネクタに接続することができます。

DVIコネクタ用のピンの割り当て

Pin 1	TMDS DATA2-	Pin 9	TMDS DATA1-	Pin 17	TMDS DATA0-
Pin 2	TMDS DATA2+	Pin 10	TMDS DATA1+	Pin 18	TMDS DATA0+
Pin 3	TMDS DATA2/4 Shield	Pin 11	TMDS DATA1/3 Shield	Pin 19	TMDS DATA0/5 Shield
Pin 4	TMDS DATA4-	Pin 12	TMDS DATA3-	Pin 20	TMDS DATA5-
Pin 5	TMDS DATA4+	Pin 13	TMDS DATA3+	Pin 21	TMDS DATA5+
Pin 6	DDC Clock	Pin 14	+5 Power	Pin 22	TMDS Clock Shield
Pin 7	DDC Data	Pin 15	Ground (for +5V)	Pin 23	TMDS Clock+
Pin 8	No connect	Pin 16	Hot Plug Detect	Pin 24	TMDS Clock-

入力１または２の選択方法

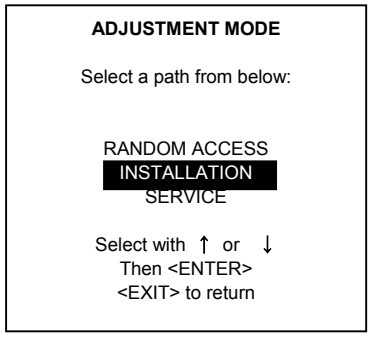
リモコン、または本体キーの１か２を入力します。

‘INPUT SLOT’メニューの信号フォーマットから選択

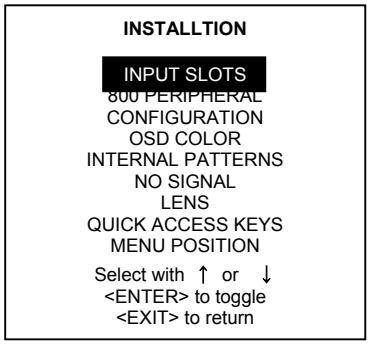
入力スロット設定の変更

この設定を変更するには、次の手順に従ってください。

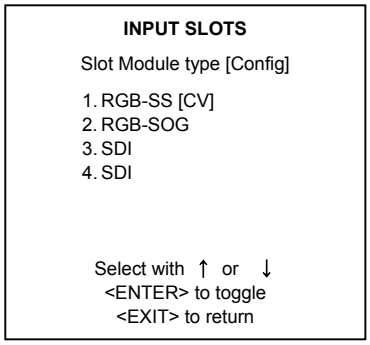
1. ADJUSTあるいはENTERキーを押して、ADJUSTMENT MODEをスタートさせる。
2. カーソルキーの↑か↓を押して、INSTALLATIONを選択する。（メニュー１）
3. ENTERキーを押す。
4. カーソルキーの↑か↓を押して、'INPUT SLOT'を選択する。（メニュー２）
5. ENTERキーを押す。内部システムが入力スロットの状態をスキャンし、その結果を'INPUT SLOT'メニューに表示します。
6. カーソルキーの↑か↓を押して、１、あるいは2番目のスロットを選択する。（メニュー３）
7. ENTERキーを押して、入力信号の優先順位を変える。



メニュー1



メニュー2



メニュー3

表示は次のようになります。

RGB-SS [CS or HS &VS] = RGBアナログ信号、Separate Sync*[3]はComposite Sync*[7]、またはHorizontal Sync*[9] とVertical Sync*[8]

RGB-SS[CV] = RGBアナログ信号、Separate Sync*[3]はComposite Video*[13]

RGB-SOG [SOG or 3LSOG] = RGBアナログ信号、Sync on Green*[2]はComposite Sync*[7]、またはComposite Tri-level Sync*[12]

COMPONENT VIDEO - SS[SS or 3LSS] = Separate Sync*[3]はComposite Sync*[7]、またはComposite Tri-level Sync*[12]

COMPONENT VIDEO - SOY[SOY or 3LSOY] = Composite Sync on Y*[14]でのコンポーネント･ビデオ、またはComposite Tri-level Sync on Y*[15]

VIDEO

S-VIDEO

PANELLINK

5ケーブル･モジュールのアナログ信号からパネルリンク入力へ変更する場合、モジュールの前面パネルのLED表示が5ケーブル入力からDVI(パネルリンク)入力に切り換わります。

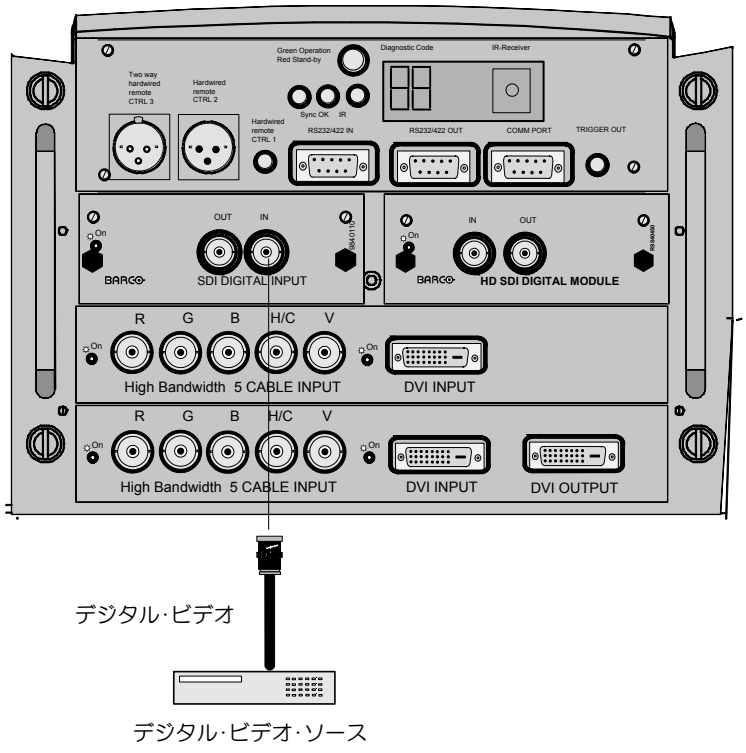
RCVDS05のユーザー様へのご注意

5ケーブル出力モジュールの付いたRCVDS 05を使用する時は、5ケーブル出力モジュールを5本のケーブルでプロジェクターのこの本体部5入力スロット（スロット１）に接続します。これで、すべてRCVDSのソースはプロジェクターで使用することができるようになります。

シリアル･デジタル入力（スロット３と４）

入力接続

デジタル･ベータカム、あるいは他のデジタル･ビデオ･ソースと完全に互換性があります。
これで、ビデオ制作現場でのアナログ･ビデオ処理の必要性がなくなり、最高の画質を保証できるようになりました。
SDI入力信号のアクティブ･ループスルーがモニタリング、または、二台、三台のスタッキング･アプリケーション用に用意されています。



接続

BNC入力ターミナルx1とアクティブ･ループスルーBNC出力ターミナルx1。
入力は常に75Ωで終端されています。SDIアウトの出力インピーダンスは75Ωです。

デジタル入力選択

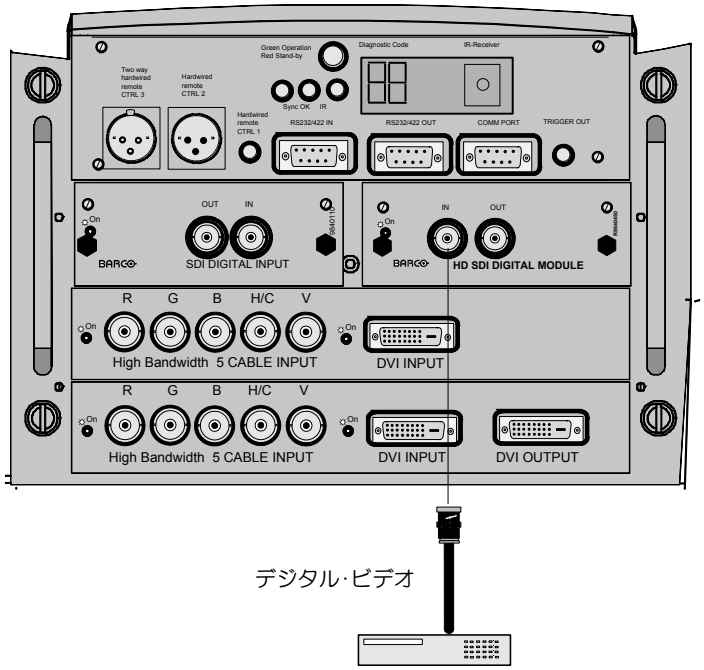
リモコン、または本体キーの対応するスロット番号を入力します。

注記：
RCVDS05がプロジェクターに接続されている場合、SDI入力はリモコンで83と84を入力することで選ぶことができます。

HD SDIデジタル入力(スロット３と４)

入力接続

HDデジタルソースと完全に互換性があります。
これで、ビデオ制作現場でのアナログ･ビデオ処理の必要性がなくなり、最高の画質を保証できるようになりました。
HD SDI入力信号のアクティブ･ループスルーがモニタリング、または、二台、三台のスタッキング･アプリケーション用に用意されています。



デジタル･ビデオ

デジタル･ビデオ･ソース

接続

BNC入力ターミナルx1とアクティブ･ループスルーBNC出力ターミナルx1。
入力は常に75Ωで終端されています。HD SDIアウトの出力インピーダンスは75Ωです。

短距離(最高10m)の場合、一重シールド高品質75Ω同軸ケーブルを使用することができます。
長距離の場合には二重シールド75Ω同軸ケーブルを使用する必要があります。推奨タイプ：BELDEN 8281(最高80m)、またはBELDEN 1694A(最高120m)

デジタル入力選択

リモコン、または本体キーの対応するスロット番号を入力します。

注記：
RCVDS05がプロジェクターに接続されている場合、SDI入力はリモコンで83と84を入力することで選ぶことができます。

通信接続

使用可能通信接続

1. プロジェクターとコンピュータのRS232/422接続ポート
2. BARCOの周辺機器との接続ポート
3. トリガー出力

1. RS232接続

RS232/422入力とRS232/422出力

本機には、コンピュータと通信できるようにRS232/422ポートがあります。
RS232/422出力ポートは次の機器にループスルーとして使用することができます。

リモートコントロール

- IBM PC（またはその互換機）やMACを接続すると、プロジェクターの調整が簡単に行えます。
- 複数のプロジェクター構成とそのセットアップを記憶させることができます。
- 操作の範囲が広がります。
- 0から255までのアドレスを使用できます。

データ通信

- プロジェクターへデータを送信したり、プロジェクターのデータをメモリー機器（ハードディスク、フロッピーなど）にコピーできます。

コンピュータ通信用ボーレートの設定

「サービスモード」の章、「ボーレートの設定」の項を参照してください。

2. 周辺機器の接続

RCVDS 05の接続

RCVDS 05には、10枚の入力用ボード最大20入力が装着できます。さらに拡張モジュールでRCVDSをリンクさせることにより、接続可能な入力数は89となります。

RCVDSには次のような機能があります。

- プロジェクターとの通信。
- プロジェクターコントロール用のリモートコントロール·ボタン（ソースの選択とアナログ設定）。
- 選択したソース番号が表示されます。選択した入力モジュールは、後部のLEDで表示されます。

詳しい使用方法については、RCVDS 05のオーナーズマニュアルを参照してください。

VS05の接続

VS05に接続できる数は、複合ビデオ　ソースが5、スーパービデオ·ソースが3、RGBアナログもしくはコンポーネント·ビデオ·ソースいずれか１つが切換え選択できます。さらに、ソースに対応するオーディオ信号も、オーディオアンプ用に接続できます。

オーダー番号：　R9827890

詳しい使用方法については、VS05のオーナーズマニュアルを参照してください。

赤外線リモート·レシーバの接続

赤外線リモート·レシーバは赤外線受信機で、他の部屋からプロジェクターをコントロールすることができます。赤外線リモート·レシーバとプロジェクターまたはRCVDSは通信ケーブルで結ばれます。リモコンからのコントロール信号は、赤外線リモート·レシーバへ送信されます。

赤外線リモート·レシーバは、選択したソースを7セグメント表示器に表示します

3. トリガー出力

外付け機器を制御する5V出力電圧（最高10mA）
この電圧は本機が電源オンの時に使用できます。

5 起動

リモートコントローラーと本体上のキー

機能

リモートコントローラー（リモコン）は、赤外線タイプの送信機です。これで、プロジェクターをリモートコントロールすることができます。

このリモコンを使用して、ソースの選択、制御、条件の設定を行います。これは、次の条件の自動保存を含んでいます。

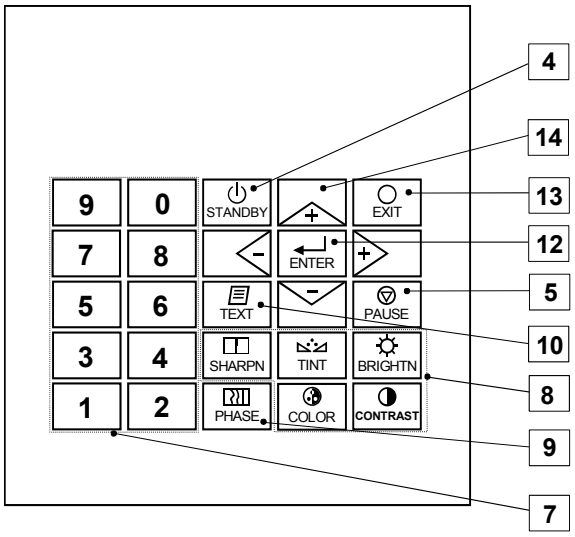
- 画像制御（明るさ、シャープネスなど）
- 条件設定

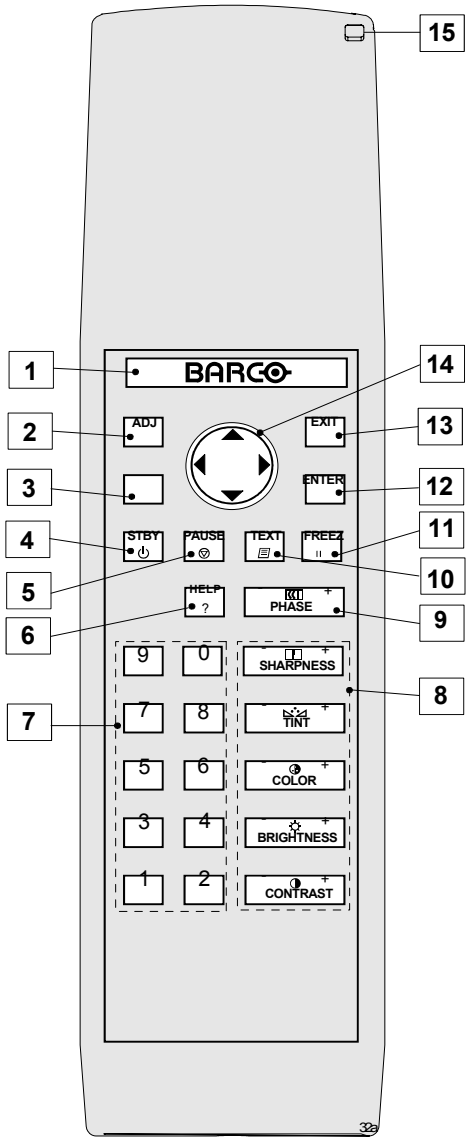
リモコンのその他の機能は下記のとおりです。

●スタンバイと動作モードの切り替え

●ポーズ機能（画像の投射を停止、すぐに再スタート可能）

●接続してあるソースへの直接アクセス





各キーの名称と機能

1 **BARCOキー**：選択キー。レンズ調整メニューに直接アクセスするのに使用します。

2 **ADJキー**：調整モードに入ったり、あるいは調整モードを終了したりします。

3 **アドレス（凹んでいる）キー**：プロジェクターのアドレス（0～9）を入力します。このキーをボールペンの先などで押し、次に0から9までのアドレスの数字キーを押します。

4 **STBY（待機）キー**：a）電源を入れた後に、プロジェクターを作動させます。（ランプを点灯させます。）
b) 電源スイッチを切ることなく画像の投射を長期間中断します。（ランプを消灯させます。スタンバイ·モード）

5 **PAUSE（停止）キー**：短期間画像の投射を中断します。画像は消えますが、すぐに再スタートできます。

6 **HELP**: オンラインヘルプ·インフォメーション（現在は使用できません）

7 **数字キー**：数値の直接入力に使用します。

8 **画質制御キー**：これらのキーを使用して各画像のアナログレベルを希望の値に調整します。（「制御）の章参照）

9 **PHASE（フェーズ）キー**：画像が不安定なときに使用します。

10 **TEXT（テキスト）キー**：会議中などに画像の調整をするときに、このキーを押すとバースケールを消すことができます。スクリーンにバースケールを表示させるには、もう一度このキーを押します。このキーは、操作モードのときにのみ有効になります。

11 **FREEZ（フリーズ）キー**：投影中の画像の動きを停止させます。

12 **ENTER（エンター）キー**：
a) 調整モードに入ります。
b) 調整内容を確認します。
c) 調整モードでの項目を選択します。

13 **EXIT（エグジット）キー**：
a) 調整モードを終了させます。
b) 調整モードでは前画面に戻ります。

14 **カーソルキー（リモコン）か、＋と－（カーソル）キー**：調整モード·メニューの選択を行います。カーソルキーは、前後左右に動かすことができます。カーソルキーの動作は、本体上のカーソルキーの動作と次のように対応しています。

カーソルキー	本体上のカーソルキー
前に押す	上向き（＋）
後ろに押す	下向き（－）
右に押す	右向き（＋）
左に押す	左向き（－）

カーソルキーの使用：画質制御を最初に選択したときに、そのアナログレベルを増減させます。

15 **RC動作ランプ**：リモコンのキーを押すと点滅します。
（リモコンが動作していることを確かめるためのインジケータです。）

操作

電源の入れ方

電源スイッチで電源を入れます。

「 I 」側を押すと電源が入ります。

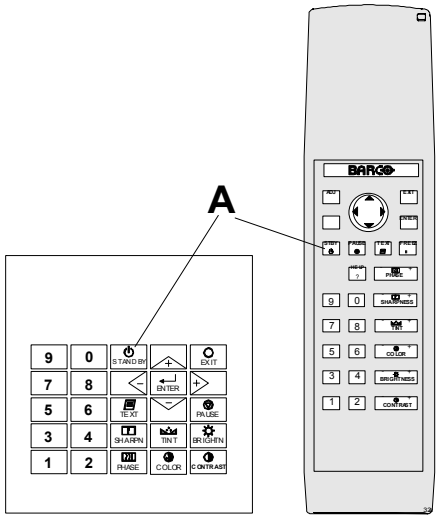
「○」側を押すと電源は切れます。

電源をオンにすると、プロジェクターはスタンバイ·モードになります。モード表示LEDが赤色になります。

画像の投影

a) 本体上のキーまたはリモートコントロールのSTANDBYキーを押します。プロジェクターのモード表示LEDが緑になります。

b) 数字キーを押して、入力ソースを選択します。プロジェクターのモード表示LEDが緑になります。



ランプのランタイムの表示

ランプの合計発光時間(ランタイム)が1470時間を超えると、次のメッセージが1分間表示されます。このメッセージは30分ごとに繰り返し表示されます。表示中にEXITキーを押すと、このメッセージは消えます。

REMAINING LAMP RUN TIME 30h

ランプのランタイムが1500時間を超えている場合は、次のメッセージが実際のランタイムと共に表示されます。(通常のランプのランタイムは1000時間ですが、最大のランタイムは1500時間になります。)

（ランプの使用時間が1500時間になりました。1500時間以上ランプを使用すると、プロジェクターの故障の原因となります。ランプを交換してください。）

WARNING Lamp run time is 1500 hours Operating the lamp longer than 1500 hours may damage the projector. Please replace the lamp

操作を継続するためにENTERキーを押しても、警告が30分ごとに繰り返し表示されます。

ランプは最長1500時間のご使用で初期の輝度に比べておおよそ半減します。安全上1500時間を超えてランプを使用しないでください。交換する場合は、必ず同じタイプのランプをご使用ください。ランプを交換する場合は、当社認定のサービスマンにご連絡ください。なお、ランプは消耗部品です。

ランプのランタイムに関する警告

1500時間を超えてランプを使用するのは危険であり、ランプが爆発する可能性があります。

5. 起動

ランプの光出力表示

本機を起動して、センタールーメンの測定値が初期値の50%より低い場合には、ランプの光出力についての警告が1分間表示されます。ENTERキーを押して操作を続けるとメッセージは繰り返し表示されません。

WARNING

Lamp run time is 1400 hours.
The light output of the lamp is less than 50% of its initial value.
It is advisable to replace the lamp before damage occurs.

<ENTER> to continue

操作中、または起動してメッセージが表示されない状態だと、光出力が初期値より33%低減した場合に、光出力についてのメッセージはスクリーンに表示されます。

このメッセージは1時間毎に繰り返し表示されます。

スタンバイ·モードへの戻り方

スタンバイ·モードに戻る場合、STANDBYキーを押してください。

電源の切り方

電源をオフにするには、

1. まずは、STANDBYキーを押してスタンバイ·モードにしてから、ファンが止まるか、あるいは少なくとも15分間待って本機を冷却する。
2. 次に電源スイッチを押して電源を切る。

DMD温度エラー

DMDのひとつの温度が低すぎる、あるいは高すぎる場合、本機は自動的にスタンバイ状態になります。スタンバイに切り換る前に次のメッセージが3秒間スクリーンに表示されます。「DMD操作温度範囲外。自動シャットダウン作動中」

LEDに'ｲ'が表示され、DMD温度に問題が起こったため本機がスタンバイに切り換ることを知らせます。

ERROR

DMD out of operating temperature range.

Automatic shutdown is activated

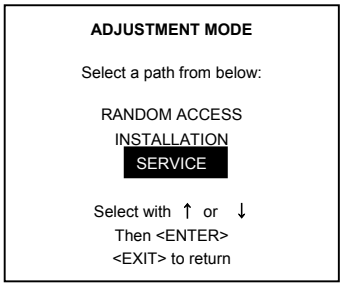
セットアップ調整

言語の変更

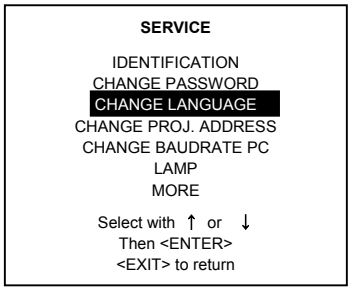
異なったスクリーン表示言語が使用できる場合には、次の手順に従って言語を変更してください。

1. ENTERキーを押して調整モードをスタートする。
2. カーソルキーの↑か↓を押してSERVICEをハイライト表示させる。（メニュー1）
3. ENTERキーを押してサービスモード･メニューを表示させる。
4. カーソルキーの↑か↓を押してCHANGE LANGUAGEをハイライト表示させる。（メニュー２）メニューにない場合には、はじめにMOREをハイライト表示させ、ENTERキーを押して2番目のサービス･メニューを表示させる。CHANGE LANGUAGE を選択する。
5. ENTERキーを押して言語選択メニューを表示させる。
6. カーソルキーの↑か↓を押して希望の言語をハイライト表示させる。（メニュー３）

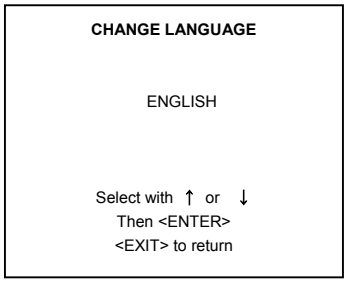
現在のところ使用できる言語は英語のみとなります。



メニュー1



メニュー2



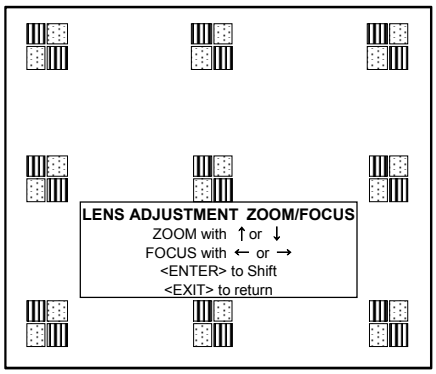
メニュー3

レンズの調整

レンズの設定と画像の移動をするには、BARCOキーを押して、ズームとフォーカス･メニューを表示させてください。
電動レンズの場合のみです。

A. レンズのズーム／フォーカス

1. BARCOキーを押す。
   ズーム/フォーカス･メニューが表示されます。
2. カーソルキーの↑か↓を押して画像のズームを、そして←か→を押して画像のフォーカスを調整する。
3. 終了したら、EXITキーを押して戻るか、ENTERキーを押してシフト調整を続行する。

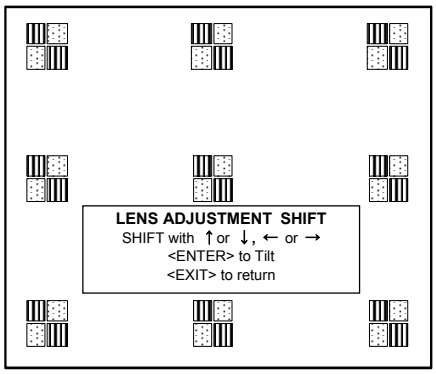


他の調整可能なパターンをリモコンのBARCOキーで選択します。
次のパターンが選択可能です。

- ソース自体
- ハッチ･パターン
- ２つの異なったフォーカス･パターン

B. 画像シフト

1. 選択キーのBARCOキーを押す。
   ズーム/フォーカス･メニューが表示されます。
2. ENTERキーを押す。シフト･メニューが表示されます。
3. カーソルキーの↑か↓を押して画像を上下に移動させ、←か→を押して画像を左右に移動させる。
4. 終了したら、EXITキーを押して前の画面に戻るか、ENTERキーを押して傾き調整を行う。

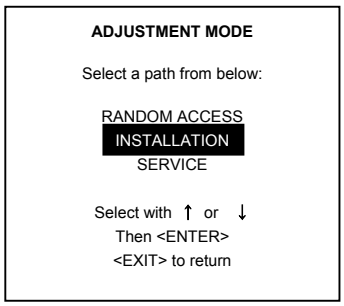


オンスクリーン表示色の変更

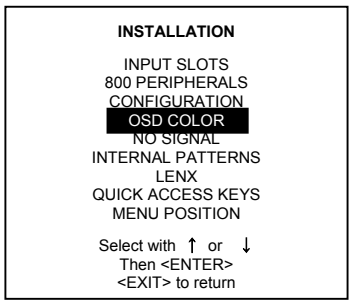
ハイライト項目の表示色を変更することができます。
メニューのハイライトされた項目は赤、緑色、黄色で表示することができます。

この色の設定をするには次の手順に従ってください。

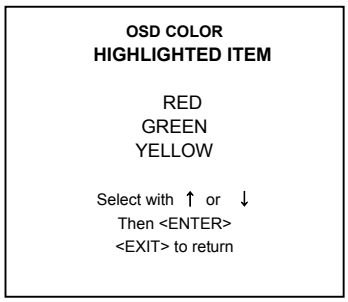
1. ENTERキーを押して調整モードをスタートする。
2. カーソルキーの↑か↓を押してINSTALLATIONをハイライト表示させる。
3. ENTERキーを押してINSTALLATIONのメニューを表示させる。
4. カーソルキーの↑か↓を押してOSD COLORをハイライト表示させる。
5. ENTERキーを押してOSD COLORメニューを表示させる。
6. カーソルキーの↑か↓を押して希望の色をハイライト表示させる。
7. ENTERキーを押して選択する。



メニュー1



メニュー2

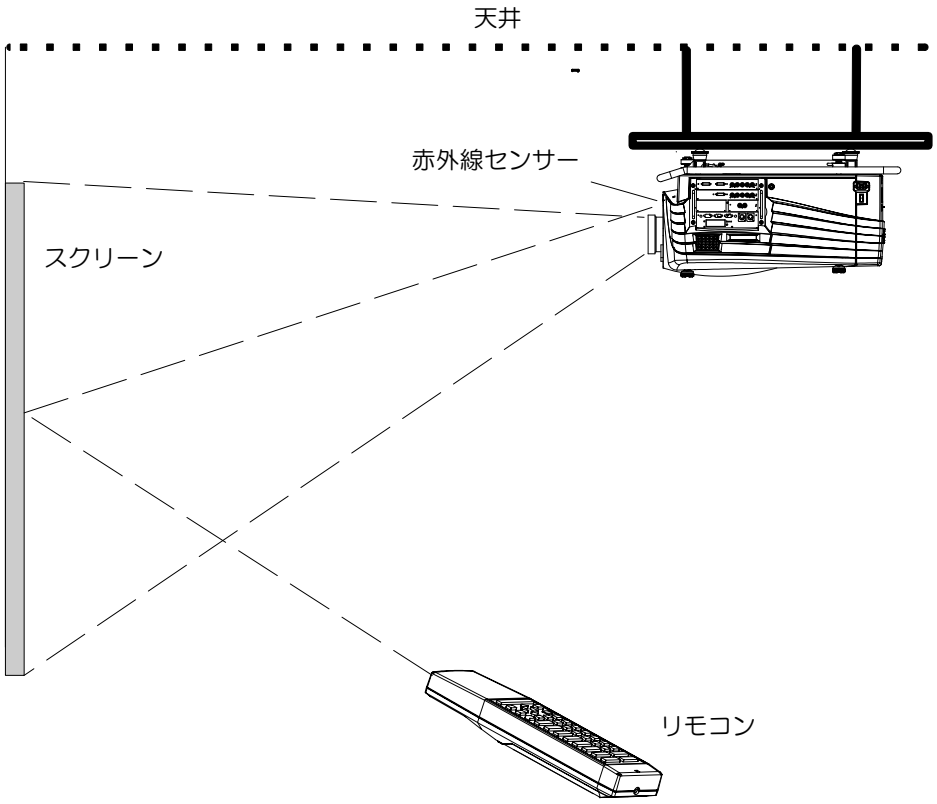


メニュー3

リモコン(RCU)の使用方法

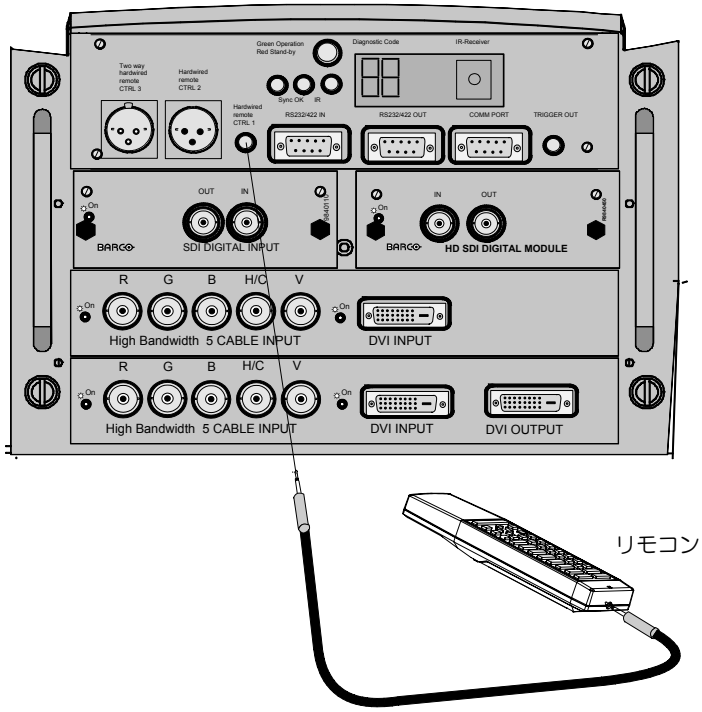
スクリーンの反射利用

リモコンの前面をスクリーンの反射面に向けます。



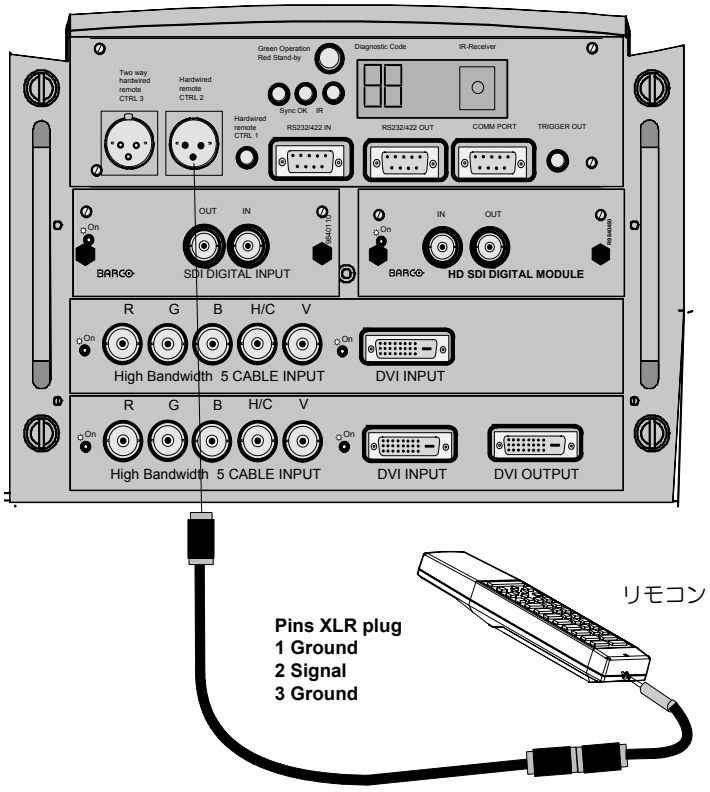
結線したリモート入力

リモートケーブルの一端をリモコンの手前に接続し、他方をプロジェクター左側面パネルのHARDWIRED CTRL1表示のあるコネクタに接続します。



XLR入力に結線したリモコン

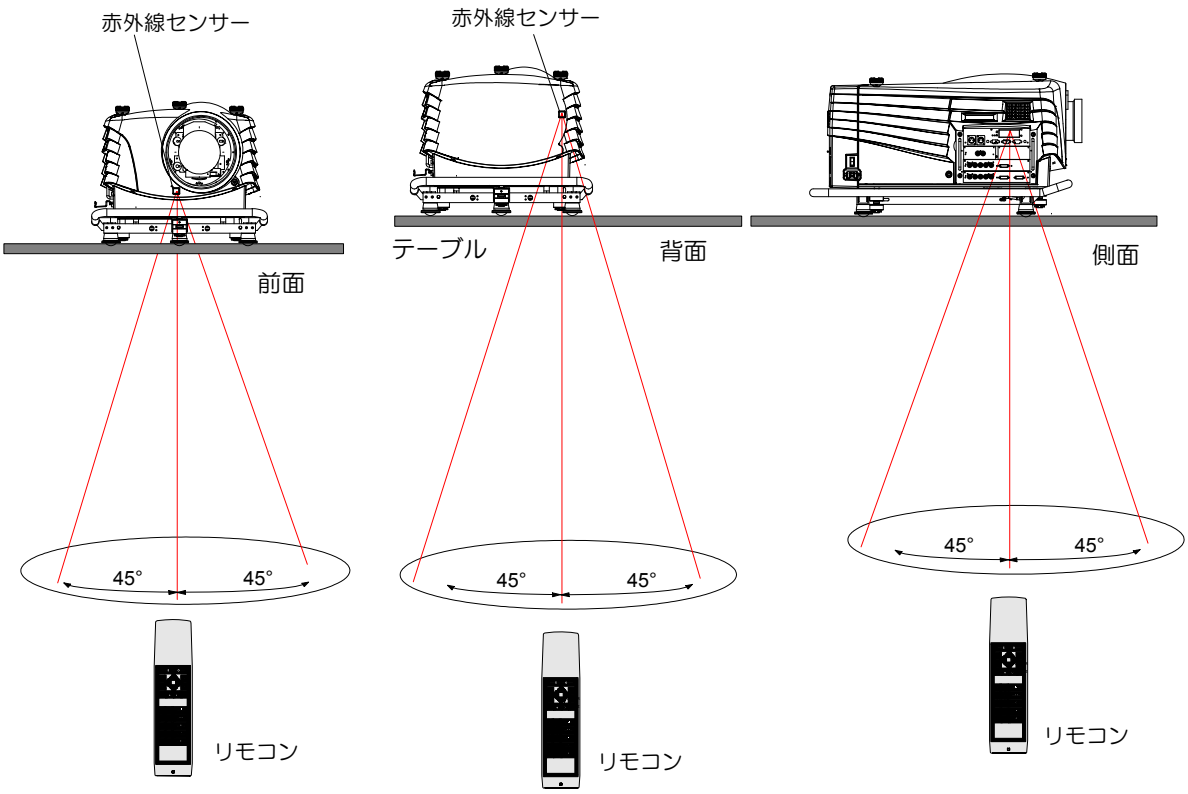
リモートケーブルの一端をリモコンの手前に接続し、他方をプロジェクター左側面パネルのHARDWIRED CTRL2表示のあるコネクタに接続します。



赤外線センサーの利用

リモコンの前面をプロジェクター本体の３つのいずれかの赤外線センサーに向けます。

ワイヤレスでリモコンを使用するときは、有効距離内（直線距離で30m）で操作してください。赤外線センサーに直接強い光が当たっている場合や、リモコンと赤外線センサーの間に障害物がある場合、また電池の残容量が少なくなった場合は、リモコンが正常に働かないことがあります。



プロジェクターのアドレス

プロジェクターのアドレス

一台以上のプロジェクターが同じ部屋に設置されている場合、各プロジェクターはリモコンあるいはコンピュータで個々のアドレスを設定することができます。

個々のアドレスの設定

プロジェクターアドレスの設定はソフトウェアで行うことができます。

「サービスモード」の章、「プロジェクターのアドレス変更」の項を参照してください。

プロジェクターの制御方法

各プロジェクターは、サービスモードで0から255までの任意の値で、個々のアドレスを設定する必要があります。アドレスを設定すると、プロジェクターの制御が可能になります。

- リモコン用のアドレスは、0から9
- IBM PC（またはその互換機）やAppleのMACなどのコンピュータ用のアドレスは、0から255

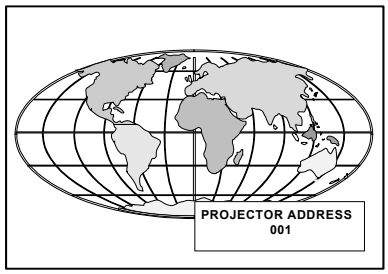
注意： プロジェクターに設定したアドレスにかかわらず、リモコンのアドレスを0に設定すると、リモコンによりそのプロジェクターを制御することができます。

リモコンの使用

最初にプロジェクターのアドレス（アドレスが0から9までの間に設定されている場合のみ）を、リモコンに入力します。リモコンに設定したアドレスに対応するプロジェクターだけが、そのリモコンに反応します。リモコンにアドレス0（ゼロ）を設定すると、すべてのプロジェクターがそのリモコンに反応します。

アドレスの表示方法

ADDRESSキー（リモコンの凹部のキー）を先の細いボールペンなどで押すと、プロジェクターのアドレスがテキストボックスに表示されます。このテキストボックスは数秒後に消えます。



リモコンを使うには、ADDRESSキーを押した後、表示されたアドレス（0から9までの任意の値）を5秒以内に入力する必要があります。

例えばアドレスが「003」の場合、「3」だけを押してください。「003」を押すと「0」に設定され、すべてのプロジェクターを制御することになります。

アドレスを5秒以内に入力しないとリモコンはデフォルトのアドレス（ゼロ）に戻り、すべてのプロジェクターを制御することになります。

リモコンへのアドレスの設定方法

プロジェクターを制御するためには、リモコンにそのプロジェクターのアドレスを設定しなければなりません。ADDRESSキー（リモコンの凹部のキー）を先の細いボールペンなどで押します。プロジェクターのアドレスがテキストボックスに表示されるので、リモコンの数字キーでそのアドレスを5秒以内に入力します。入力できるアドレスは0から9までの任意の値です。

プロジェクターの制御

入力選択

リモコンあるいは本体上のキーで対応するスロット番号を入力します。選択ソースが表示されます。

画像の直接制御

5つの画質制御キーやPhaseキーのいづれかを押すと、「テキスト」がONに設定されている場合、画面に押したキーに相当するテキストボックスが表示されます。テキストボックスには、制御する内容、例えば「Brightness」と、バースケールが表示されます。バースケールのバーの位置は、現在の設定値を表わしています。このバースケールはプロジェクター本体の「＋」、「－」キーか、リモコンの画質制御キーの「＋」側か「－」側を押すことにより変化します。

Brightness（明るさ）の調整

画像をきれいに再生するためには、「明るさ」を正しく設定することが重要です。
明るさを上げるには、「＋」キーを使用します。
明るさを下げるには、「－」キーを使用します。

Contrast（コントラスト）の調整

画像をきれいに再生するためには、「コントラスト」を正しく設定することが重要です。
プロジェクターを使用する部屋の照明に合わせて、コントラストのレベルを調整してください。
コントラストを強くするには、「＋」キーを使用します。
コントラストを弱くするには、「－」キーを使用します。

Color Saturation（彩度）の調整

彩度の調整はコンポジットビデオとS-ビデオのときだけ有効になります。画像の彩度を調整します。
彩度を強くするには、「＋」キーを使用します。
彩度を弱くするには、「－」キーを使用します。

Tint（色合い）の調整

色合いの調整は、NTSC 4.43またはNTSC 3.58システムを使用しているときだけ有効になります。
「＋」キーと、「－」キーで制御します。

Sharpness（シャープネス）の調整

画像をくっきりさせるには、「＋」キーを使用します。
画像を柔らかくするには、「－」キーを使用します。

Phase（位相）の調整

カーソルキーを使用し、表示画像の位相を調整してコンピュータからの映像信号のピクセル･ジッターを取ります。
注記：この制御はビデオ画像には適用されません。

Pause（停止）キー

Pauseキーを押すと、画像の投射は停止し、青または黒色が投射され、本機はすぐに再スタートできます。
本機前面部の表示が'P'を示します。
画像を再スタートするには：

1. Pauseキーを押す。
2. Exitキーを押す。
3. ソース番号を選択する。

Stand-by（スタンバイ）キー

スタンバイキーを押すと、画像の投射が中断され、本機はスタンバイ状態になります。これは長時間画像の投射を中断するためのものです。

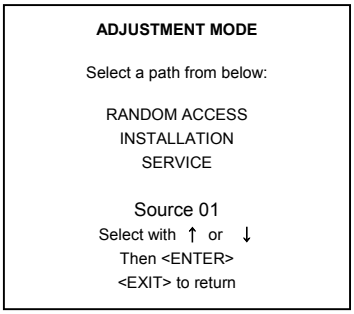
6 調整モードのスタートアップ

調整モード

スタートアップ

ソースの設定、画像のチューニングおよびジオメトリ設定は、すべて「調整モード（ADJUSTMENT MODE）」で行います。ADJUSTまたはENTERキーを押して、調整モードに入ります。

1. 調整モードではカーソルキー（リモコン）または「＋」キーおよび「－」キー（本体上）を使用して、メニューの選択や調整を行います。
2. 次のメニューに進んだり元に戻ったり、メニュー画面を移動するには、ENTER およびEXITキーを使用します。
3. パス選択メニューが表示されているときにADJUSTキーを押すと、調整モードを終了することができます。



選択メニュー

調整モードでは、次の３つの選択ができます。

INSTALLATION（インストレーション） - 新しい入力モジュールがインストールされた場合や新しいソース を既存の入力モジュールに接続した場合に「インストレーション」を選択します。また、プロジェクターが新しい構成で設置し直された場合も同じです。

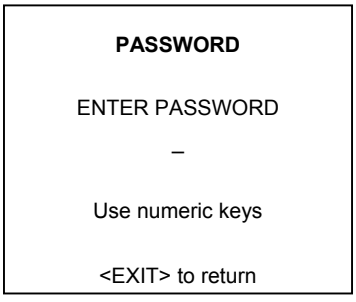
RANDOM ACCESS（ランダムアクセス） - ユーザーがソースを設定する場合に、「ランダムアクセス」を選択します。

SERVICE（サービス） - ユーザーがパスワード、言語、アドレスなどの一般設定や、ランプ使用時間のリセット、パネル調整などのサービス処置を変更したい場合、あるいは設定情報を知りたい場合に、「サービス」を選択します。

パスワードでの保護

3つの異なったパスワードレベル、OWNER（オーナー）、USER（ユーザー）、GUEST（ゲスト）が本機には内蔵されています。

3つの異なったパスワードレベルでアクセスできる項目はサービスメニューの'CHANGE PASSWORD'の項目で設定できます。パスワードで保護された項目を選択すると、パスワードを入力するようプロジェクターから指示されます。（パスワードによる保護は、コントローラモジュールのパスワードジャンパーが「する」に設定されている場合にのみ使用できます。「サービスモード」の章、「パスワードの変更」の項を参照してください。）パスワードを入力し、その項目のアクセス権があれば（パスワードを選択することで確認されます。）、選択した項目がスクリーンに表示されます。



6. 調整モードのスタートアップ

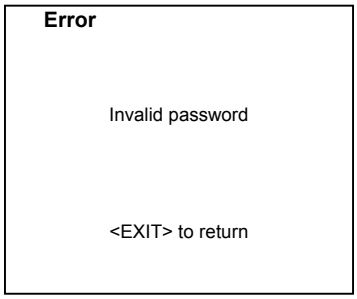
パスワードの入力

パスワードは、4桁です。

数字キーを使って、数字を入力します。
例： 2 3 1 9

最初の桁がハイライト表示されます。数字キーを使って、数字を入力します。四角いハイライト表示が、次の桁に移動します。4桁入力するまで同様に入力します。

入力したパスワードが正しければ、選択した項目にアクセスできます。
入力したパスワードが間違っていれば、「Invalid password」(不正パスワード)というエラー·メッセージがスクリーンに表示されます。SERVICEメニューに戻って操作を続けるには、EXITキーを押します。



工場で設定されたパスワード： 0 0 0 0

一度正しいパスワードが入力されれば、パスワードで保護された他の項目についても操作することができます。 パスワードを入力し直す必要はありません。

注記： 調整モードを再びスタートアップした場合、パスワードで保護された項目を選択するにはもう一度パスワードを入力する必要があります。

独自のパスワードの設定

「サービスモード」の章、「パスワードの変更」の項をご参照ください。

ローカルの LCD ディスプレイのメニュー

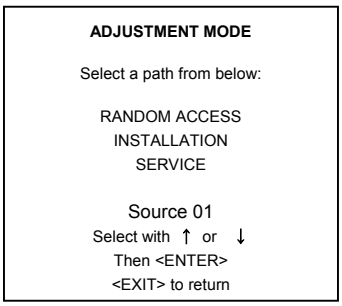
テキストがオフの場合、メニューはスクリーンに表示されませんが、ローカルのLCDディスプレイでメニューをスクロールすることができます。メニューはスクリーンに表示されるのと同じ順序で、一行毎に表示されます。本機作動中、スクリーンにメニューを投射しなくとも、ローカルのLCDディスプレイを使用して調整を行うことができます。
カーソルキーでメニューをスクロールし、ENTERキーを押して表示メニューをアクティブにします。

7 ランダムアクセス調整モード

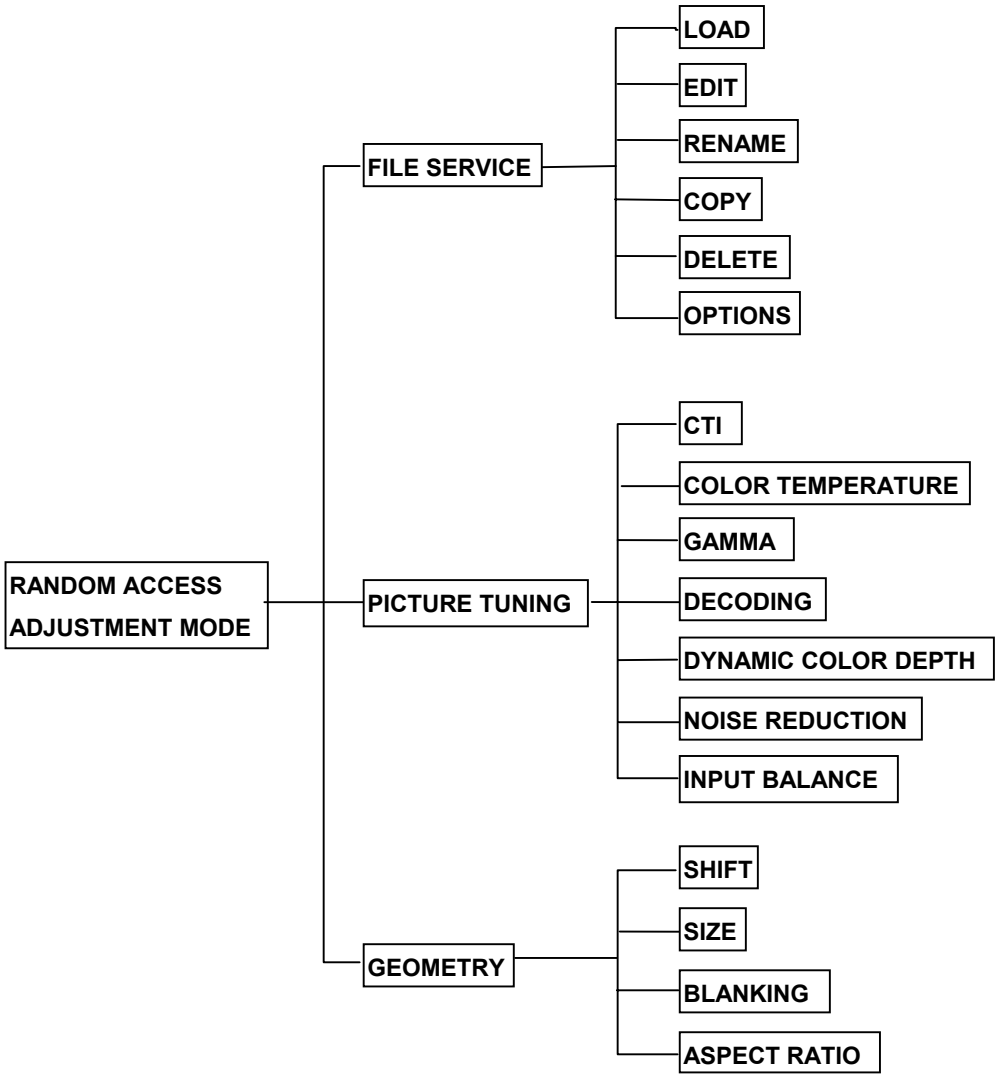
ランダムアクセス調整モード

スタートアップ

カーソルキーの↑か↓を押して、「RANDOM ACCESS」をハイライトさせ、ENTERキーを押します。



フローチャート



画像サービス

新しいソースの接続

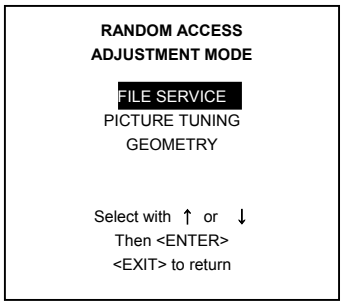
新しいソースを使用する前に、正しいファイルをインストールする必要があります。プロジェクターのメモリには、使用頻度の高いソースに対応するファイルのリストが入っています。新しいソースがそのファイル·リストのいずれかに対応する場合、そのファイルをロードして今後使用できるように保存することができます。ファイルとソースとの間に多少相違がある場合、そのファイルをロードしてソースの仕様に合うように編集することもできます。

1. リストからファイルをロードする。
2. 必要ならこのファイルを編集する。
3. 投射された画像が希望通りでない場合には、引き続き画像調整とジオメトリーを行う。

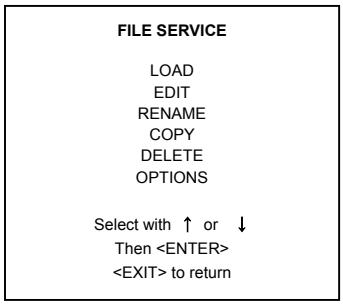
ファイル· サービス

1. カーソルキーの↑か↓を押してFILE SERVICEをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。FILE SERVICEメニューが表示されます。（メニュー２）

注記： EXITキーを押すとメニューに戻ります。
ADJUSTキーを押すと操作モードに戻ります。



メニュー1

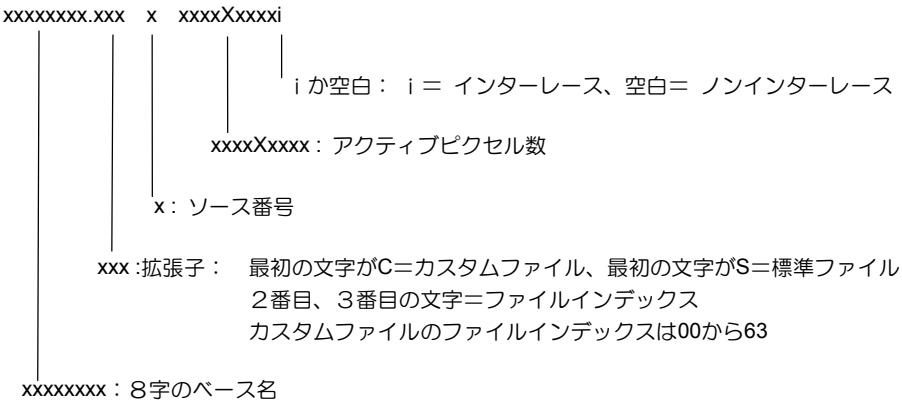


メニュー2

可能なファイル操作

- **LOAD**（ロード）： 新しいソースのファイルをインストールします。
- **EDIT**（編集）： ロードされたファイルをソース仕様に合わせて編集します。
- **RENAME**（名前変更）： ファイルの名前を変更します。
- **COPY**（コピー）： ファイルを新しいファイルへコピーします。
- **DELETE**（削除）： 既存ファイルを削除します。
- **OPTIONS**（オプション）： ファイルの表記法およびソート機能を表示します。

ファイル名の構成



LOAD FILE （ファイルのロード）

スタートアップ

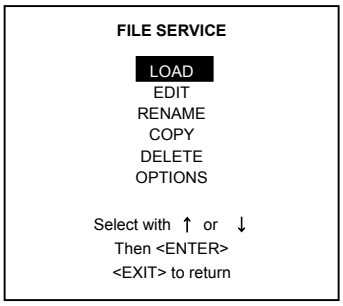
1. カーソルキーの↑か↓を押してLOADをハイライト表示させる。（メニュー1）
2. ENTERキーを押して選択する。
   LOADメニューにはインストールされているフィルターに対応するファイルが表示されます。（メニュー２）

このフィルターは［Fit］または［All］にすることができます。フィルターを変更するには：

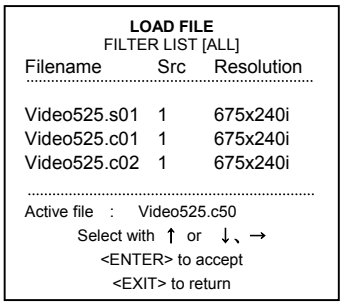
1. カーソルキーの→か←を押して「FILTER LIST」をハイライト表示させる。
2. ENTERキーを押す。ENTERキーを押すと[　]の中の表記が変わります。

[All]： ロード可能なファイルすべてを表示します。

[Fit]： 最も適合するファイルだけを表示します。（ライン数の違いは、±2まで、ライン時間の違いは±300nsまでです。この小さな領域に何も検索されない場合には、本機は引き続き何かを見つけるまで検索します）



メニュー1



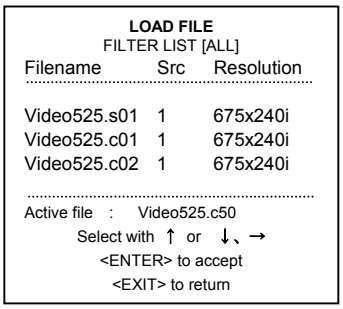
メニュー2

ファイルのロード

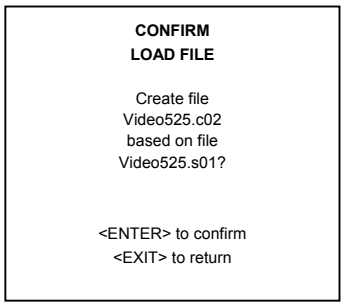
1. カーソルキーの↑か↓を押して最適なファイルを選ぶ。
2. ENTERキーを押して選択する。CONFIRM LOAD FILEメニューが新しく作成されたファイルと新しいファイルの元になったファイルとともに表示されます。
3. ENTERキーを押して新しく作成したファイルを確定する。また、EXITキーを押すと、LOAD FILEメニューに戻ります。

ファイルのロード中には、「Active file」表示のとなりに「現在のファイル名」が表示されます。

ご注意
ファイルをスクロールしていくと、選択されたファイルの設定に従って画像が適合化されます（オンライン･アダプション）。



メニュー1



メニュー2

表示された画像品質がまだ不十分な場合は、再度最適なファイルを選択し、EDIT FILEメニューへ進んでファイルの設定を変更します。

画像が完全でない場合

最適なファイルを選択した後、表示画像が正しくない場合、編集メニューに入り、アクティブ･ファイルを選択してファイルの設定を変更します。

EDIT FILE （ファイルの編集）

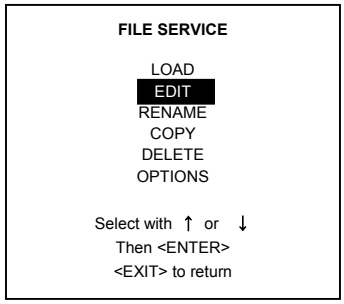
EDIT FILE のメニュー

EDIT FILEメニューは、接続されているソースの設定に合わせてファイルの設定を変更できます。データを入力する前にソースの仕様を確認してください。

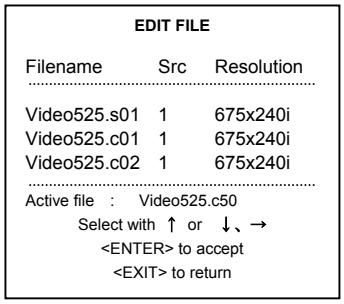
スタートアップ

1. カーソルキーの↑か↓を押してEDITをハイライト表示させる。（メニュー1）
2. ENTERキーを押して選択する。EDIT FILE 編集メニューが表示されます。（メニュー２）
3. 編集するファイル（ほとんどの場合現在のファイル）を選択する。
4. ENTERキーを押す。

ファイル名は画面の右上に表示されます。



メニュー1



メニュー2

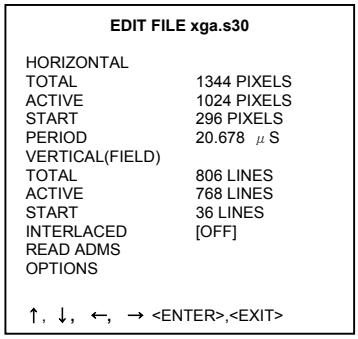
編集可能項目

Horizontal（水平）

Total	水平ピクセル数の総数
Active	有効な水平ピクセル数
Start	ピクセル数で表わした水平開始位置
Period	μｓ表示による水平周期。LOAD機能でインストールしたファイルが自動的に変更されます。

Vertical（垂直）

Total	ラインの総数。LOAD機能でインストールしたファイルが自動的に変更されます。
Active	有効なライン数
Start	ライン数で表わした垂直開始位置
Interlaced	インターレース。LOAD機能でインストールするときに、自動的に正しく設定されます。オン／オフのトグル。



設定はすべて個別に変更できます。

設定の変更方法

1. カーソルキーの↑か↓を押して変更する項目を選択する。
   選択された項目の色が変化しますから、次の3通りいずれかの方法で値を変更する。

方法A：

1. ENTERキーを押して数値を変更可能な状態にする。
2. リモコン、または本体上の数字キーで新しい値を入力する。

方法B：

1. ENTERキーを押して数値を変更可能な状態にする。
2. カーソルキーの→か←を押し変更する数値を選択する。
3. 次にカーソルキーの↑か↓を押して設定する数値になるまでスクロールする。
4. 目的の数値になったら、ENTERキーを押して確定する。

方法C：

1. カーソルキーの→か←を押して数値を上下させる。

表示された項目の正しい設定値を見つける方法

LOAD機能でファイルをインストールする際に、水平周期、ライン数の総数、インターレースモードが自動的に測定され、メニューの項目に入力されます。これらの値は、現在のファイルのEDIT操作を開始すると使用できるようになります。

ご注意：「現在のファイル」では、この設定は入力ソースのファイルを識別するのに使用されますので、調節しないで下さい。

Horizontal（水平ピクセル）

Total（水平ピクセルの総数)の値が間違っている場合は、サンプリングミス（投射された画像に細い縦縞が入る）が現れます。Totalを選択して、正しいピクセル数に変更します。つまり、縦縞が現れないように、例えばピクセル数を増加させます。（もし縦縞の数が増えた場合は、反対にピクセル数を減らします）

Active（有効なピクセルの数）：スクリーンのウィンドウの幅を決定します。この値は、通常、ソース仕様に指定されています。指定されていない場合は、水平方向の全画像が表示されるように、ピクセル数を調整します。

Start（水平開始位置）：入力信号の開始と、ビデオ情報開始の間のピクセル数。

Period（水平周期）：「現在のファイル」とした時には、正しい値になっています。（上述の注意を参照）

Vertical（垂直ライン）

Total（ラインの総数）：現在のファイルが編集対象として選択されている場合は、数値は自動的に入力されています。（上述の注意を参照）

Active（有効なライン数）：画像の高さを決定する水平線のライン数です。通常、この値はソース仕様に指定されています。指定されていない場合は、垂直方向の全画像が表示されるよう、ライン数を調整します。

Start（垂直開始位置）：入力信号開始と画面の画像開始間のライン数。

Interlaced [on]か[off]（インターレース）：現在のファイルが編集対象として選択されている場合は、数値は自動的に入力されています。計測誤りのために画像が正しく表示されていない場合は、ENTERキーを押してオンとオフを切り換えてください。（インターレース方式の画像では、１フレームにフィールドが２つあります）

Read AMDS

AMDS = Automatic Mode Detection & Synchronization（自動モード検出　同期）

LOAD機能でファイルをインストールしているときに、水平周期、ライン数の総数、インターレースモードを自動的に測定します。Read AMDSを選択すると、システムはこれらの項目を再計測します。

Options（オプション）

EDIT FILE OPTIONS

Source number	1
Clamp position	[leading]
Clamp delay	0
Clamp width	10
Field polarity	[pos]
Field select	[both]
Vertical refresh	[sync]

Select with ↑ or ↓
<ENTER> to toggle
← or → to change value
<EXIT> to return

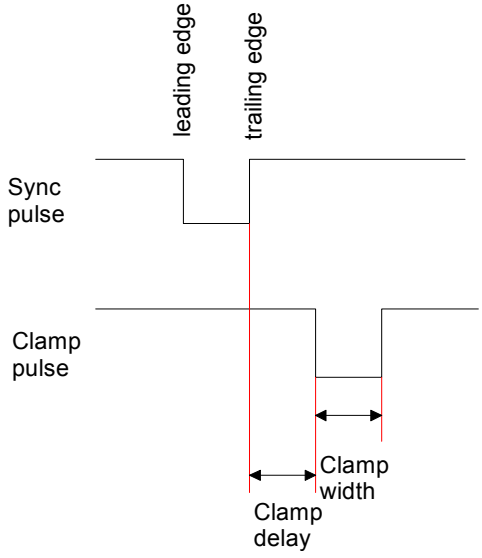
Source Number（ソース番号）：アクティブでないソースのソース番号は、他のソース番号に変更できます。この機能を使って、将来使用するファイルにソース番号を割り当てて作成することができます。

Clamp Position（クランプ位置）：クランピングは信号の黒のレベルを決定します。クランプパルスを、同期パルスの開始、終了に対応させることができます。ENTERキーを使うと、[leading]（開始）と[trailing]（終了）が交互に切り換わります。

Clamp Delay（クランプ遅延）：クランプパルスの立ち上がりと同期パルスの選択されたエッジまでの時間。0から255までの任意の値に設定することができます。カーソルキーの→か←を押して値を変更します。

Clamp Width（クランプ幅）：クランプパルスの幅。0から255までの任意の値に設定することができます。カーソルキーの→か←を押して値を変更します。

クランピング位置の例



Field Polarity（フィールド極性）：デフォルト[auto]

[auto]（自動）は、フィールドの極性の自動検出を意味します。フィールド極性機能は、インターレース方式の画像に使用されます。画像の両方のラスターが正しく切り換えられないことがあります（二重線が画像に現われる）。その場合には、フィールド極性を[neg]または[pos]のどちらかに設定することによって修正することができます。

ENTERキーを使用して、[auto]、[pos]、[neg]を順番に切り換えます。

Field Select（フィールド選択）：デフォルト[both]

このフィールド選択機能は、インターレース方式の画像のみに使用されます。インターレース方式の画像の1つのフレームは、偶数フィールドと奇数フィールドの2つのフィールドで構成されています。スクリーン上に両方のフィールドを投射するのか、[even]（偶数）または[odd]（奇数）のフィールドのどちらかだけを投射するのかが選択できます。この機能は、3D投射の場合に便利です。

ENTERキーを使用して、[both]、[even]、[odd]を順番に切り換えます。

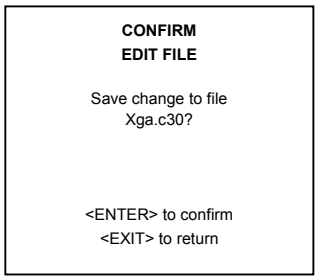
Vertical Refresh [sync/async]（垂直リフレッシュ）：LCDパネル上の画像情報を更新する方法です。

PAL-NTSC-SECAMソースでは選択できません。このオプションはグレーで表示されます。

1. 垂直周波数が60Hzまでのソース：垂直のリフレッシュ率は入力ソースの垂直周波数と同じです。これにより動画をスムーズに投射することができます。垂直周波数が60Hzまでの静止画像では垂直のリフレッシュは非同期式も可能です。Pal、Secam、NTSCファイルでは同期モードがデフォルトであり、60Hz以下の他のすべてのソースでは非同期モードがデフォルトです。
2. 垂直周波数が60Hz以上のソース：垂直のリフレッシュは入力ソースの垂直周波数とは異なりますので、同期式のリフレッシュは使うことができません。

ENTERキーを押して、[leading]と[trailing]を交互に切り換えます。

EXITキーを押し、Edit File Optionメニューを終了します。「Confirm Edit File」が表示されます。



ENTERキーを押して確定し、新設定を保存するか、またはEXITキーで保存せずに元に戻って下さい。

RENAME(ファイル名の変更)

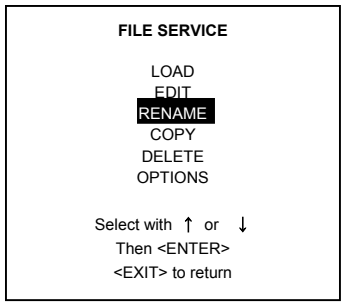
スタートアップ

選択したファイルの名前を変更します。

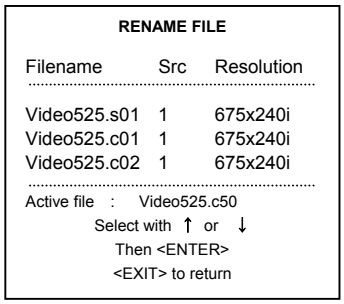
1. カーソルキーの↑か↓を押してRENAMEを選択する。（メニュー１）
2. ENTERキーを押す。RENAME FILEメニューが表示される。
3. カーソルキーの↑か↓を押してファイル名を選ぶ。（メニュー２）
4. ENTERキーを押してそれを選択する。（メニュー２）

選択したファイル名が、RENAME FILEメニュー上の「From file name:」の領域と「To file name:」の領域に表示されます。

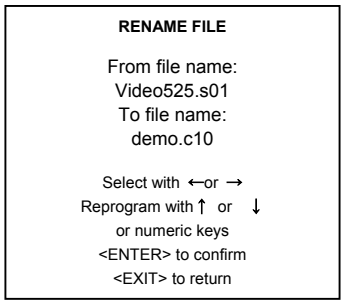
最初の文字がハイライト表示されます。（メニュー３）



メニュー1



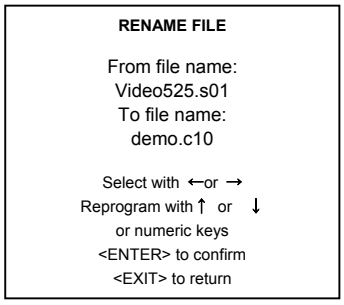
メニュー2



メニュー3

文字を変更する方法

1. カーソルキーの←か→を押して変更したい文字を選択する。（メニュー４）
2. 文字を変更するにはカーソルキーの↑か↓を押す。
   数字は、リモコンの数字キーで直接入力することができます。
3. ENTERキーを押して変更を確定する。名前の変更されたファイルがファイル･リストに入ります。
4. EXITキーを押すとRENAME FILEメニューに戻り、変更は実行されません。



メニュー4

COPY FILE（ファイルのコピー）

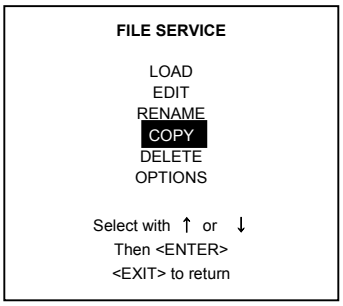
スタートアップ

選択したファイルを新しいファイルへコピーします。

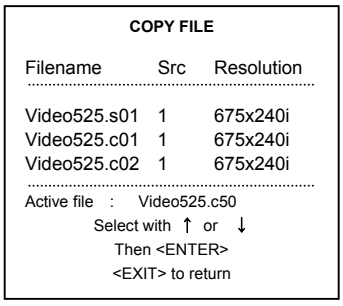
1. カーソルキーの↑か↓を押してCOPYをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押す。COPY FILEメニューが表示される。（メニュー2）
3. カーソルキーの↑か↓を押してファイル名を選ぶ。
4. ENTERキーを押してそのファイル名を選択する。

選択したファイル名が、COPY FILEメニューの「From file name:」の領域と「To file name:」の領域に表示されます。（メニュー3）

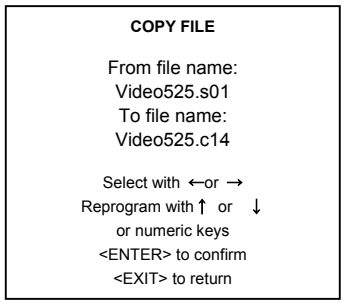
最初の文字がハイライトされます。



メニュー1



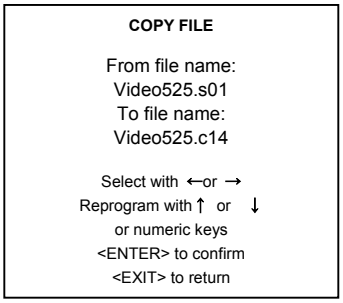
メニュー2



メニュー3

文字を変更する方法

1. カーソルキーの→か←を押して変更したい文字を選択する。（メニュー４）
2. カーソルキーの↑か↓を押して文字を変更する。数字はリモコンの数字キーで直接入力することができます。
3. ENTERキーを押すと変更が確定し、コピーされたファイルがファイル･リストに入ります。
4. EXITキーを押すとCOPY FILEメニューに戻り、ファイルはコピーされません。



メニュー4

DELETE FILE（ファイルの削除）

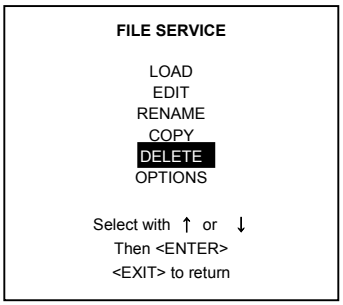
スタートアップ

選択したファイルをファイル·リストから削除します。

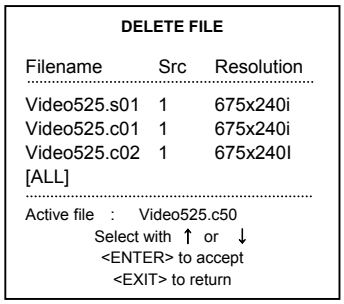
1. カーソルキーの↑か↓を押してDELETEをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。DELETE FILEメニューが表示されます。（メニュー２）
3. カーソルキーの↑か↓を押してファイルを選択する。
4. ENTERキーを押す。
   [All]を選択すると、すべてのファイルを削除する前に、パスワードを入力しなければなりません。

「Delete file 'file name'?」（'....'という名前のファイルを削除していいですか?）というCONFIRM DELETE FILE メニュー（メニュー３）が表示されます。そのファイルを削除する場合はENTERキーを、削除しない場合はEXITキーを押します。

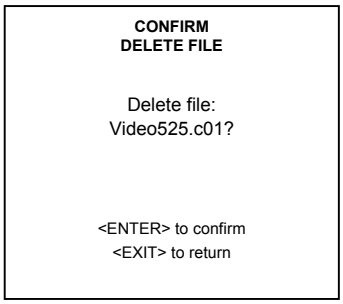
ご注意：「現在のファイル」は削除できません。



メニュー1



メニュー2

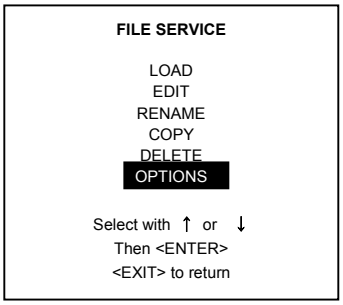


メニュー3

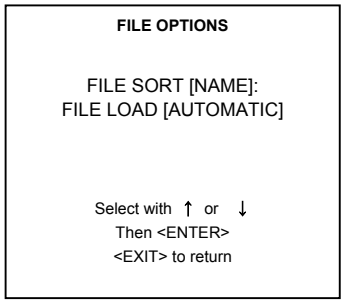
FILE OPTIONS（ファイル·オプション）

スタートアップ

1. カーソルキーの↑か↓を押してFILE OPTIONSをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押す。FILE OPTIONSメニューが表示されます。（メニュー２）



メニュー1



メニュー2

FILE SORT（ファイルのソート）

ENTERキーを押すと、[name]と[index]が交互に切り換わります。

[name]： ファイル·リストのファイルがファイル名順にソートされます。

[index]： ファイル·リストのファイルがファイル拡張子別にソートされます。

FILE LOAD（ファイルのロード）

ENTERキーを押すと、[AUTOMATIC]と[MANUAL]が交互に切り換わります。

[AUTOMATIC]：ソースが選択されている時、最適なファイルが自動的にロードされます。ロード機能を使えばこのファイルを他のファイルに変更することが可能です。

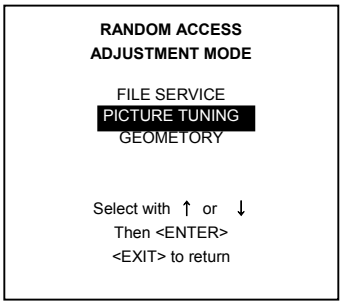
[MANUAL]：ソースが選択された時、ファイルはロードされません。ファイル·サービスのロード機能を使用してファイルをロードする必要があります。

PICTURE TUNING（画像調整）

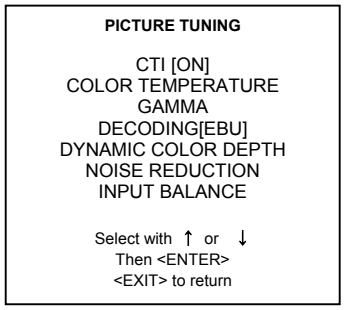
スタートアップ

画質を向上させるには、画像調整メニューの項目の切り換え、または調整をします。
画像調整を起動する方法

1. カーソルキーの↑か↓を押してPICTURE TUNINGをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。PICTURE TUNINGメニューが表示される。（メニュー２）



メニュー1



メニュー2

選択項目

次の項目が選択できます。

- **CTI ON/OFF**（CTIオン／オフ）
- **COLOR TEMPERATURE**（色温度）
- **GAMMA**（ガンマ）
- **DECODING EBU/IRE**（デコーディング EBU/IRE）
- **DYNAMIC COLOR DEPTH**（ダイナミックな色の深味）
- **NOISE REDUCTION**（ノイズリダクション）
- **INPUT BALANCE**（入力バランス）

CTI ON/OFF（CTI オン／オフ）

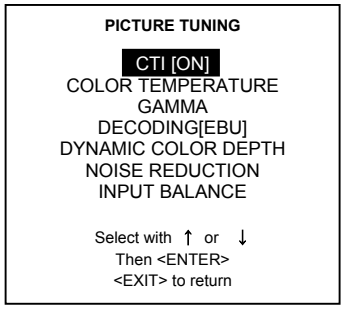
CTI

CTI — 色の過渡特性の改善
一つの色から他の色への移行を改善します。

CTI 設定の変更方法

1. カーソルキーの↑か↓を押してCTIをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押すたびにONとOFFが切り換わります。

注記： この機能はPALやNTSCビデオ、またはS-ビデオ入力のみに適用されます。



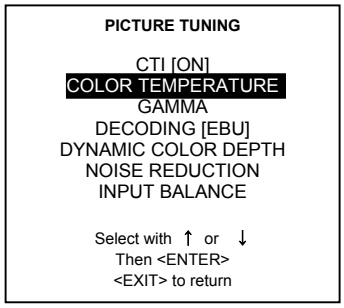
メニュー1

7. ランダムアクセス調整モード

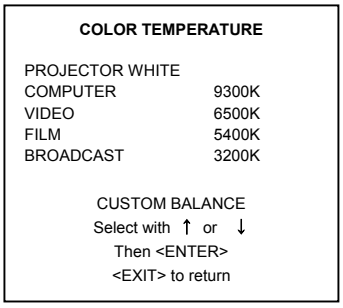
COLOR TEMPERATURE（色温度）

スタートアップ

1. カーソルキーの↑か↓を押してCOLOR TEMPERATUREをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。COLOR TEMPERATURE選択メニューが表示されます。（メニュー2）



メニュー１



メニュー2

色温度

PROJECTOR WHITE（プロジェクターの白）

BROADCAST（放送局）	3200K
FILM（フィルム）	5400K
VIDEO（ビデオ）	6500K
COMPUTER（コンピュータ）	9300K

CUSTOM BALANCE（カスタム·バランス）

色温度の調整

カーソルキーの↑か↓を押して、固定された色温度か、あるいはカスタム·カラーバランス(CUSTOM COLOR BALANCE)を選択します。

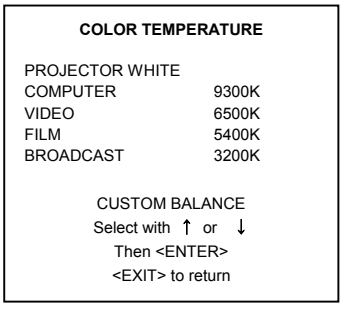
PROJECTOR WHITEは最大のプロジェクター光出力を提供します。

校正されたBROADCAST、FILM、VIDEO、COMPUTERのプリセットでは最適な色のトラッキングを提供します。

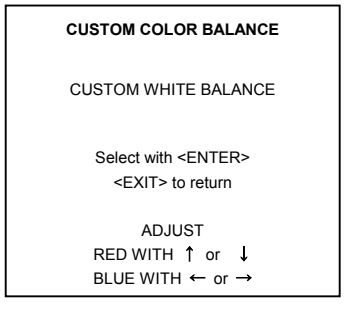
CUSTOM BALANCEでは、ユーザーは好みの色温度を設定することができます。

カスタム· バランス

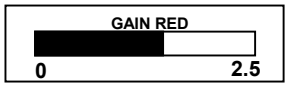
1. カーソルキーの↑か↓を押してCUSTOM BALANCEをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。CUSTOM COLOR BALANCEメニューが表示されます。
3. カーソルキーの↑か↓を押して、赤の色を調整し、カーソルキーの→か←を押して、緑色（値１）と比較しながら青の色（範囲は0から2.5まで）を調整することができます。（メニュー２と３）



メニュー１



メニュー２



メニュー３

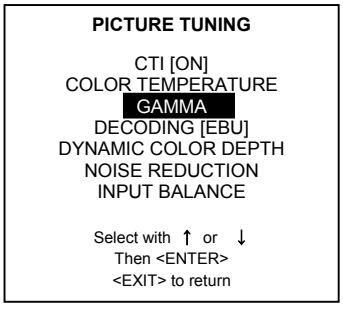
GAMMA（ガンマ）

調整

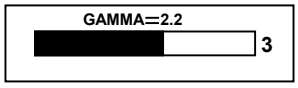
ガンマ補正調整を使用することによって、暗い画像の細部を引き出したり（ガンマ値を低くする）、それらを目立たなく抑えたり（ガンマ値を高くする）することができます。

ガンマ値の変更方法

1. カーソルキーの↑か↓を押してGAMMAをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。
3. ガンマ値を変更するには、カーソルキーの→か←を押して希望の数値にします。（メニュー２）
4. EXITキーを押すとPICTURE TUNINGメニューに戻ります。
   ガンマのデフォルト値 ＝2.2



メニュー1



メニュー2

DECODING EBU/IRE（デコーディングEBU/IRE）

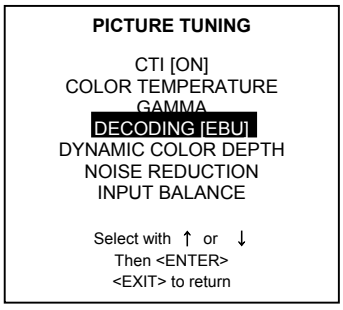
注記

NTSC信号のみです。

デフォルトのアメリカIRE規準、またはヨーロッパEBU規準でNTSCビデオ信号をデコードすることができます。ヨーロッパEBU規準を使用してNTSC信号をデコードすると緑色をおびた色合いになることがあります。

選択方法

1. カーソルキーの↑か↓を押してDECODINGをハイライト表示させる。
2. ENTERキーを押してEBUとIREを交互に切り換える。
3. EXITキーを押すとPICTURE TUNINGメニューに戻ります。



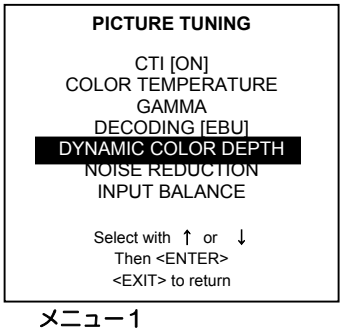
DYNAMIC COLOR DEPTH（ダイナミック･カラー･ディプス）

調整内容

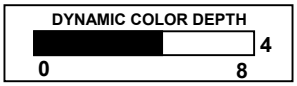
すべてのビデオとデータソースの色のコントラストを強くします。

ダイナミック･ カラー･ ディプスの変更方法

1. カーソルキーの↑か↓を押してDYNAMIC COLOR DEPTHをハイライト表示させる。
2. ENTERキーを押して選択する。
3. 値を変更するには、カーソルキーの→か←を押して希望の色のコントラストにします。調整範囲は0～8です。デフォルト値は4です。
4. EXITキーを押すとPICTURE TUNINGメニューに戻ります。



メニュー1



メニュー2

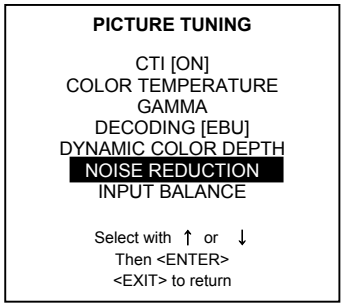
NOISE REDUCTION（ノイズリダクション）

調整内容

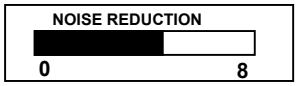
すべてのビデオとデータソースのノイズとピクセルジッターを低減します。

ノイズリダクションの変更

1. カーソルキーの↑か↓を押してNOISE REDUCTIONをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。
3. 値を変更するには、カーソルキーの→か←を押して希望の色のコントラストにします。調整範囲は0～8です。（メニュー２）
4. EXITキーを押すとPICTURE TUNINGメニューに戻ります。



メニュー1



メニュー２

INPUT BALANCE（入力バランス）

入力バランスの調整

入力バランスは通常工場で正確に調整されています。しかし信号の分配、また配線の具合により色のバランスが悪くなることがあります。このように色のバランス不良が生じた場合は、必要に応じてそのアプリケーションのソース毎に調整することができます。この調整は実際のカスタム調整ファイルにのみ影響します。

この調整はそれほど簡単ではなく、またグレースケール･パターンで行う必要があります。

ご注意　入力バランスの調整を始める前に、白黒の信号を発生させてください。

調整方法

ソースが選択されると、通常デフォルト値でロードされます。希望の画像が得られない場合には、以下の手順でこのソースを調整してください。

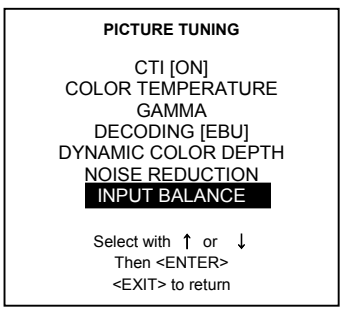
1. カーソルキーの↑か↓を押してINPUT BALANCEをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。
   入力バランス･メニューが表示されます。（メニュー２）

初めにブラック･バランスから調整します。

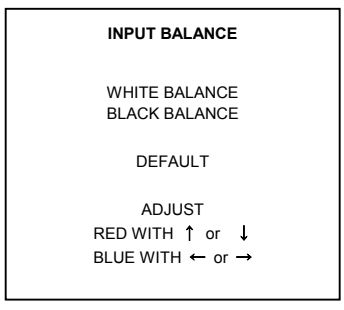
1. カーソルキーの↑か↓を押してBLACK BALANCEをハイライト表示させる。（メニュー２）
2. ENTERキーを押して選択する。
3. ブラック･バランスの赤とブルーを-32にする。
4. ブライトネスを黒の領域に緑のノイズが見えなくなるような最大の値に調整します。
5. カーソルキーの↑か↓、あるいは→か←を押して、黒の領域に赤、あるいは青のノイズが見えなくなるように調整します。

引き続きホワイト･バランスを調整します。

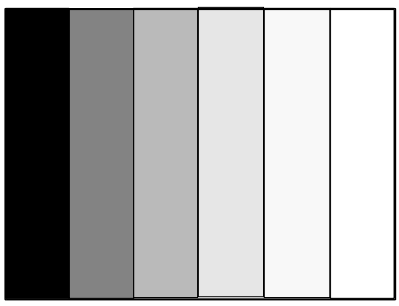
1. カーソルキーの↑か↓を押してWHITE BALANCEをハイライト表示させる。（メニュー2）
2. ENTERキーを押して選択する。
3. ゲインの赤と青を-32にする。
4. コントラストを調整して、白の領域が白だけになるような（緑のノイズがなく）最大の値にして、その値から1つ減らします。
5. カーソルキーの↑か↓、あるいは→か←を押して、白の領域に赤、あるいは青のノイズが見えなくなるように調整します。



メニュー1



メニュー２

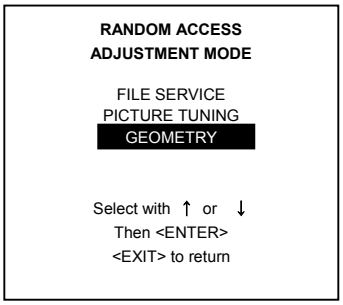


メニュー３

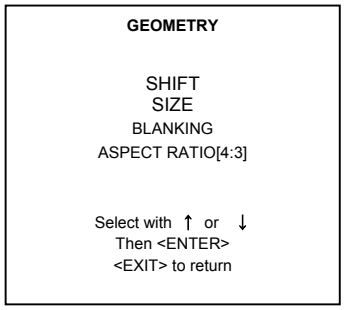
GEOMETRY（ジオメトリー）

スタートアップ

1. カーソルキーの↑か↓を押してGEOMETRYをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。ジオメトリー･メニューが表示されます。（メニュー２）



メニュー１



メニュー2

調整可能なジオメトリー

1. 画像の水平および垂直移動
2. 画像の水平および垂直サイズ
3. ブランキング
4. アスペクト比：代表的なアスペクト比にする。

調整方法

1. カーソルキーを操作して調整する方法。
2. 数字キーを使って値を入力する方法。この場合、ENTERキーを押して表示された値を選択し、数字キーで設定したい値を入力します。ENTERキーを押して、入力した値を確定します。

SHIFT（移動）

調整内容

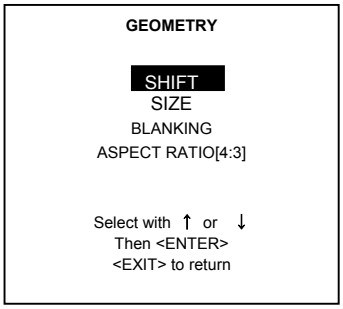
画像を、水平方向または垂直方向に移動させることができます。

スタートアップ

1. カーソルキーの↑か↓を押してSHIFTをハイライト表示させる。
2. ENTERキーを押して選択する。
3. 画像を垂直方向に移動させるには、カーソルキーの↑か↓を押す。画像を水平方向に移動させるには、カーソルキーの→か←を押す。移動のデフォルト値は、「0」です。

垂直方向の移動：　移動値が正の場合画像は上に、移動値が負の場合画像は下に移動します。

水平方向の移動：　移動値が正の場合画像は右に、移動値が負の場合画像は左に移動します。



メニュー1

SIZE（サイズ）

調整内容

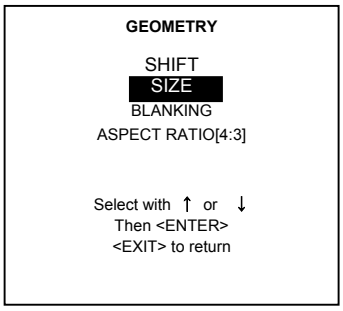
サイズは、高さ（垂直方向）と幅（水平方向）を調整することができます。

垂直方向のサイズを調整する場合：
画像の上部は固定されていて（卓上、および天吊り設置）、下部のみを正確な位置へ移動させることができます。

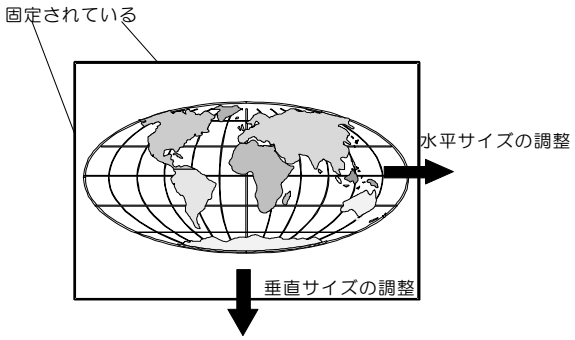
水平方向のサイズを調整する場合は、画像の左側は固定で、右側のみを正確な位置へ移動させることができます。

スタートアップ

1. カーソルキーの↑か↓を押してSIZEをハイライト表示させる。
2. ENTERキーを押して選択する。
3. カーソルキーの↑か↓を押して画像のサイズを垂直方向に調整する。カーソルキーの→か←を押して画像のサイズを水平方向に調整する。



メニュー1



テーブル設置方法の例

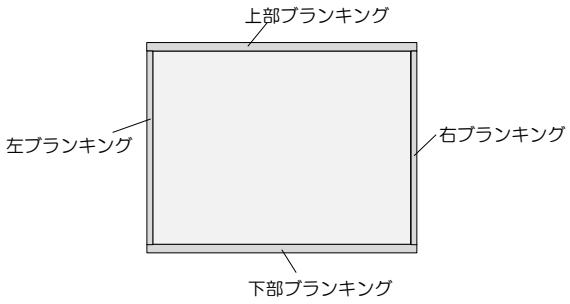
BLANKING（ブランキング）

調整内容

ブランキング調整は、投射された画像の端のみを調整します。スクリーンに投射された画像の枠を設定し、必要でない情報（ノイズ）を隠すか黒く塗りつぶすのに使用します。バースケールの表示が0%の場合は、「ブランキングなし」を意味します。

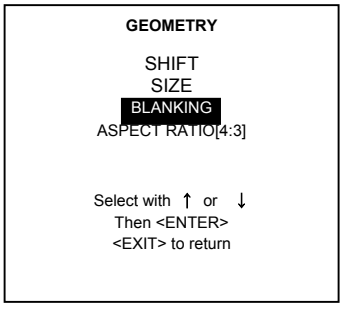
ブランキング補正

- 上部ブランキング
- 下部ブランキング
- 左ブランキング
- 右ブランキング

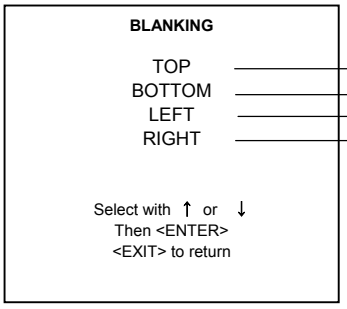


調整方法

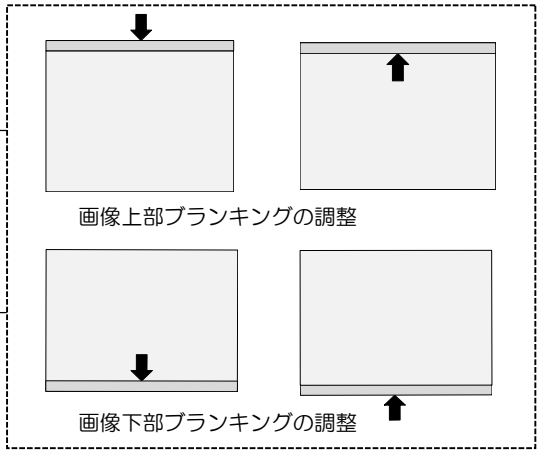
1. カーソルキーの↑か↓を押してBLANKINGをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。BLANKINGメニューが表示されます。
3. カーソルキーの↑か↓を押して希望のブランキングをハイライト表示する。（メニュー２）
4. ENTERキーを押して選択してブランキングを起動する。
5. カーソルキーを使用してブランキングを調整する。



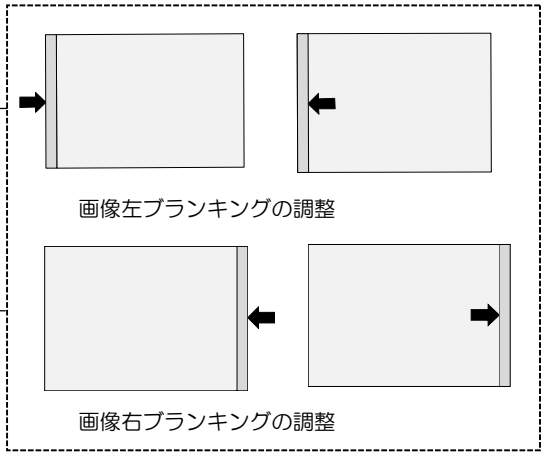
メニュー1



メニュー2



カーソルキーの↑か↓を押して修正



カーソルキーの→か←を押して修正

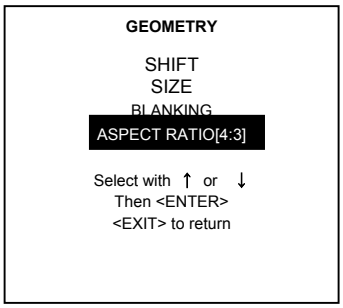
ASPECT RATIO（アスペクト比の切換）

調整内容

本機に画像を代表的なアスペクト比で表示させることができます。（例：4:3の映像を16:9のフォーマットに映写。）

スタートアップ

1. カーソルキーの↑か↓を押してASPECT RATIOをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して[4:3]、[16:9]、[5:4]、[2.35]、[1.88]、[1.78]を切り換える。



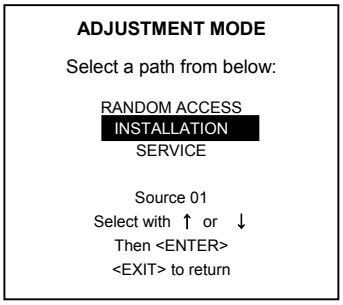
メニュー1

8 設置モード

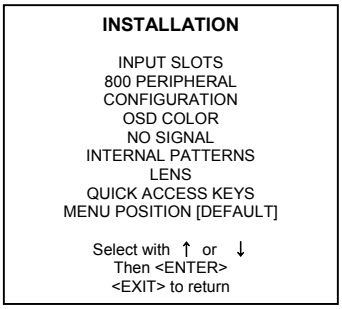
設置モードのスタートアップ

スタートアップ

カーソルキーの↑か↓を押して、INSTALLATIONをハイライト表示させ、ENTERキーを押します。



メニュー1



メニュー2

次のような項目が設置モードで選択することができます。

- **INPUT SLOTS**（入力スロット）： 入力優先順位を設定します。
- **800 PERIPHERAL**（800周辺機器）： RCVDS05で使われる出力モジュールのタイプを選択します。
- **CONFIGURATION**（設置形態）： プロジェクターの設置方法を設定します。
- **OSD COLOR**（オンスクリーン表示色）： ハイライトしている項目の色を変えます。
- **NO SIGNAL**（無信号時の背景色）： 無信号時、黒、または青のスクリーンを表示します。
- **INTERNAL PATTERN**（内蔵テストパターン）
- **LENS ADJUSTMENT**（レンズ調整）
- **OVERVIEW OF THE QUICK ACCESS KEYS**（クイックアクセス·キーの概要）
- **MENU POSITION**(メニュー·ポジション)： 画像の中央、または隅のデフォルト値

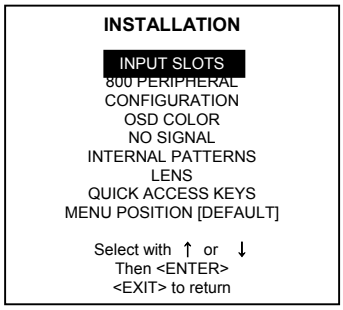
INPUT SLOTS（入力スロット）

調整内容

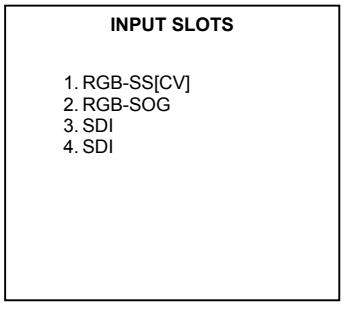
種々の入力の入力構成が入力スロット·メニューに表示されます。これらの設定は変更することができます。

入力設定の表示、及び変更

1. カーソルキーの↑か↓を押してINPUT SLOTSをハイライト表示させる。(メニュー1)
2. ENTERキーを押す。
   内部システムが入力スロットをスキャンして、その結果をINPUT SLOTSメニューに表示します。(メニュー2)



メニュー1



メニュー2

入力スロットの表示内容

ソース	表示
ビデオまたはSビデオ	Video[Video]
	Video[S-Video]
RGBアナログ	RGB-SS[CV]：Separate Sync[*3]は、H/C入力の複合ビデオ信号
	RGB-SS[CS or HS & VS] ：Separate Sync[*3]は、Composite Sync[*7]またはHorizontal Sync[*9]およびVertical Sync[*8]
	RGB-SOG：Sync on Green[*2]
コンポーネント･ビデオ	Component Video-SS： Separate Sync[*3]のコンポーネント･ビデオ
	Component Video-SOY： Sync on Y[*21]のコンポーネント･ビデオ
	Component Video-3LSS： Separate Tri-level Sync[*10]のコンポーネント･ビデオ
	Component Video-3LSOY： Tri-level Sync on Y[*22]のコンポーネント･ビデオ
Tri level Sync[*4]のRGBアナログ	RGB-SS[3LSS]： Separate Tri-level Sync[*10]のRGB
	RGB3L-SOG[3LSOY]： Tri-level Sync on Green[*20]のRGB
パネルリンク	Panellink
入力３と４(デジタル･スロット)	SDI：シリアル･デジタル入力
	HDTV SDI：ハイ･デフィニッション･デジタル入力

*2-22 添付用語解説集をご参照下さい。

スイッチャーが本機に接続されている場合

RCVDS（電源がオンの場合）またはVS05がプロジェクターに接続されている場合、「+800 Peripheral」がメニュー上に追加されて表示されます。「+800 Peripheral」がメニューに表示されていない場合、次の２通りのケースが考えられます：

- RCVDSもVS05も接続されていない場合
- RCVDSの電源がオフになっている場合

800周辺機器がプロジェクターに接続されている場合、カーソルキーを操作して入力スロットの設定を切り換えることはできません。

800周辺機器

取付られる機器

- RCVDS05の出力モジュールのタイプ
- 通信プロトコルのタイプ

RCVDS05の出力モジュールの定義

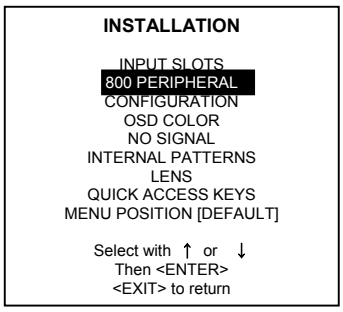
本機にRCVDS05が接続されている場合は、このRCVDS05の出力モジュールのタイプは800周辺機器メニューで明確にする必要があります。

出力モジュールのタイプは：

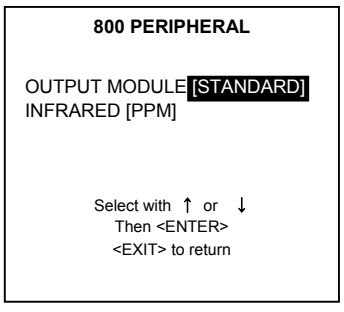
- 標準出力モジュール、または
- 5-ケーブル出力モジュール

出力モジュールを定義するには：

1. カーソルキーの↑か↓を押して、800 PERIPHERALをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して800周辺機器メニューを表示させる。
3. カーソルキーの↑か↓を押してOUTPUT MODULEをハイライト表示させる。（メニュー2）
4. ENTERキーを押して、[STANDARD]と[5 CABLE]を交互に切換える。



メニュー1



メニュー2

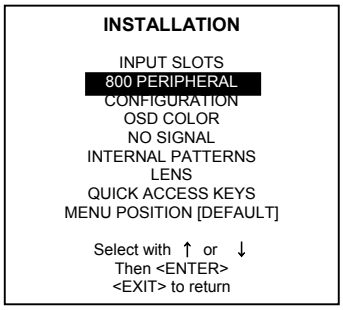
通信プロトコル

周辺機器が「コムポート」に接続されている場合には、コミュニケーションはPPMまたはRC5にすることができます。
コミュニケーションのタイプは以下に設定することができます：

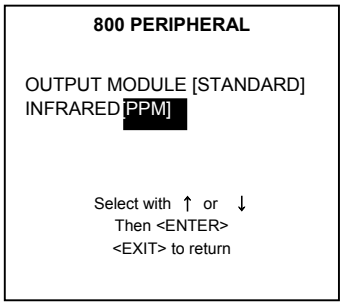
- PPM
- RC5

コミュニケーションを定義するには：

1. カーソルキーの↑か↓を押して、800 PERIPHERALをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。
3. カーソルキーの↑か↓を押してINFRAREDをハイライト表示させる。
4. ENTERキーを押して、[PPM]と[RC5]を切り換える。（メニュー２）



メニュー1



メニュー2

CONFIGURATION（設置形態）

調整内容

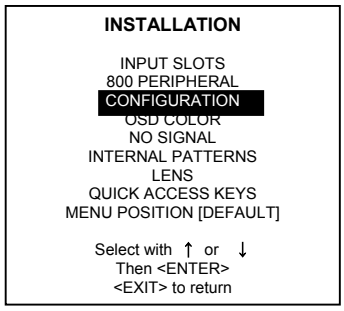
以下の設置方法があります。

- フロント／テーブル
- フロント／天吊り
- リア／天吊り
- リア／テーブル

正しい設置方法の設定

1. カーソルキーの↑か↓を押してCONFIGURATIONをハイライト表示させる。
2. ENTERキーを押して選択する。
3. カーソルキーの↑か↓を押して希望の設定をハイライト表示する。
4. ENTERキーを押して選択する。

詳細については、「設置ガイド」の章、「設置」の項を参照してください。



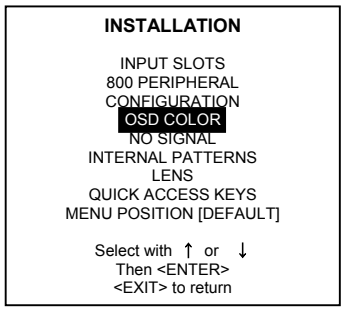
OSD Color (オンスクリーン表示色)

調整内容

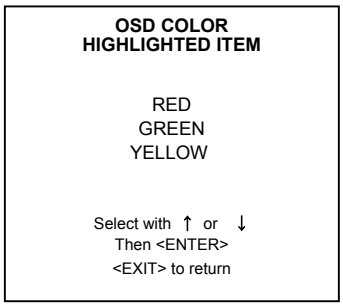
メニュー内のハイライトした項目を赤、緑、または黄で表示することができます。

色の設定変更

1. カーソルキーの↑か↓を押してOSD COLORをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。
3. カーソルキーの↑か↓を押して希望の色をハイライト表示させる。（メニュー２）
4. ENTERキーを押して選択する。



メニュー1



メニュー2

NO SIGNAL （無信号時の背景色）

現象

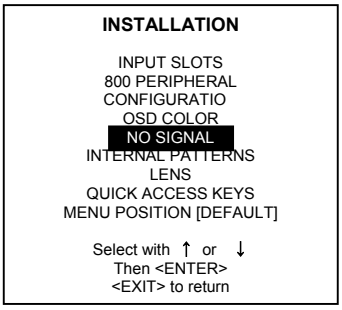
信号が本機に接続されていない場合：

- 背景色は黒か青になります。
- 本機は一定の時間後シャットダウンされます。

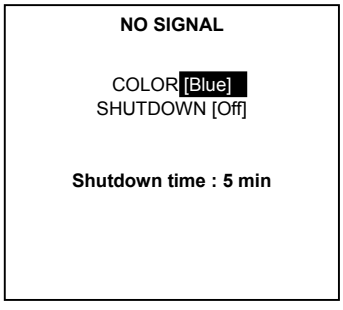
背景色の変更

背景色を変更するには次の手順にしたがってください。

1. カーソルキーの↑か↓を押してNO SIGNALをハイライト表示させてください。（メニュー１）
2. ENTERきーを押して選択する。
   NO SIGNALメニューが表示されます。（メニュー２）
3. カーソルキーの↑か↓を押してCOLORをハイライト表示させます。（メニュー２）
4. ENTERキーを押して[BLACK]または[BLUE]を交互に切り換える。



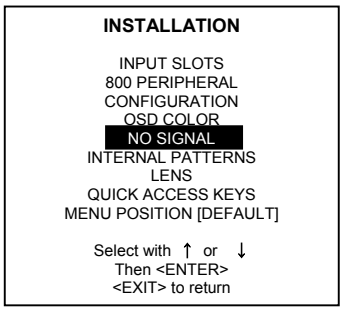
メニュー1



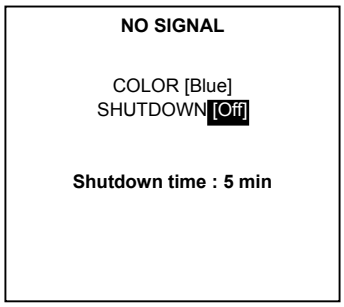
メニュー2

シャットダウン設定の変更

1. シャットダウン設定を変更するには、次の手順に従ってください。
2. カーソルキーの↑か↓を押しNO SIGNALをハイライト表示させます。（メニュー1）
3. ENTERキーを押して選択する。
   NO SIGNALメニューが表示される。（メニュー２）
4. カーソルキーの↑か↓を押してSHUTDOWNをハイライト表示させる。（メニュー２）
5. ENTERキーを押してON とOFFを切り換える。



メニュー1

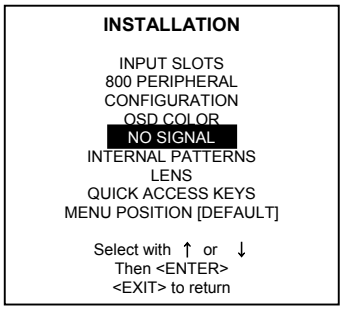


メニュー２

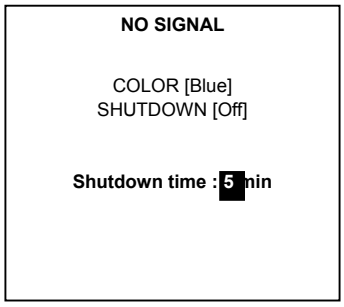
シャットダウン時間の変更

シャットダウン時間は5分から60分までに設定することができます。
シャットダウン時間を設定するには次の手順に従ってください。

1. カーソルキーの↑か↓を押してNO SIGNALをハイラト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。
3. カーソルキーの↑か↓を押してSHUTDOWN TIMEをハイライト表示させます。（メニュー２）
4. カーソルキーの↑か↓を押して数字を変えるか、あるいは直接リモコンで数字を入力する。



メニュー1



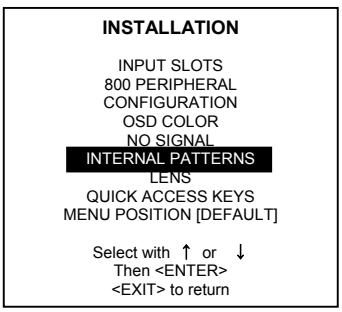
メニュー２

INTERNAL PATTERNS（内蔵テストパターン）

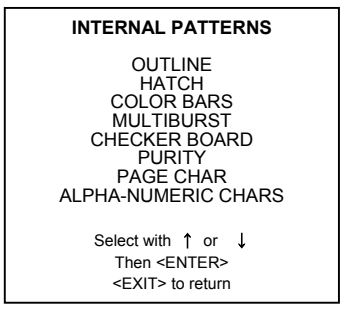
内蔵パターン

プロジェクターには、目的に応じてさまざまな内蔵テストパターンが用意されています。

1. カーソルキーの↑か↓を押してINTERNAL PATTERNSをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押してINTERNAL PATTERNSメニューを表示する。
3. カーソルキーの↑か↓を押して希望のパターンをハイライト表示します。（メニュー２）
4. ENTERキーを押して選択パターンを入力します。



メニュー1



メニュー２

次のようなテストパターンがあります。

- OUTLINE（アウトライン）
- COLOR BARS（カラーバー）
- MULTIBURST（マルチバースト）
- CHECKER BOAD（チェッカーボード）
- PURITY（ピュリティ）
- PAGE CHAR（ページキャラクター、同じ文字を1ページに表示）
- HATCH（ハッチ）
- ALFA-NUMERIC CHARACTERS（英数字）

注記

ENTERキーを押すと、各パターン（Purity以外）は反転させることができます。
PAGE CHARでは、次の文字、または前の文字をカーソルキーの↑か↓を押して選択することができます。
通常のパターンに戻るにはEXITキーを押して下さい。

LENS ADJUSTMENTS（レンズ調整）

調整内容

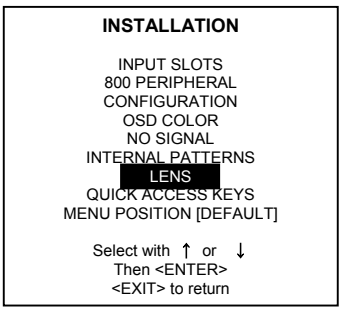
レンズ調整はモーター駆動レンズの場合、リモコンで調整できます。

以下の項目が調整できます。

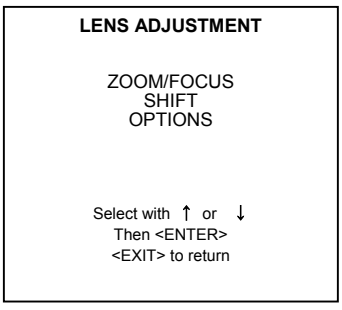
- ZOOM/FOCUS（ズーム／フォーカス）
- SHIFT（シフト）
- オプション：すべてのファイルに対して同じズーム／フォーカス、シフト設定

すべてのレンズ機能を調整するには、以下の手順に従ってください。

1. カーソルキーの↑か↓を押してLENSをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。
   レンズ調整メニューが表示されます。（メニュー２）
   TEXTキーで内部調整パターンと接続ソースを切り換えることができます。



メニュー1



メニュー2

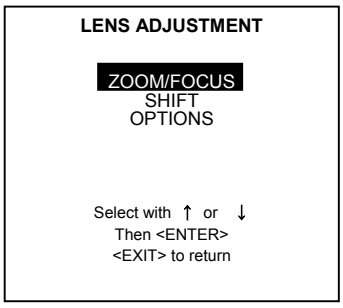
ZOOM /FOCUS/SHIFT（ズーム/フォーカス/シフト）

表示パターンではズーム／フォーカスとシフトの調整ができます。ENTERキーを押してズーム／フォーカス、シフトを切り換えてください。

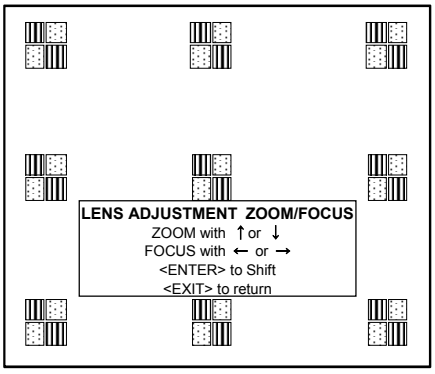
ZOOM/FOCUS（ズームとフォーカス）

ズームイン、あるいはズームアウトをするには、以下の手順に従ってください。

1. カーソルキーの↑か↓を押してZOOM/FOCUSをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. カーソルキーの↑か↓を押してズーム、そして←か→を押して画像のフォーカスを調整します。（メニュー２）
3. 終了したら、EXITキーを押してレンズ調整メニューに戻るか、ENTERキーを押してシフト調整に移る。



メニュー1



メニュー2

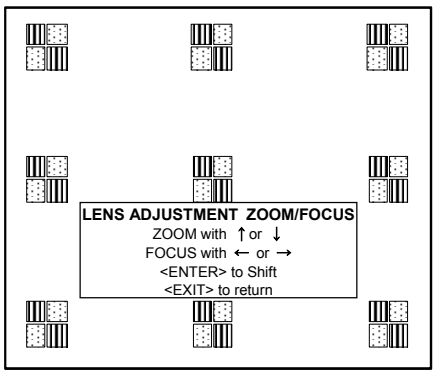
SHIFT（シフト）

1. ズーム／フォーカス･メニュー（メニュー１）の時に、ENTERキーを押してシフト･メニューを切り換える。
2. レンズ調整メニュー（メニュー２）の場合、カーソルキーの↑か↓を押してSHIFTを選択して、ENTERキーを押してシフト･メニューを表示させます。
3. カーソルキーの↑か↓を押して画像を上下に移動させたり、カーソルキーの→か←を押して画像を左右に移動させたりする。（メニュー３）。
4. 終了したら、EXITキーを押してレンズ調整メニューに戻るか、ENTERキーを押してズーム/フォーカス調整に移る。

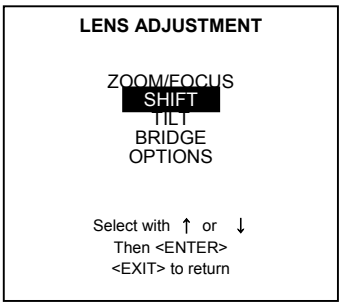
レンズが移動できる範囲は：

垂直移動：-20mmから+20mm

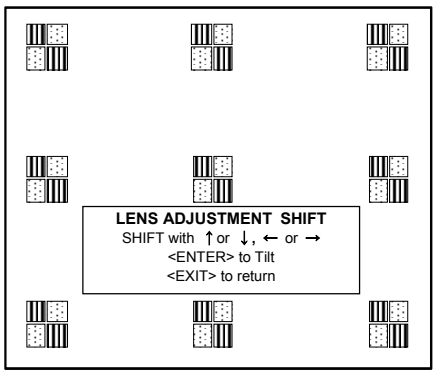
水平移動：-20mmから+20mm



メニュー1



メニュー2

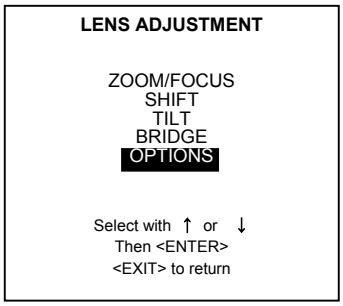


メニュー3

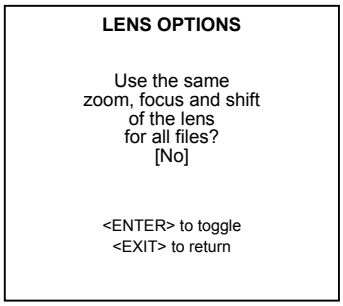
OPTIONS（オプション）

ズーム/フォーカス、シフトはすべてのファイルに対して同じ設定をすることができます。

1. カーソルキーの↑か↓を押してOPTIONをハイライト表示させる。（メニュー1）
2. ENTERキーを押して選択する。
   レンズオプションメニューが表示されます。（メニュー2）
3. ENTERキーを押してYESとNOを切り換える。
   [YES] :　すべてのレンズ設定は全ファイルに対して同じになる。
   [NO] :　異なったファイルに対して、異なったレンズ設定ができる。
   デフォルト設定：[NO]



メニュー1



メニュー2

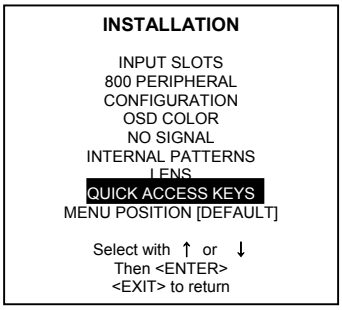
QUICK ACCESS KEYS（クイックアクセス·キー）

何ができるのか？

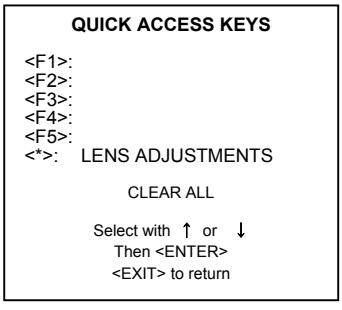
異なった機能キーのプログラムされた機能の概要を見ることができます。（クイックアクセス·キーがあるリモコンでのみアクセスすることができる。）

概要を表示させる方法

1. カーソルキーの↑か↓を押してQUICK ACCESS KEYSをハイライト表示させる。（メニュー1）
2. ENTERキーを押して選択する。
   クイックアクセスの概要メニューが表示されます。（メニュー2）



メニュー1



メニュー2

注記

ここでは、機能をプログラムすることはできません。

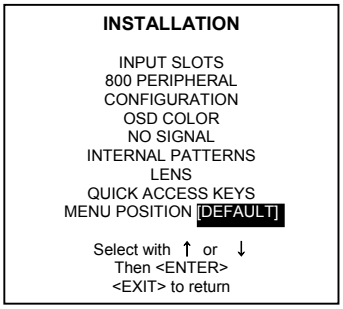
MENU POSITION（メニューの位置）

何ができるのか？

調整メニューは画像の中央、あるいは隅に表示することができます。

設定方法

1. カーソルキーの↑か↓を押して、MENU POSITIONをハイライト表示させる。
2. ENTERキーを押して、DEFAULTとCENTERを切り換える。
   [DEFAULT] : メニューは中央に表示され、調整ボックスが画面の隅に表示される。
   [CENTER] : メニューと調整ボックスが画面中央に表示される。



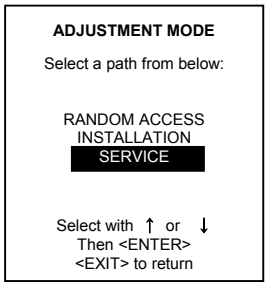
9 サービスモード

サービスモード

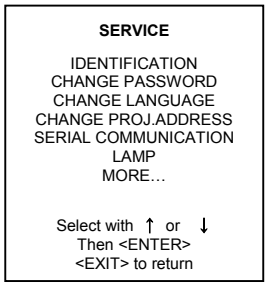
スタートアップ

カーソルキーの↑か↓を押してSERVICEをハイライト表示させ、ENTERキーを押します。

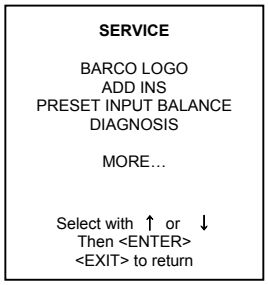
サービスモードの項目には、パスワードで保護されているものがいくつかあります（パスワード機能が有効なとき）。処理を行うには、パスワードを入力する必要があります。一度パスワードを入力すれば、調整モードで処理を続けている間は、パスワードで保護された他の項目についても処理することができます。



メニュー1



メニュー2

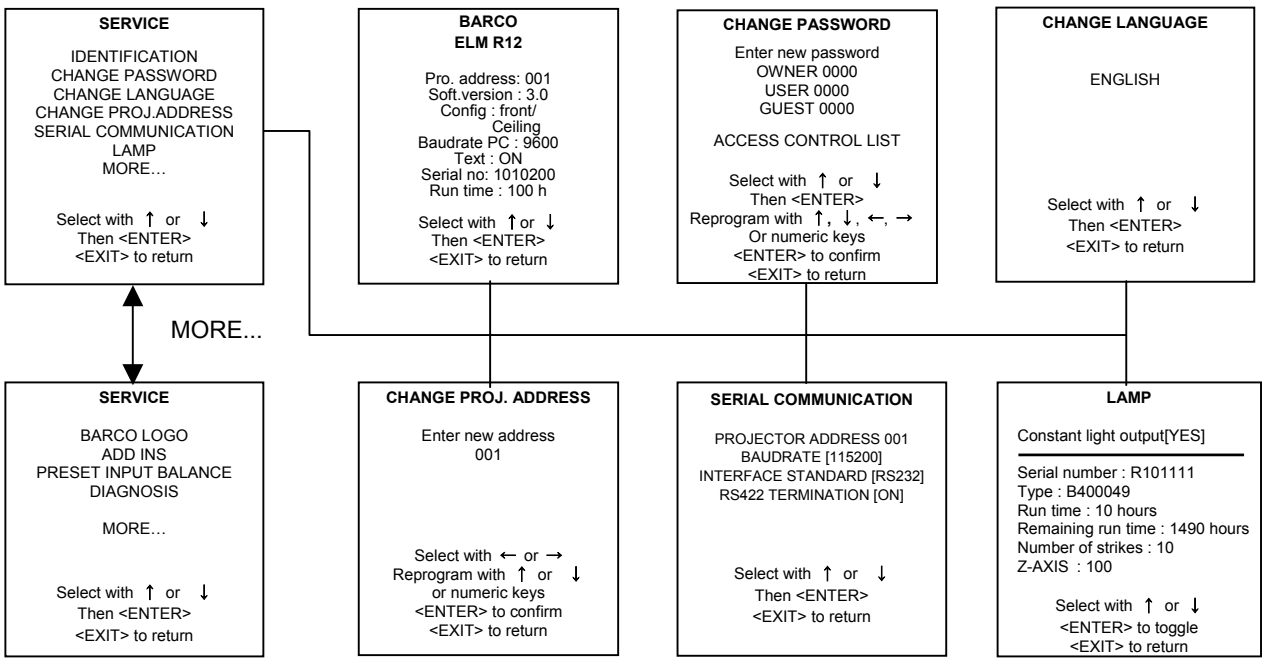


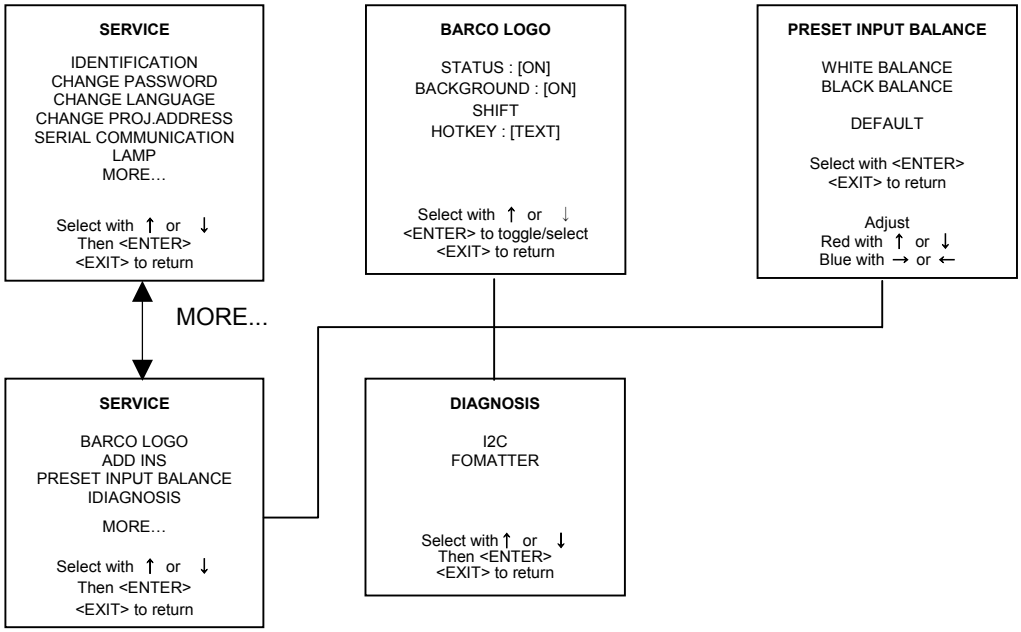
メニュー3

サービスモードのメニュー構成

SERVICEメニューは、２部に分けられており、それぞれ「MORE」という項目で相互につながっています。

表示されたメニューに選択したい項目がない場合、カーソルキーを使ってMOREを選択し、ENTERキーを押してSERVICEメニューの残りの項目を表示します。

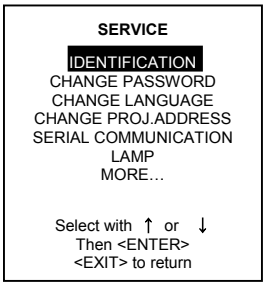




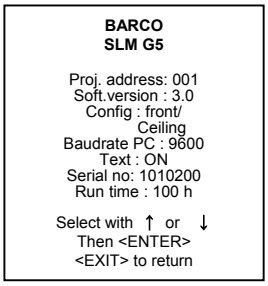
IDENTIFICATION（本機概要）

本機概要の表示

1. カーソルキーの↑か↓を押してIDENTIFICATIONをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押してIDENTIFICATIONメニューを表示させる。（メニュー２）



メニュー1



メニュー2

表示項目

IDENTIFICATIONの画面では、次の項目の概要が表示されます。

1. プロジェクターの種別
2. プロジェクターのアドレス
3. ソフトウェアのバージョン
4. 設置形態
5. ボーレート
6. テキスト ON
7. プロジェクターのシリアル番号
8. プロジェクターの使用時間

概要

1. プロジェクターの種別： BARCOSLM G5
2. プロジェクターのアドレス：プロジェクターのアドレスを変更するときは、本章の「プロジェクターのアドレス変更」の項を参照してください。
3. ソフトウェアのバージョン
4. 設置形態： 可能な設置方法
   - フロント／天吊り
   - フロント／テーブル
   - リア／天吊り
   - リア／テーブル

   設置方法を変更するには、「設置ガイド」の章の指示に従ってください。

5. ボーレート： IBM PC（またはその互換機）またはMACと通信するときの転送速度。プロジェクターのボーレートは、接続されたコンピュータのボーレートと同じでなければなりません。同じでない場合は、この章の「ボーレートの設定」の項を参照してください。
6. テキスト ON：スクリーン上に情報表示のためのテキストがオンかオフかを表示します。
7. プロジェクターのシリアル番号：プロジェクターの製造番号を示します。この番号は技術的な問合せをするときに便利です。
8. プロジェクターの使用時間：使用を開始したときからの使用時間の合計。工場から出荷されるときのプロジェクターの使用時間は、約24時間です。

CHANGE PASSWORD（パスワードの変更）

パスワード機能の設定と解除方法

コントローラ·モジュールのS2のパスワード·スイッチがオンになっている場合にパスワード機能が働きます。

コントローラ·モジュールにアクセスするには、次の手順に従って下さい：

1. プロジェクターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
2. 本機入力側面パネルを3つのボルトを反時計回りに90°回して取り外す。（写真１）
3. パネルの下部を少しはじいて下の方へひっぱりプレートを取り外す。
4. 止めネジを反時計方向へ90°回してカバードアを開ける。（写真２）
5. S2の位置を変える。（写真２）

写真１

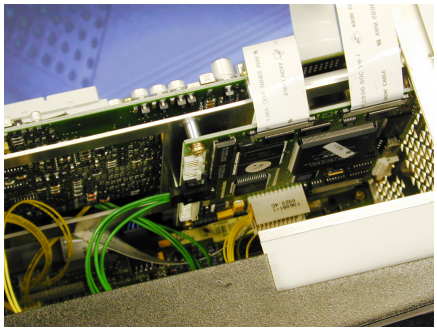


写真２

パスワードについて

次の3つの異なったパスワード·レベルが本機には内蔵されています。

- OWNER （オーナー）
- USER （ユーザー）
- GUEST （ゲスト）

パスワードのレベルによって、アクセスできるパスワードで保護されている項目が異なってきます。

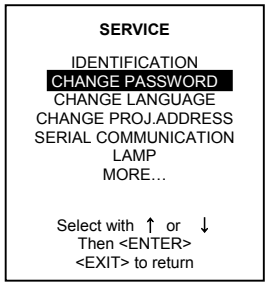
オーナー（一番高いレベル）は、アクセス·コントロール·リストを介して、他のレベルのアクセス権を各項目ごとに設定することができます。詳細は本章のACCESS CONTROL LIST（アクセス·コントロール·リスト）の項をご参照ください。

パスワードの変更方法

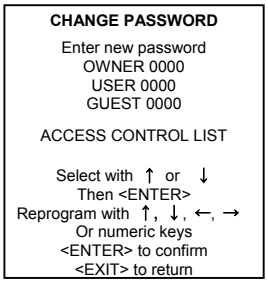
全レベルのパスワードを変更するには以下の手順に従ってください。（「オーナー」の場合のみ）

1. カーソルキーの↑か↓を押してCHANGE PASSWORDをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押してCHANGE PASSWORDメニューを表示させる。（メニュー２）「オーナー」の場合のみ可能です。
   元のパスワードが表示されます。
3. カーソルキーの↑か↓を押して変更するパスワードをハイライト表示させる。
4. ENTERキーを押して選択する。
   リモコンまたは本体上の数字キーで数値を入力することによって、パスワードを変更することができます。
5. 次のパスワードを選択するか、ENTERキーを押して新しく入力したパスワードを保存する。

ENTERキーを押して新しく入力したパスワードを保存する。
EXITキーを押すと変更されずに前の画面に戻ります。



メニュー1



メニュー2

ACCESS CONTROL LIST（アクセス･コントロール･リスト）

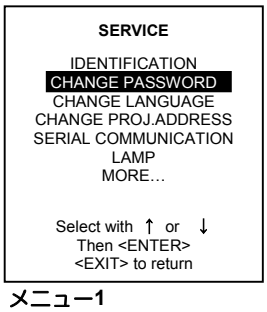
アクセス･コントロール･リストで、オーナーはユーザーとゲストのアクセス権を設定することができます。

アクセス･コントロール･リストを設定するには次の手順に従って下さい。

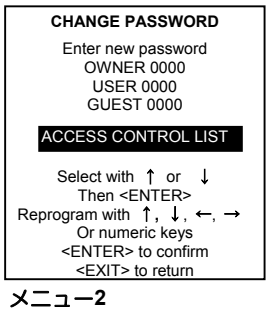
1. カーソルキーの↑か↓を押してCHANGE PASSWORD（パスワードの変更）をハイライト表示させる。（メニュー1）
2. ENTERキーを押してCHANGE PASSWORDメニューを表示させる。（メニュー２）オーナーの場合のみ可能です。
3. カーソルキーの↑か↓を押してACCESS CONTROL LISTをハイライト表示させる。（メニュー２）
4. ENTERキーを押してACCESS CONTROL LIST メニューを表示させる。（メニュー３）
   各項目ごとにオーナー、ユーザー、ゲスト、あるいは誰でもがアクセスできるように設定することができます。

アクセス権を変更するには：

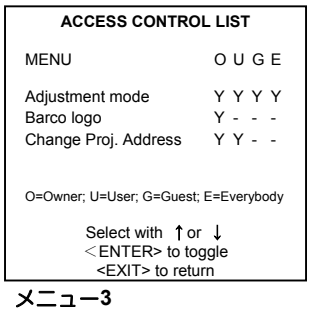
1. カーソルキーの↑か↓を押してスクロール･リストの項目をハイライト表示させる。
2. ENTERキーを押して選択する。
3. カーソルキーの←か→を押して、オーナー、ユーザー、ゲスト、あるいは全員を選択する。
4. ENTERキーを押してY(イエス)とー(ノー)を切換える。
5. 必要に応じて３番目と４番目の手順を繰り返す。
6. EXITキーを押して前の画面に戻る。



メニュー1



メニュー2


ACCESS CONTROL LIST
MENU O U G E
Adjustment mode Y Y Y Y
Barco logo Y - - -
Change Proj. Address Y Y - -
O=Owner; U=User; G=Guest; E=Everybody
Select with ↑or ↓
＜ENTER> to toggle
<EXIT> to return

メニュー3

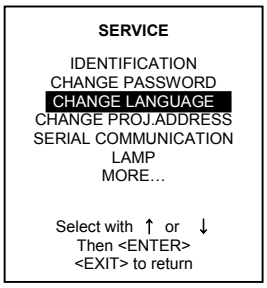
アクセスできるレベルを次の項目に追加することができます。

- ADJUSTMENT MODE（調整モード）
- BARCO LOGO（バルコのロゴ）
- CHANGE PROJECTOR ADDRESS（プロジェクター･アドレスの変更）
- FILE DELETE（ファイルの削除）
- FILE DELETE ALL（全ファイルの削除）
- INPUT BALANCE（入力バランス）
- INSTALLATION（設置）
- RANDOM ACCESS（ランダムアクセス）
- SERIAL COMMUNICATION（シリアル通信）
- SERVICE（サービス）

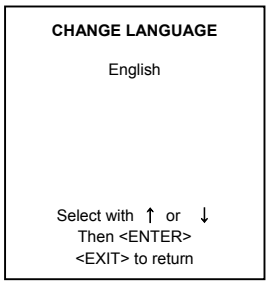
CHANGE LANGUAGE（言語の変更）

スタートアップ

1. カーソルキーの↑か↓を押してCHANGE LANGUAGEをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して言語の選択メニューを表示させる。（メニュー２）
   現在、使用できる言語は英語です。



メニュー1

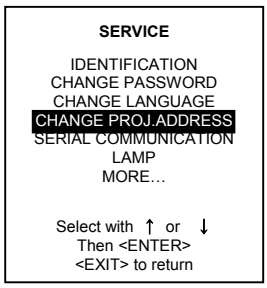


メニュー2

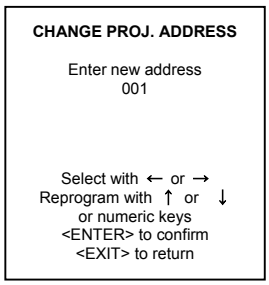
CHANGE PROJECTOR ADDRESS（プロジェクターのアドレスの変更）

アドレスの変更方法

1. カーソルキーの↑か↓を押してCHANGE PROJ. ADDRESSをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押す。CHANGE PROJ. ADDRESSメニューが表示される。
   アドレスが示されます。１桁目の数字がハイライトされます。（メニュー２）



メニュー1



メニュー2

新しいアドレスの入力

次の機能を使って、新しいプロジェクター･アドレスを入力します：

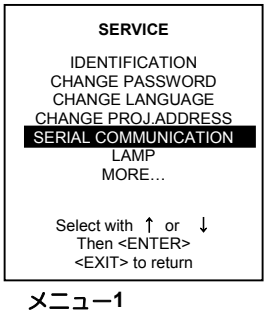
1. リモコンまたは本体上の数字キー
2. 桁を選択するには、カーソルキーの→か←を押します。数値を変更するには、設定したい値になるまでカーソルキーの↑か↓を押します。同じ方法で他の桁も設定します。

SERIAL COMMUNICATION（シリアル通信）

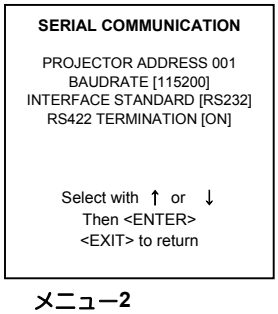
スタートアップ

1. カーソルキーの↑か↓を押してSERIAL COMMUNICATIONをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押してSERIAL COMMUNICATIONメニューを表示させる。(メニュー２)

ボーレート、インターフェイス標準、ターミネーションを取付けることができます。



メニュー1

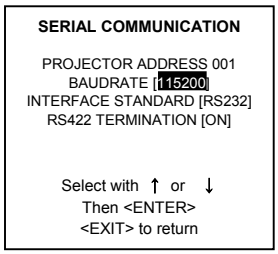


メニュー2

ボーレートの設定

ボーレートを変更するには、次の手順に従ってください。

1. カーソルキーの↑か↓を押してBAUDRATEをハイライト表示させる。
   設定されているボーレートが表示されます。
2. ENTERキーを押して使用できるボーレートを切り換える。
   デフォルト：9600



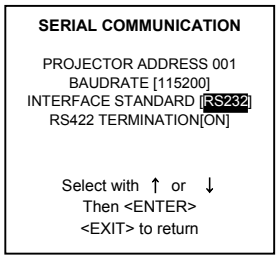
選択可能なボーレート

115200
57600
38400
19200
9600
4800
1200

インターフェイス標準の取り付け

プロジェクターとコンピュータの通信用の通信プロトコルはRS232あるいはRS422に設定できます。
希望のプロトコルを設定するには、次の手順に従ってください。

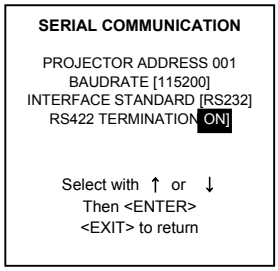
1. カーソルキーの↑か↓を押してINTERFACE STANDARDをハイライト表示させる。
   現在のインターフェイス標準が表示されます。
2. ENTERキーを押してRS232とRS422を切り換える。
   デフォルト RS232



RS422ターミネーション

リンク上最後にあるプロジェクターはRS422で終端されます。（オンの位置）リンク上他のプロジェクターはオフになっています。
終端位置を変更するには：

1. カーソルキーの↑か↓を押してRS422 TERMINATIONをハイライト表示させる。
   現在の設定が表示されます。
2. ENTERキーを押してONとOFFを切り換える。
   デフォルト設定 ON



LAMP（ランプ）

ランプの情報

ランプについての情報はすべてランプハウスの中に保存されており、ソフトウェアを介してスクリーンに表示させることができます。
ただ、ここで情報の変更は行えません。
CONSTANT LIGHT OUTPUT機能はYESとNOで変更できます。

ランプ情報の表示方法

1. カーソルキーの↑か↓を押してLAMP をハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。
   ランプ情報のメニューが表示されます。（メニュー２）

表示される情報

SERIAL NUMBER（シリアル番号）：ランプのシリアル番号

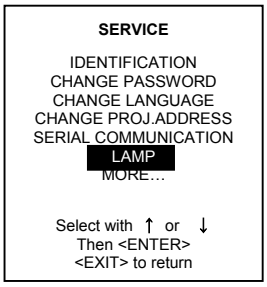
TYPE（タイプ）：ランプの型

RUN TIME（ランタイム）：本機、あるいは他のプロジェクターで使用されたランプの合計使用時間

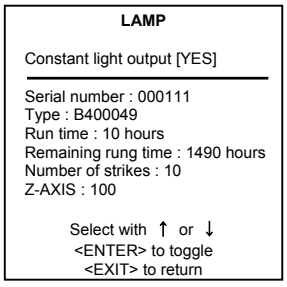
REMAINING RUN TIME（残りのランタイム）：ランプ交換するまでの残り使用時間。最長のランタイム（1500時間）より長くランプを使用するとプロジェクターを破損する恐れがあります。

NUMBER OF STRIKES（ストライクの数）：ランプを始動させた合計回数

Z-AXIS：ランプのZ-AXISを調整する表示（設置ガイドの章、「ランプユニット内のランプ位置の再調整」を参照ください。）



メニュー1



メニュー2

CONSTANT LIGHT OUTPUT（一定の光出力）

1. カーソルキーの↑か↓を押してCONSTANT LIGHT OUTPUTをハイライト表示させる。（メニュー2）
2. ENTERキーを押してYESとNOを切り換える。
   [YES]：一定の光出力、電力が適合される。
   [NO]：固定電力、電力が適合されない。

BARCO LOGO（バルコのロゴ）

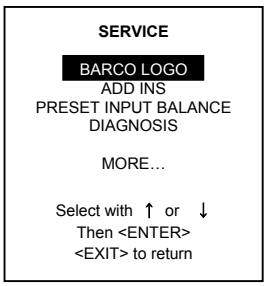
ロゴの表示

BARCOのロゴを画像に表示することができます。画像と重ねるか、バックグラウンドに加えるか、スクリーンのどこにでも配置することができます。

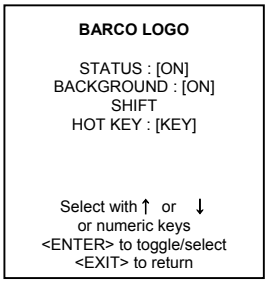
設定の追加、または変更

BARCOのロゴを加えたり、BARCOロゴのメニューの設定を変更したりするには:

1. カーソルキーの↑か↓を押してBARCO LOGOをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。BARCOのロゴメニューがスクリーンに表示されます。（メニュー２）このメニューには、3つの切換え設定とシフト･コントロールがあります。



メニュー1



メニュー2

設定項目

STATUS[ON/OFF]

ON: BARCOのロゴをスクリーンに表示します。

OFF: BARCOのロゴをスクリーンに表示しません。

BACKGROUND[ON/OFF]

ON: BARCOのロゴを黒い背景の上に表示します。

OFF: BARCOのロゴを背景なしで表示します。

SHIFT

カーソルキーの↑か↓、あるいは→か←を押して、スクリーン上でのBARCOロゴの配置を決めます。

HOTKEY[TEXT/OFF]

OFF: BARCOのロゴを表示させるキーはリモコンにはありません。

TEXT：リモコンのTEXTキーを使ってBARCOのロゴを表示させたり、取り除いたりするには、このキーを一度押します。（操作モードの場合のみ）

ADD-INS（アドイン機能）

アドイン機能を組み込む方法

現在この機能は使用不可、今後対応予定。

PRESET INPUT BALANCE（入力バランスの設定）

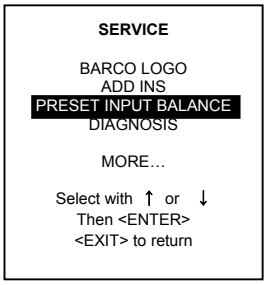
警告

この設定を変更すると、プロジェクターの性能に大きく影響することがあります。

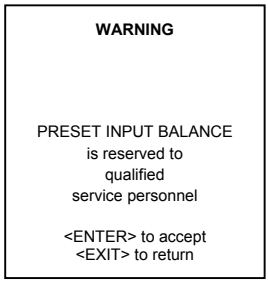
スタートアップ

1. カーソルキーの↑か↓を押してPRESET INPUT BALANCEをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。

SERVICEメニューでPRESET INPUT BALANCEが選択されると、次のような警告が表示されます。（メニュー２）
入力バランスの設定は当社認定のサービスマン行うこと。入力バランスの設定をキャンセルする場合は、EXITキーを押してください。



メニュー1



メニュー2

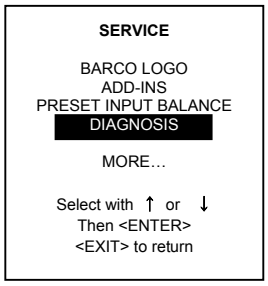
DIAGNOSIS（診断）

表示内容

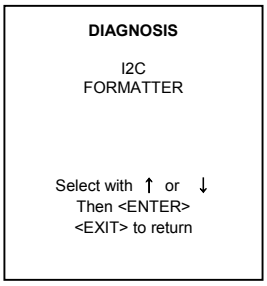
診断によりI^2C ICの動作の状況を示します。

診断のスタートアップ

1. カーソルキーの↑か↓を押してDIAGNOSISをハイライト表示させる。（メニュー１）
2. ENTERキーを押して選択する。
   DIAGNOSISメニューが表示されます。



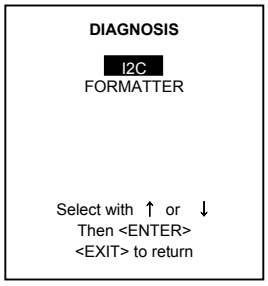
メニュー1



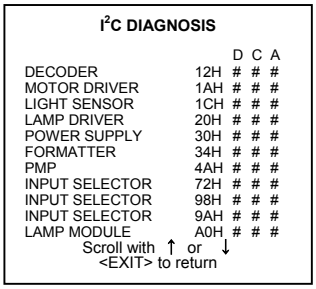
メニュー2

I^2C DIAGNOSIS（I^2C診断）の選択方法

1. カーソルキーの↑か↓を押して、I^2Cをハイライト表示させる。
2. ENTERキーを押して状況を表示させる。（メニュー2）
   ６つのコードの背景が緑色の場合、問題なしということです。
   背景が赤色の場合、表示アドレスに何か問題があるということです。



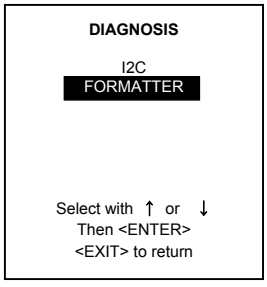
メニュー1



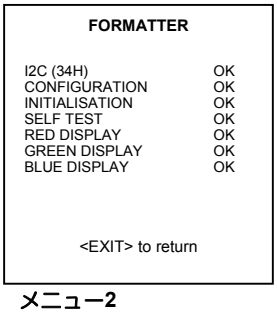
メニュー2

FORMATTER(フォーマッター)の状況の選択方法

1. カーソルキーの↑か↓を押して、FORMATTERをハイライト表示させる。(メニュー1)
2. ENTERキーを押して選択する。
   フォーマッターの状況が表示されます。(メニュー２)



メニュー1



メニュー2

A プログラム可能な機能キー

プログラム可能な機能キー

機能キーで何ができるのか？

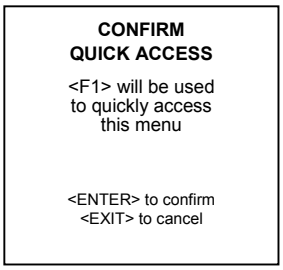
クイックアクセスキーが付いているリモコン上部にある５つの機能キーは、調整機能ほとんどのショートカットキーとしてプログラムすることができます。

機能キーのプログラム方法

機能キーは調整モードでのみプログラムすることができます。

操作手順

1. メニューをスクロールしてご希望のメニューを表示させる。
2. このメニューにアクセスする希望の機能キーを2、3秒間押す。
   確認メニューが表示されます。（メニュー1）：<F1>がこのメニューのショートカットキーです。
3. ENTERキーを押して確定する。
4. 機能キーは操作モードで使用することができます。



B 標準ソース　セットアップ·ファイル

あらかじめ組み込まれている、ソースのセットアップ·ファイルの一覧です。

NAME	RESOLUTION	FVERT Hz	FHOR kHz	FPIX MHz	PTOT	PACT	LTOT	LACT
1600_48V	1600 X 600I	48.040	62.500	135.000	2160	1600	651	600
1600_60V	1600 X 1200	60.000	75.000	162.000	2160	1600	1250	1200
1600_65V	1600 X 1200	65.000	81.250	175.500	2160	1600	1250	1200
1600_70V	1600 X 1200	70.000	87.500	189.000	2160	1600	1250	1200
8515_A	1024 X 384I	43.479	35.522	44.900	1264	1024	409	384
CGA	640 X 200	59.924	157.00	14.318	912	640	262	200
COMPUSC4	1024 X 480I	29.945	30.694	39.779	1296	1024	512	480
ED	735 X 480	59.943	31.470	28.638	910	735	525	480
EGA	640 X 350	59.702	21.851	16.257	744	640	366	350
EWS_50	1280 X 1024	50.000	52.350	87.948	1680	1280	1047	1024
EWS_60	1280 X 1024	60.000	63.900	107.352	1680	1280	1065	1024
EWS_60V	1280 X 1024	60.282	63.657	110.000	1728	1280	1056	1024
EWS_72	1280 X 1024	72.000	76.968	130.076	1690	1280	1069	1024
EWS_75	1280 X 1024	75.025	79.976	135.000	1688	1280	1066	1024
FMR	640 X 400I	42.323	36.440	28.570	784	640	431	400
FMTO_2	640 X 400	55.370	24.370	21.056	864	640	440	400
HD_24P	1920 X 1080	24.000	27.000	74.250	2750	1920	1125	1080
HD_25I	1920 X 540I	25.000	28.125	74.250	2640	1920	563	540
HD_25P	1920 X 1080	25.000	28.125	74.250	2640	1920	1125	1080
HD_30I	1920 X 540I	30.000	33.750	74.250	2200	1920	563	540
HD_30I_2	1920 X 517I	30.000	33.750	74.250	2200	1920	563	517
HD_30P	1920 X 1080	30.000	33.750	74.250	2200	1920	1125	1080
HD_60P	1920 X 720	60.000	45.000	74.250	1650	1280	750	720
HDMAC	1648 X 570I	25.020	31.250	39.125	2047	1648	625	570
INTER_GR	1184 X 886	67.170	61.796	92.941	1504	1184	920	886
MAC_2	640 X 480	66.667	35.000	30.240	864	640	525	480
MAC_3	512 X 384	60.147	24.480	15.667	640	512	407	384
MAC_4	560 X 384	60.147	24.480	17.234	704	560	407	384
MAC_5	512 X 342	60.158	22.259	15.670	704	512	370	342
MAC_6	832 X 624	74.546	49.722	57.280	1152	832	667	624
MAC_7	1024 X 768	74.907	60.150	80.000	1330	1024	803	768
MAC_LC	640 X 480	66.619	34.975	31.338	896	640	525	480

NAME: ファイル名
（設定を含む）

RESOLUTION:
画像解像度
Iが付いているのはインターレースの意味です。

FVERT Hz: ソースの垂直周波数

FHOR kHz: ソースの水平周波数

FPIX MHz: ピクセルの周波数

PTOT: １水平ライン上の総ピクセル数

PACT: １水平ライン上のアクティブなピクセル数

LTOT: １フィールド内の総ライン数

LACT: １フィールド内のアクティブなライン数

NAME	RESOLUTION	FVERT Hz	FHOR kHz	FPIX MHz	PTOT	PACT	LTOT	LACT
MAC_POR	640 X 870	74.996	68.846	57.280	832	640	918	870
MUSE	1760 X 518I	30.000	33.750	37.125	2047	1760	563	518
VIDEO525	1635 X 239I	29.970	15.734	32.207	2047	1635	263	239
VIDEO625	1635 X 278I	25.000	15.625	31.984	2047	1635	313	278
PAM500	640 X 400	60.000	26.400	22.810	864	640	440	400
PAM800	1120 X 375I	44.936	36.443	50.000	1372	1120	406	375
PC98_1	640 X 400	56.416	24.823	21.050	848	640	440	400
PC98_2	1120 X 375I	39.994	32.835	47.840	1457	1120	411	375
PC98_3	1120 X 750	60.000	50.000	78.569	1571	1120	833	750
S1152_66	1152 X 900	66.004	61.846	94.500	1528	1152	937	900
S1152_76	1152 X 900	76.637	71.809	108.000	1504	1152	937	900
SG_50	1600 X 1200	50.000	62.500	130.313	2085	1600	1250	1200
SG_60_2	1024 X 768	60.000	48.780	64.390	1320	1024	813	768
SG_60_3	960 X 680	60.000	43.200	54.432	1260	960	720	680
SG_60_4	1600 X 1200	60.000	75.000	156.375	2085	1600	1250	1200
SUNEWS67	1280 X 1024	67.189	71.691	117.000	1632	1280	1067	1024
SUNEWS76	1280 X 1024	76.107	81.130	135.000	1664	1280	1066	1024
SUNXGA60	1024 X 768	59.984	48.287	64.125	1328	1024	805	768
SUNXGA70	1024 X 768	70.041	56.596	74.250	1312	1024	808	768
SUNXGA77	1024 X 768	77.069	62.040	84.375	1360	1024	805	768
SUP_MAC	1024 X 768	60.000	48.780	63.999	1312	1024	813	768
SVGA_56V	800 X 600	56.250	35.156	36.000	1024	800	625	600
SVGA_60V	800 X 600	60.317	37.879	40.000	1056	800	628	600
SVGA_72V	800 X 600	72.084	48.080	50.003	1040	800	667	600
VGA_72V	640 X 480	72.800	37.856	31.496	832	640	520	480
VGA_GR	640 X 480	59.941	31.469	25.175	800	640	525	480
VGA_TXT	720 X 400	70.087	31.469	28.322	900	720	449	400
VGA75ISO	640 X 480	75.000	39.375	31.500	800	640	525	480
XGA_60	1024 X 768	60.000	48.360	64.996	1344	1024	806	768
XGA_70	1024 X 768	70.000	57.050	78.044	1368	1024	815	768
XGA_70V	1024 X 768	69.705	56.182	74.610	1328	1024	806	768
XGA_75	1024 X 768	75.781	61.080	86.000	1408	1024	806	768
XGA75_GS	1024 X 768	74.534	59.701	79.284	1328	1024	801	768
XGA_72	1024 X 768	71.955	58.140	80.000	1376	1024	808	768
S1600_67	1600 X 1280	66.931	89.286	200.000	2240	1600	1334	1200
SDI_625	675 X 2781	25.000	15.625	13.500	864	720	313	278
SDI_525	675 X 2401	29.970	15.734	13.500	858	720	263	240

バルコ株式会社

本　　社：
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-28-2
GE エジソンビル 1 階
TEL:　03-5950-8100（代）
FAX:　03-5950-8108

大阪支社：
〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4
谷町スリースリーズビル 8 階
TEL:　06-6943-8998（代）
FAX:　06-6943-8997

名古屋営業所：
〒457-0004 名古屋市南区中江 2-2-7
TEL:　052-823-4222
FAX:　052-823-4223